平成 29 年度食品産業動態調査関係業務
（国産原材料使用実態等調査・分析業務）
調査結果報告書

【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】

平成 30 年３月

農林水産省

目　　次

Ⅰ．調査の概要 …… 1

1　調査の目的 …… 1

2　調査の実務 …… 1

3　調査対象である食品産業事業者の業種 …… 1

4　調査対象事業者の選定 …… 2

(1)　選定方法 …… 2

(2)　選定結果 …… 3

5　調査の内容 …… 3

6　調査方法 …… 3

7　調査期間 …… 3

8　調査対象事業者数・有効回答状況 …… 4

9　集計方法 …… 4

Ⅱ．調査結果 …… 5

1　基本情報 …… 5

(1)　アンケート調査票の回収状況 …… 5

(2)　販売金額規模 …… 5

(3)　従業員数規模 …… 6

(4)　農畜産物の品目別仕入れ状況 …… 6

(5)　農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合 …… 8

(6)　農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向 …… 11

2　食品安全・ＧＡＰに関する認識について …… 14

(1)　食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答） …… 14

(2)　食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答） …… 15

(3)　食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答） …… 16

(4)　ＧＡＰの認知度 …… 17

(5)　ＧＡＰに関する情報の収集元（複数回答） …… 18

(6)　ＧＡＰの取組に関して評価する点（複数回答） …… 19

(7)　食品安全リスク対応に要する費用（ＧＡＰ認証取得費用等）の主な負担者 …… 20

3　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れについて …… 21

(1)　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの有無 …… 21

4　ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている事業者について ····· 22
(1) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数・国産割合 ····· 22
(2) 仕入れている農畜産物のＧＡＰ認証等の種類（複数回答） ····· 26
(3) ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答） ····· 27
(4) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期 ····· 29
(5) ＧＡＰ認証取得等農畜産物による安全性・品質に関する確認コストの削減効果 ····· 29
(6) ＧＡＰ認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異 ····· 30
(7) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向 ····· 30
(8) 国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答） ····· 31
(9) 国産・外国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答） ····· 32
(10) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答） ····· 34
5　ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れていない事業者について ····· 35
(1) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向 ····· 35
(2) ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答） ····· 36
(3) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期 ····· 38
(4) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点（複数回答） ····· 39
(5) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答） ····· 40

Ⅲ．統計表 ····· **41**

Ⅳ．調査事項（アンケート調査票） ····· **55**

［用語解説］

ＧＡＰ

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。Good Agricultural Practice の略語で、農業生産工程管理のこと。

ＧＡＰ認証取得等農畜産物

本調査結果報告書において、ＧＡＰ認証（ＧＬＯＢＡＬ Ｇ.Ａ.Ｐ.、ＡＳＩＡＧＡＰ／ＪＧＡＰ）を取得した農場又は都道府県ＧＡＰ等に取り組む農場で生産された農畜産物のこと。

Ⅰ．調査の概要

１ 調査の目的

平成 27 年 3 月 31 日に閣議決定された食料・農業・農村基本計画において、実現可能な姿の食料自給率目標として、カロリーベースで 45％、生産額ベースで 73％が示されたことを受け、農林水産省では、食料自給率向上に向けて、国内外での国産農産物の需要拡大、食品に対する消費者の信頼の確保等の取組を重点的に推進している。

とりわけ、ＧＡＰの認証については、取得によって、ＧＡＰを取引要件とする海外の取引先への輸出の可能性が開かれること、食品の安全確保の取組が安全・安心につながること、また、日本食の質の高さや日本の食文化などを情報発信する機会である 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食品の調達基準として持続可能性への配慮が求められていることなどから、その普及、拡大を図っているところである。

今後のＧＡＰの認証取得の拡大に当たっては、食品産業事業者のニーズに即して推進していくことが、食料自給率を向上していく上で重要であることから、今般、食品産業事業者を対象に、ＧＡＰの認証を取得した農場等で生産された農畜産物の使用実態、使用に当たっての課題、今後の使用の意向等について把握を行うことを目的として調査を実施した。

２ 調査の実務

本調査は、調査の企画・立案から調査の実施・取りまとめに係る業務を一体として（株）ピーシーサポートサービス（以下「請負業者」という。）に請け負わせて実施した。

３ 調査対象である食品産業事業者の業種

調査対象の業は、総務省の平成 25 年 10 月改訂の日本標準産業分類（以下「日本標準産業分類」という。）による次の①～⑧の区分による業種とする。

ただし、本報告では、製造、卸売、小売、外食の分類により食品産業における傾向を把握することを目的として、①及び②を「食品製造業」、③及び④を「食品卸売業」、⑤及び⑥を「食品小売業」、⑦及び⑧を「外食業」と整理して取りまとめを行った。

①食料品製造業

日本標準産業分類の食料品製造業（水産食料品製造業を除く）

②飲料製造業

日本標準産業分類の飲料・たばこ・飼料製造業（製氷業、たばこ製造業、飼料・有機質肥料製造業を除く）

③各種商品卸売業

日本標準産業分類の各種商品卸売業

④飲食料品卸売業

日本標準産業分類の飲食料品卸売業

⑤各種商品小売業

日本標準産業分類の各種商品小売業

⑥飲食料品小売業

日本標準産業分類の飲食料品小売業

⑦飲食店

日本標準産業分類の飲食店

⑧持ち帰り・配達飲食サービス業

日本標準産業分類の持ち帰り・配達飲食サービス業

4 調査対象事業者の選定

（1）選定方法

調査対象は、３の①から⑧までの業種の事業者（※１）とし、日本標準産業分類に準拠し構成された株式会社東京商工リサーチのデータベース（※２。以下「データベース」という。）を使用し、以下により 4,000 事業者を選定した。

※１　企業単位。

※２　データベースの分類の構成は、同社のＴＳＲ業種コードによっており、日本標準産業分類と同じ、大分類・中分類・小分類・細分類の４段階構成。

３の①から⑧までの業種に関して、日本標準産業分類とＴＳＲ業種コードは、日本標準産業分類に設定されている小分類「管理、補助的経済活動を行う事業所」と当該小分類に設定されている細分類が、ＴＳＲ業種コードに存在しないほかは、同じ分類。

①　経済センサスの売上高のデータ（以下「センサスデータ」という。）において売上高が５億円以上の事業者の無い細分類を除外した上で、センサスデータを基に、細分類別に平均売上高（以下「センサス平均売上高」という。）を計算し、センサス平均売上高の総計に占める各細分類別のセンサス平均売上高の割合を 4,000 事業者に乗じて各細分類別の事業者数を算出し、当該事業者数まで、細分類別にデータベースの売上高の上位から事業者を選定。

②　算出した当該細分類別の事業者数が 10 未満の細分類の業種は、10 事業者となるまでデータベースの売上高の上位から選定。

③　さらに、調査の適切な実施と、調査対象の事業者数を 4,000 に収めることを目的として、以下の細分類の業種について、事業者数を追加・削減。

追加した業種：そう菜製造業、他に分類されない食料品製造業、製茶業、
米麦卸売業、野菜卸売業、果実卸売業、茶類卸売業、
牛乳・乳製品卸売業、野菜小売業、果実小売業、
食肉小売業（卵、鳥肉を除く）、卵・鳥肉小売業、茶類小売業、
米穀類小売業、食堂・レストラン（専門店を除く）

削減した業種：ビール類製造業、蒸留酒・混成酒製造業、各種商品卸売業、
その他の各種商品卸売業、酒類卸売業、その他の食料・飲料卸売業等（※３）

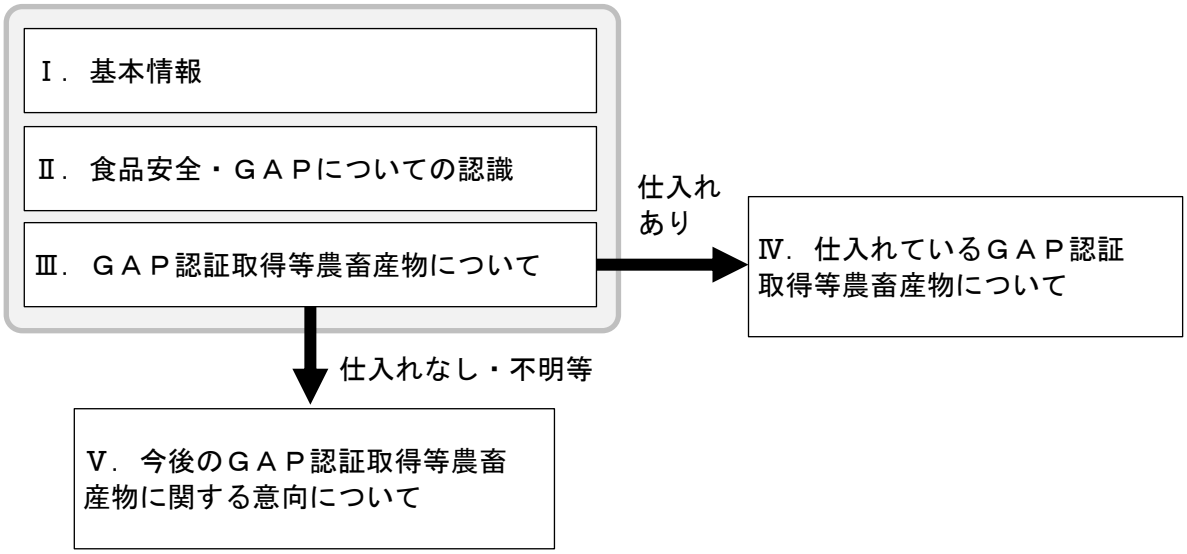
※３　「等」とは、業者数が 80 以上の業種。

（２）選定結果

事業者の業種別の選定数は、食品製造業 840 事業者、食品卸売業 1,310 事業者、食品小売業 1,400 事業者、外食業 450 事業者。

５ 調査の内容

基本情報（調査票のⅠ関係）、食品安全・ＧＡＰについての認識（調査票のⅡ関係）、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の有無（調査票のⅢ関係）、ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている事業者の現状及び今後の動向（調査票のⅣ関係）、ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れていない事業者の今後の動向（調査票のⅤ関係）



６ 調査方法

請負業者が、調査対象事業者に対して調査票をメール便により送付し、調査票をメール便に同封した料金受取人払郵便で回収する郵送調査により実施した。

７ 調査期間

平成 29 年 10 月 25 日から平成 29 年 11 月 17 日までの期間。

８ 調査対象事業者数・有効回答状況

区分 / 業種	有効回答票数（調査結果による整理） a	アンケート調査票の送付数（ＴＳＲ業種コードによる整理） b	有効回答票率 c＝a／b
食品製造業	348	840	－
食品卸売業	363	1,310	－
食品小売業	284	1,400	－
外食業	71	450	－
調査対象業種の計	1,066	4,000	26.7%

※　有効回答票は、調査対象事業者から回収したアンケート調査票のうち、問１に回答があり、かつ、問２以降に一つ以上の回答があったもの。

※　調査対象事業者の業種は、本調査の調査結果による整理と、調査対象事業者の選定において活用したＴＳＲ業種コードによる整理とでは一致しない事業者があることから、業種別の有効回答票率は未記載。

本報告における業種別の取りまとめについては、本調査の調査結果による。

※　回収したアンケート調査票の数は 1,124（28.1%）。また、この内、有効回答票以外の無効としたアンケート調査票（以下「無効回答票」という。）の数は 58（1.5%）。

９ 集計方法

各項目とも、食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業及びこれら４業種の計について取りまとめた。

問い合わせ先

◎本調査結果について
農林水産省　生産局
農業環境対策課　生産工程管理班
電話：（代表）03-3502-8111　内線：4852
（直通）03-6744-7188
FAX：　03-3502-0869

◎食品産業動態調査について
農林水産省　大臣官房政策課
食料安全保障室　食料生産力班
電話：（代表）03-3502-8111　内線：3809
（直通）03-6744-0546
FAX：　03-6744-2396

Ⅱ. 調査結果

1　基本情報

(1) アンケート調査票の回収状況

調査対象とした 4,000 事業者のうち 1,066 事業者 (26.7%) から、問１に回答、かつ、問２以降に一つ以上の回答があったアンケート調査票（以下「有効回答票」という。）を回収した。

なお、有効回答票の内訳は、食品製造業 348、食品卸売業 363、食品小売業 284、外食業 71 であった。

図１－（１）－ア　回収状況

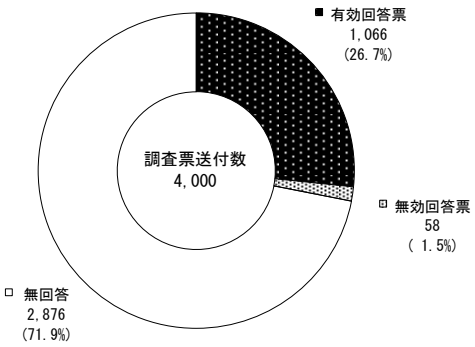
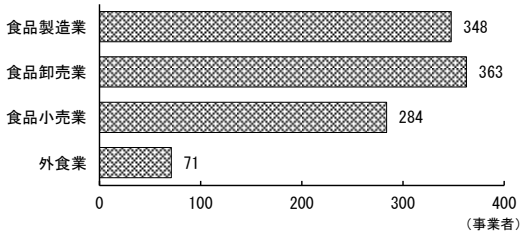


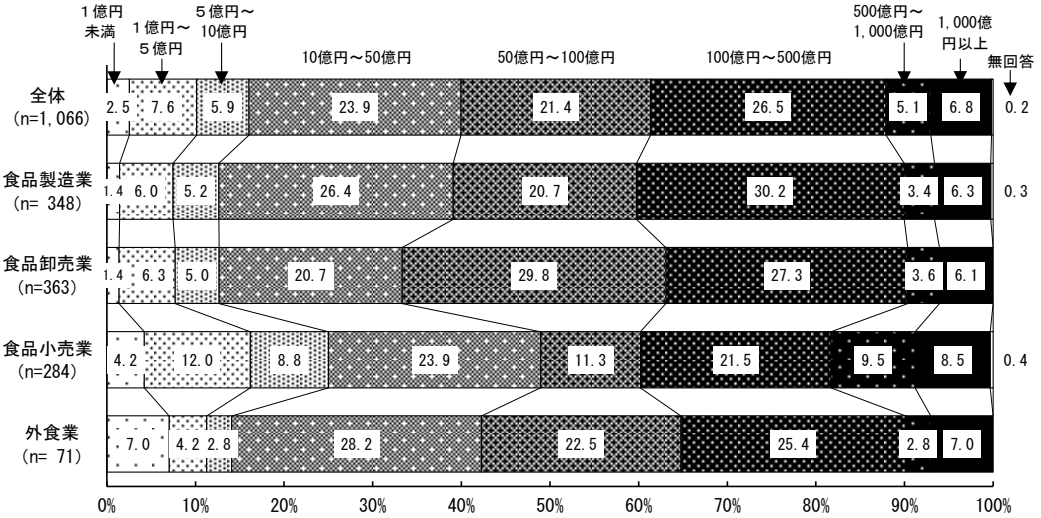
図１－（１）－イ　有効回答票の内訳



(2) 販売金額規模

販売金額規模について回答の多かった選択肢及びその割合は、全体では「100 億円以上 500 億円未満」の 26.5%、食品製造業では「100 億円以上 500 億円未満」の 30.2%、食品卸売業では「50 億円以上 100 億円未満」の 29.8%、食品小売業では「10 億円以上 50 億円未満」の 23.9%、外食業では「10 億円以上 50 億円未満」の 28.2%であった。

図１－（２）　販売金額規模



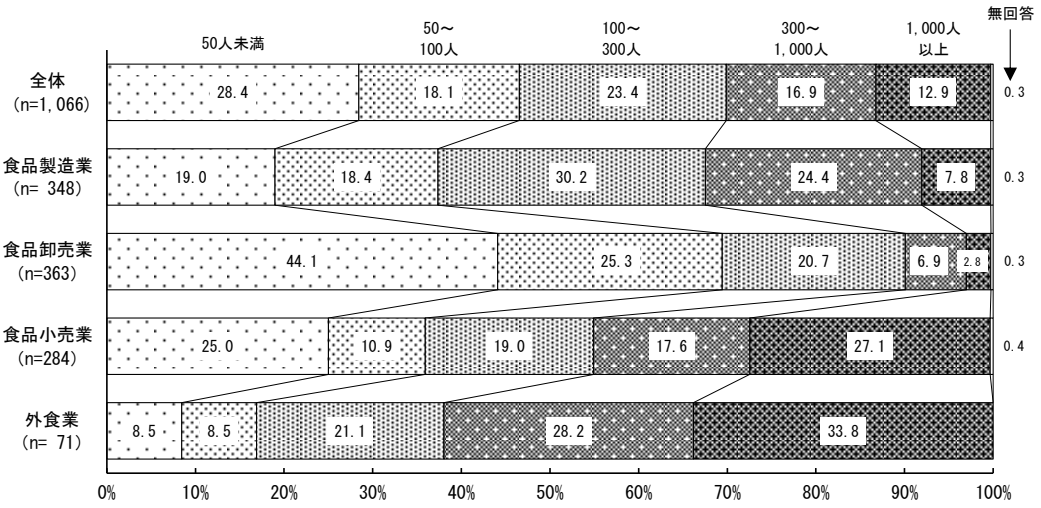
(注) n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各業種の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、(2)から(3)の図において同じ。

(注) 割合は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。以下同じ。

(3) 従業員数規模

従業員数規模について回答の多かった選択肢及びその割合は、全体では「50 人未満」の 28.4%、食品製造業では「100 人以上 300 人未満」の 30.2%、食品卸売業では「50 人未満」の 44.1%、食品小売業では「1,000 人以上」の 27.1%、外食業では「1,000 人以上」の 33.8%であった。

図１－（３）　従業員数規模

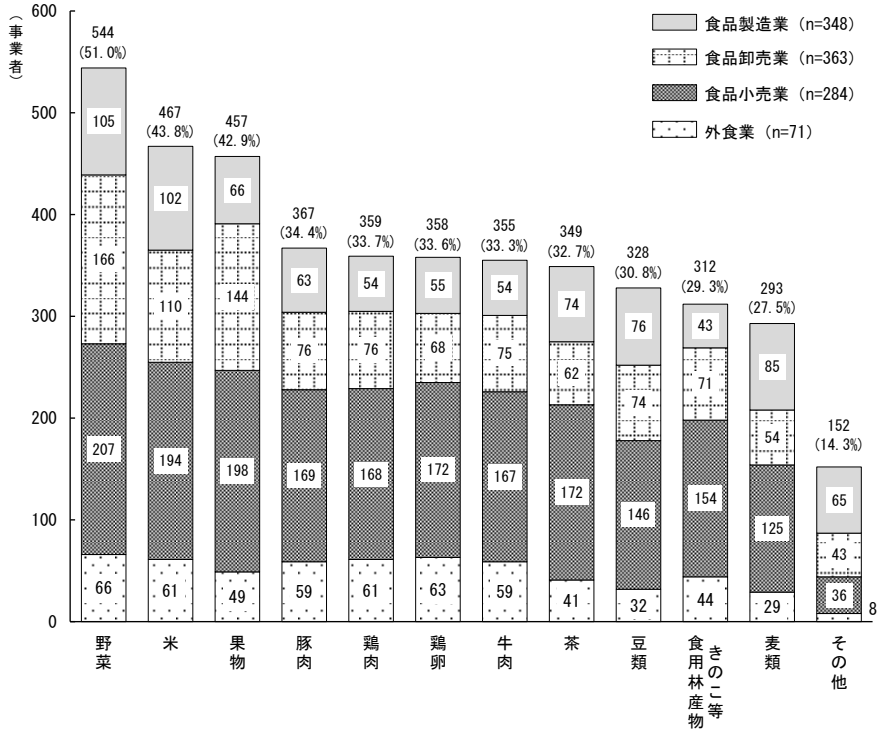


(4) 農畜産物の品目別仕入れ状況

仕入れをしている農畜産物について回答の多かった品目は、全体では、「野菜」と回答した割合が 51.0%と最も高く、次いで「米」(43.8%)、「果物」(42.9%) の順であった。

なお、「その他」は「生乳」、「乳製品」、「コーヒー豆」等である。

図１－（４）－ア　農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数

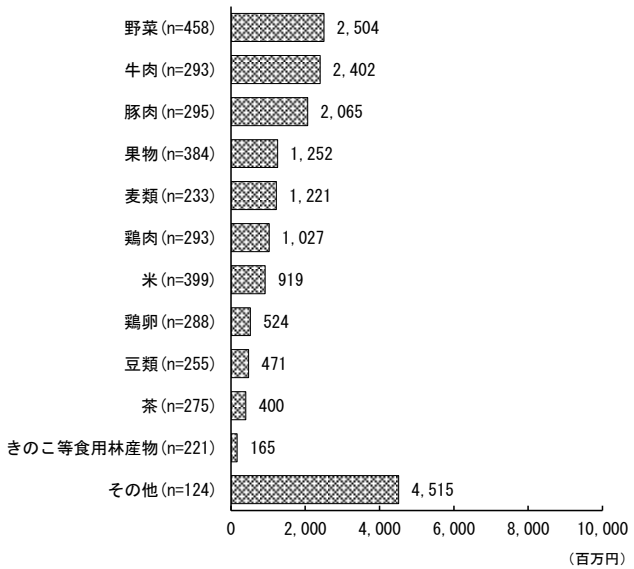


（注）各品目の割合を算出するに当たっての分母は、有効回答票の送付のあった事業者の数 1,066。n は業種別の事業者の数で参考値。

仕入れをしている農畜産物について年間の仕入れ額を品目ごとに聞いたところ、一事業者あたりの仕入れ額は、全体では、「野菜」(2,504 百万円) が最も高く、次いで「牛肉」(2,402 百万円)、「豚肉」(2,065 百万円) の順であった。

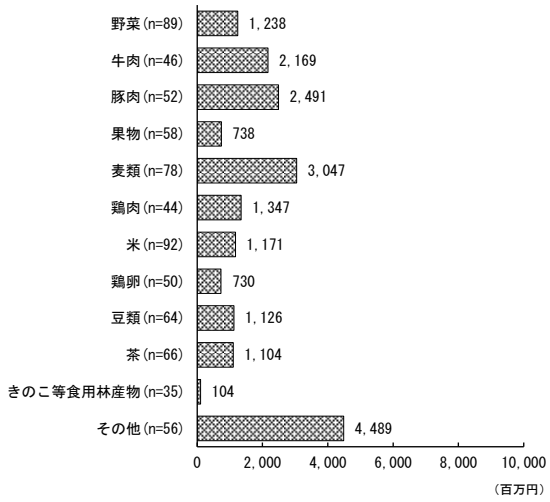
図１－（４）－イ　農畜産物の一事業者あたりの品目別年間仕入れ額

全体

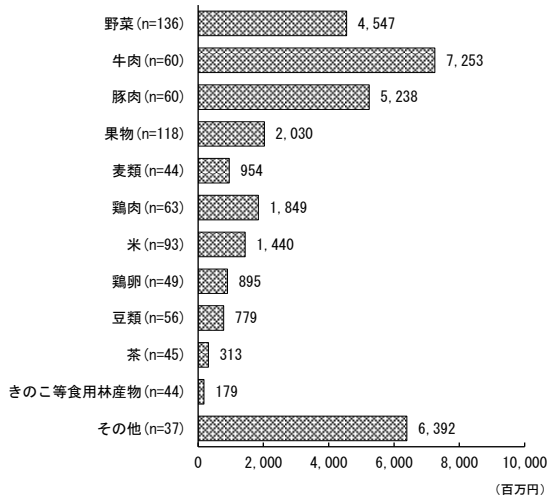


(注) n は (4)で各品目の仕入れを「有」とし、かつ、仕入れ額の回答のあった事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、図１－(4)－イの図において同じ。

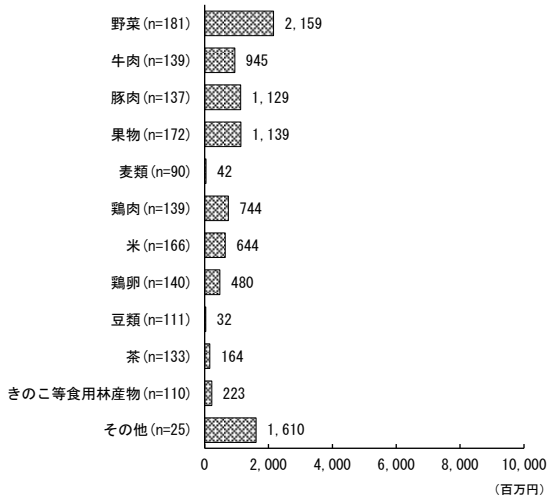
食品製造業



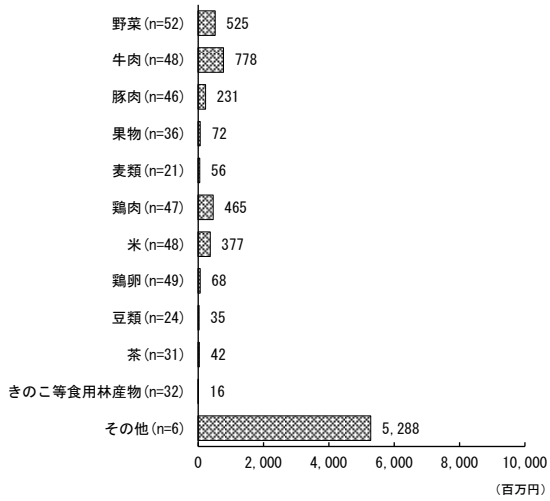
食品卸売業



食品小売業



外食業



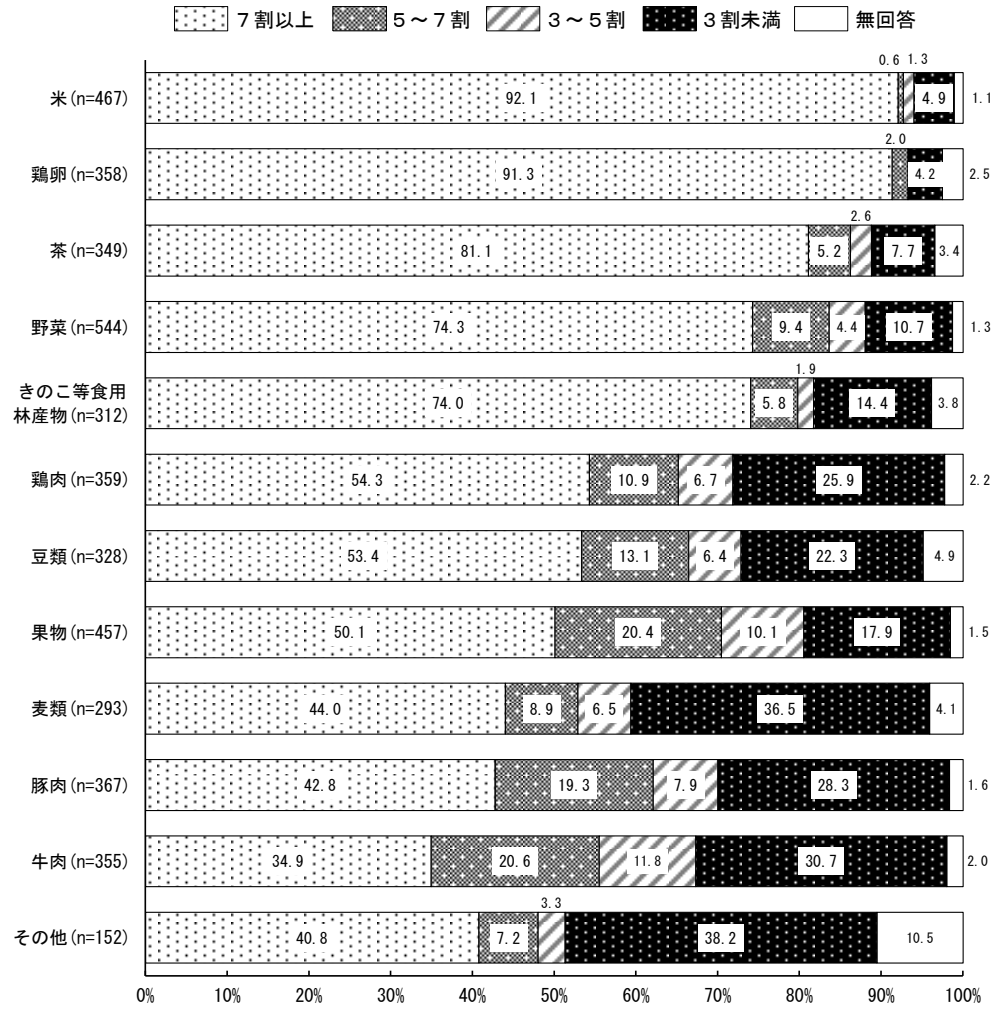
(5) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合

（※（4）で仕入れ「有」と回答した事業者のみ集計。）

農畜産物の仕入れの質問に対して、「仕入れあり」と回答した事業者について、その国産の割合を品目ごとに聞いたところ、「７割以上」と回答した事業者の割合は「米」が 92.1%と最も高く、次いで「鶏卵」(91.3%)、「茶」(81.1%) の順であった。

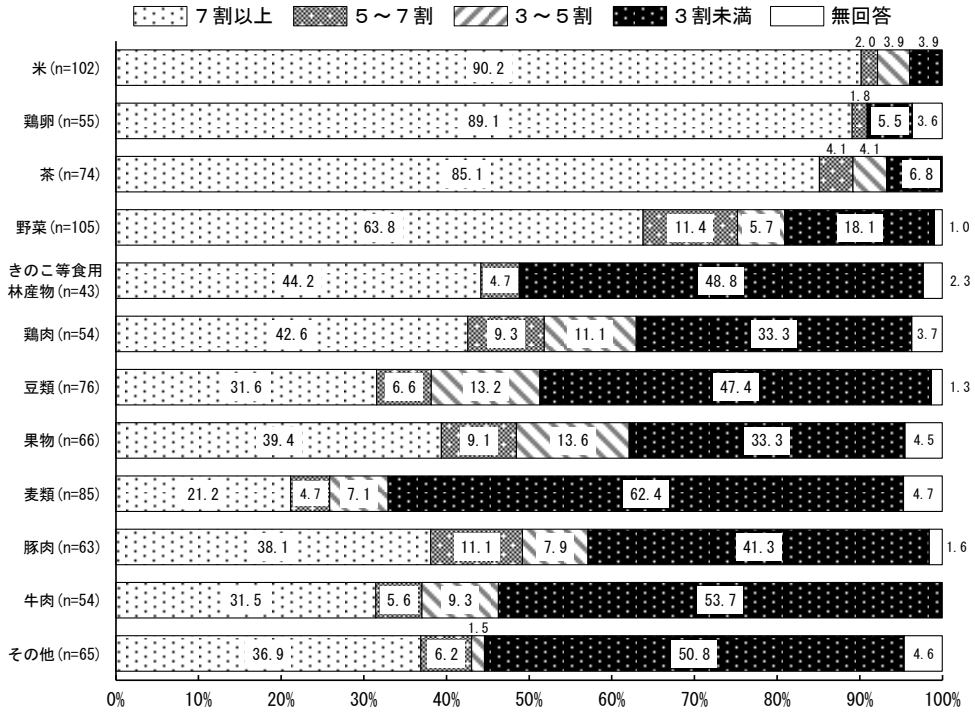
図１－（５） 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合

全体

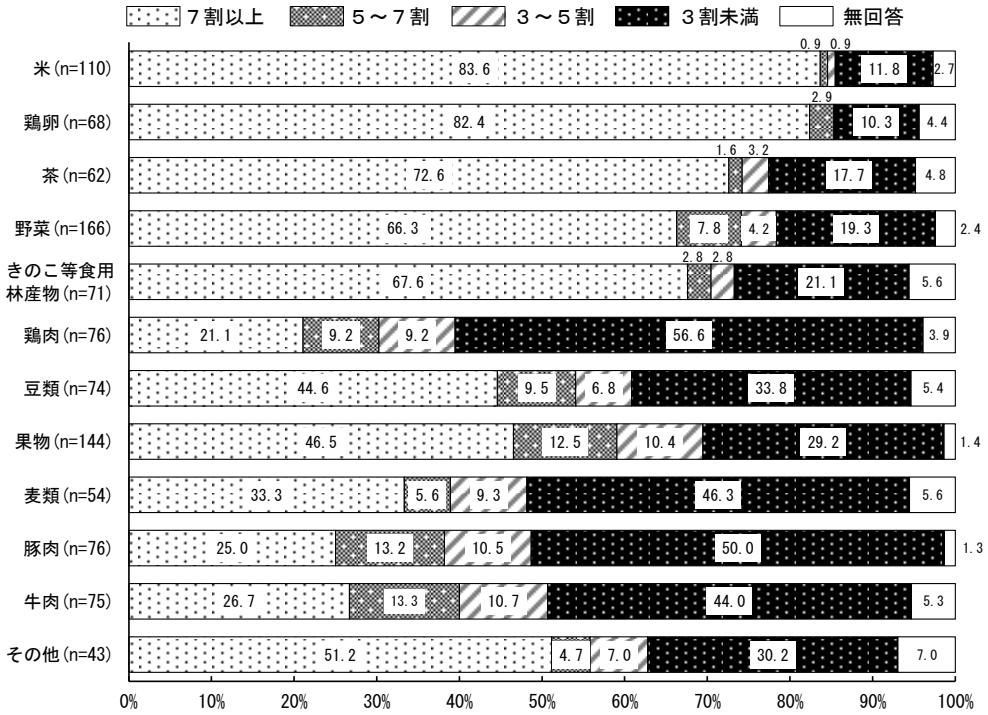


(注) n は (4) で各品目の仕入れを「有」とした事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。
以下、(5) の図において同じ。

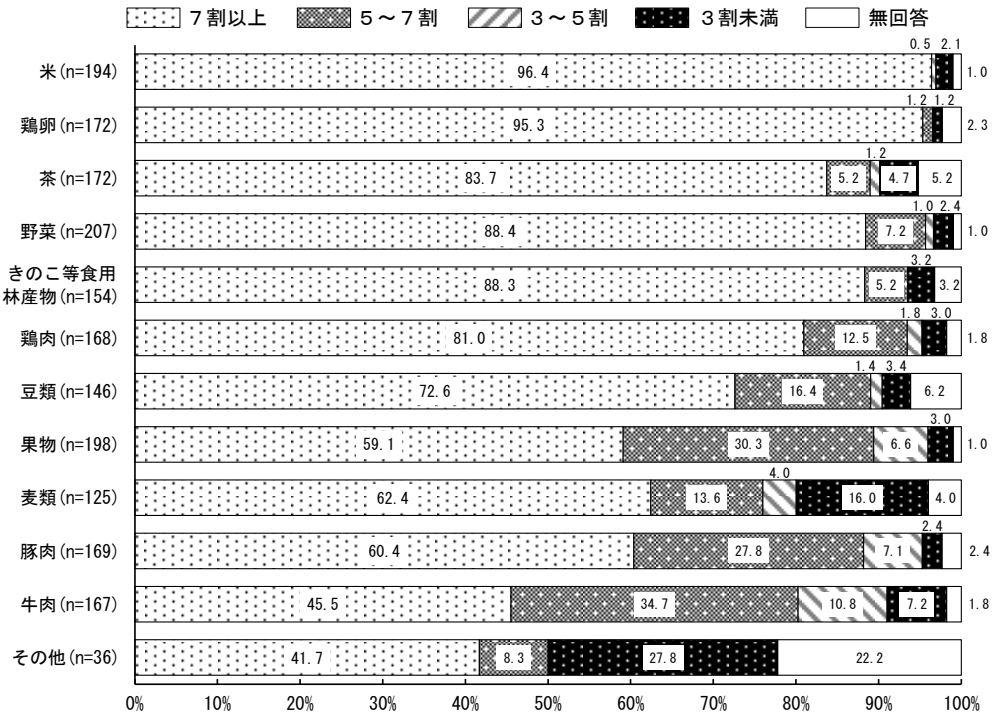
食品製造業


７割以上
５～７割
３～５割
３割未満
無回答
米(n=102)
90.2
2.0
3.9
3.9
鶏卵(n=55)
89.1
1.8
5.5
3.6
茶(n=74)
85.1
4.1
4.1
6.8
野菜(n=105)
63.8
11.4
5.7
18.1
1.0
きのこ等食用林産物(n=43)
44.2
4.7
48.8
2.3
鶏肉(n=54)
42.6
9.3
11.1
33.3
3.7
豆類(n=76)
31.6
6.6
13.2
47.4
1.3
果物(n=66)
39.4
9.1
13.6
33.3
4.5
麦類(n=85)
21.2
4.7
7.1
62.4
4.7
豚肉(n=63)
38.1
11.1
7.9
41.3
1.6
牛肉(n=54)
31.5
5.6
9.3
53.7
その他(n=65)
36.9
1.5
6.2
50.8
4.6
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

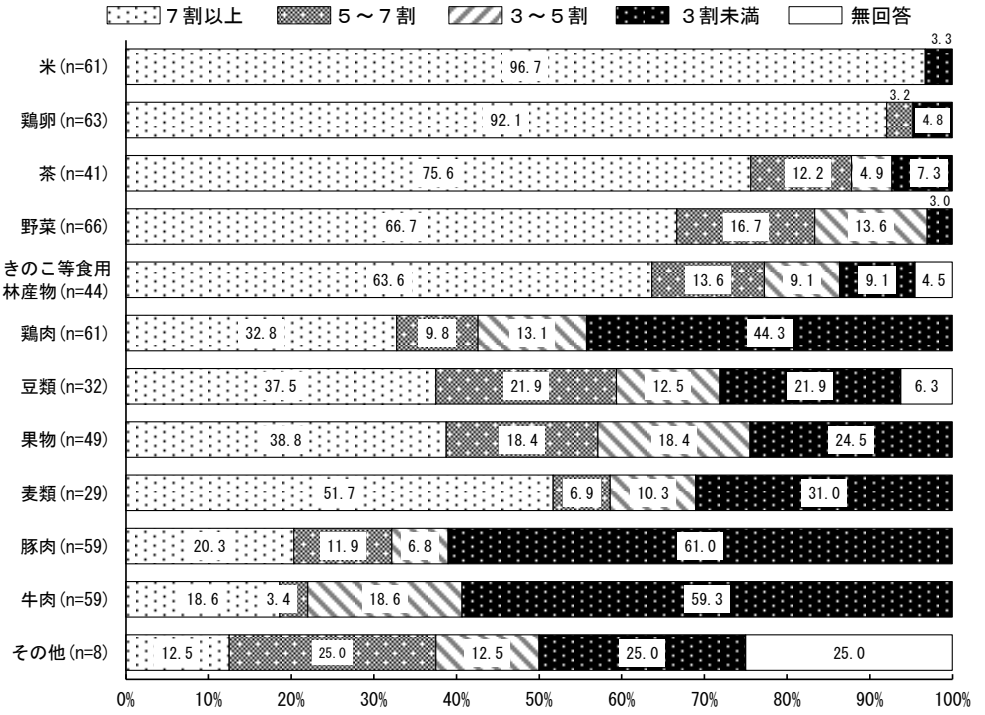
食品卸売業


７割以上
５～７割
３～５割
３割未満
無回答
米(n=110)
83.6
0.9
0.9
11.8
2.7
鶏卵(n=68)
82.4
2.9
10.3
4.4
茶(n=62)
72.6
1.6
3.2
17.7
4.8
野菜(n=166)
66.3
7.8
4.2
19.3
2.4
きのこ等食用林産物(n=71)
67.6
2.8
2.8
21.1
5.6
鶏肉(n=76)
21.1
9.2
9.2
56.6
3.9
豆類(n=74)
44.6
9.5
6.8
33.8
5.4
果物(n=144)
46.5
12.5
10.4
29.2
1.4
麦類(n=54)
33.3
5.6
9.3
46.3
5.6
豚肉(n=76)
25.0
13.2
10.5
50.0
1.3
牛肉(n=75)
26.7
13.3
10.7
44.0
5.3
その他(n=43)
51.2
4.7
7.0
30.2
7.0
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

食品小売業


７割以上
５～７割
３～５割
３割未満
無回答
米(n=194) 96.4 0.5 2.1 1.0
鶏卵(n=172) 95.3 1.2 1.2 2.3
茶(n=172) 83.7 5.2 1.2 4.7 5.2
野菜(n=207) 88.4 7.2 1.0 2.4 1.0
きのこ等食用林産物(n=154) 88.3 5.2 3.2 3.2
鶏肉(n=168) 81.0 12.5 1.8 3.0 1.8
豆類(n=146) 72.6 16.4 1.4 3.4 6.2
果物(n=198) 59.1 30.3 6.6 3.0 1.0
麦類(n=125) 62.4 13.6 4.0 16.0 4.0
豚肉(n=169) 60.4 27.8 7.1 2.4 2.4
牛肉(n=167) 45.5 34.7 10.8 7.2 1.8
その他(n=36) 41.7 8.3 27.8 22.2
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

外食業

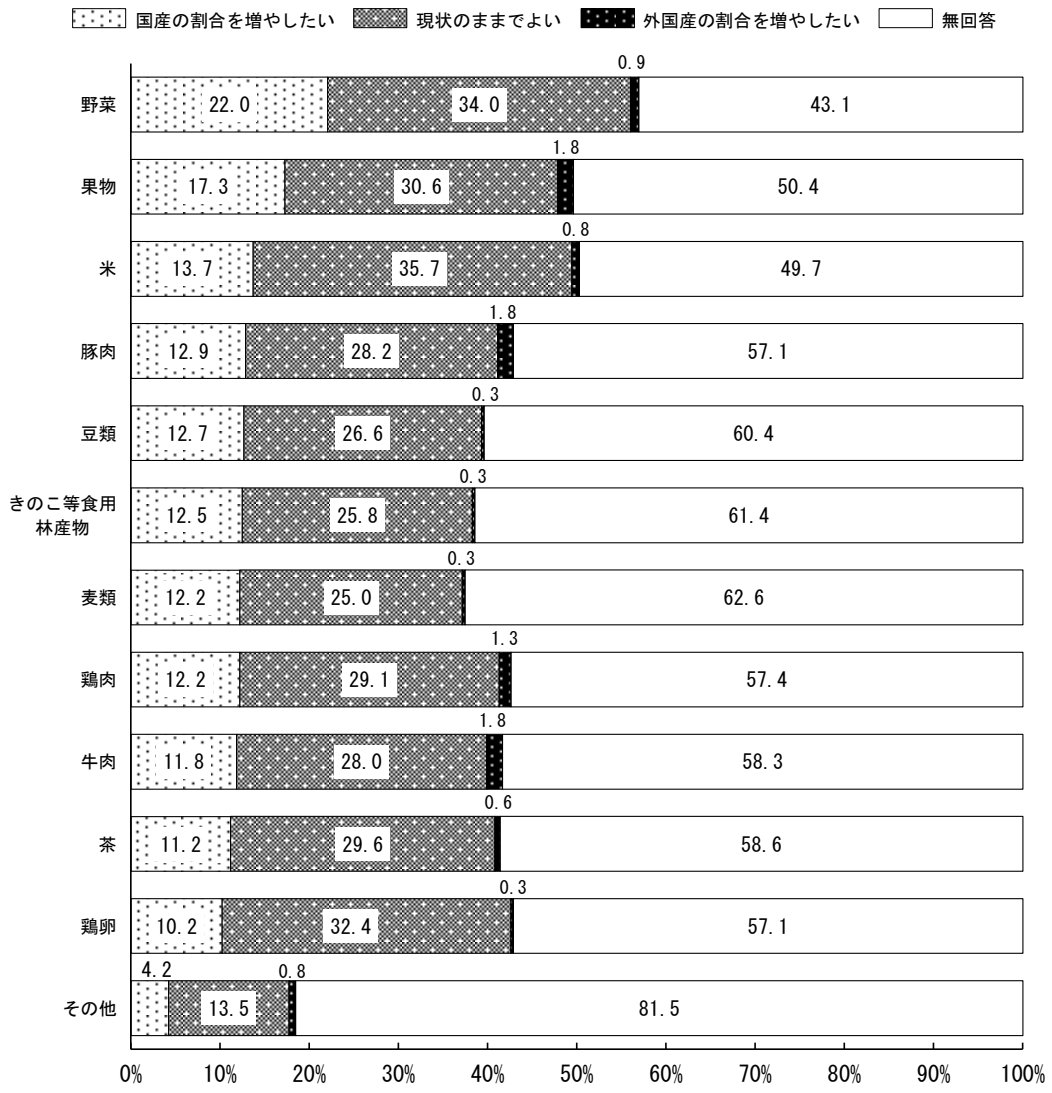

７割以上
５～７割
３～５割
３割未満
無回答
米(n=61) 96.7 3.3
鶏卵(n=63) 92.1 3.2 4.8
茶(n=41) 75.6 12.2 4.9 7.3
野菜(n=66) 66.7 16.7 13.6 3.0
きのこ等食用林産物(n=44) 63.6 13.6 9.1 9.1 4.5
鶏肉(n=61) 32.8 9.8 13.1 44.3
豆類(n=32) 37.5 21.9 12.5 21.9 6.3
果物(n=49) 38.8 18.4 18.4 24.5
麦類(n=29) 51.7 6.9 10.3 31.0
豚肉(n=59) 20.3 11.9 6.8 61.0
牛肉(n=59) 18.6 3.4 18.6 59.3
その他(n=8) 12.5 25.0 12.5 25.0 25.0
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

(6) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向

農畜産物の今後の国産・外国産の仕入れの意向を品目ごとに聞いたところ、「国産の割合を増やしたい」と回答した事業者の割合は「野菜」が 22.0%と最も高く、次いで「果物」(17.3%)、「米」(13.7%) の順であった。

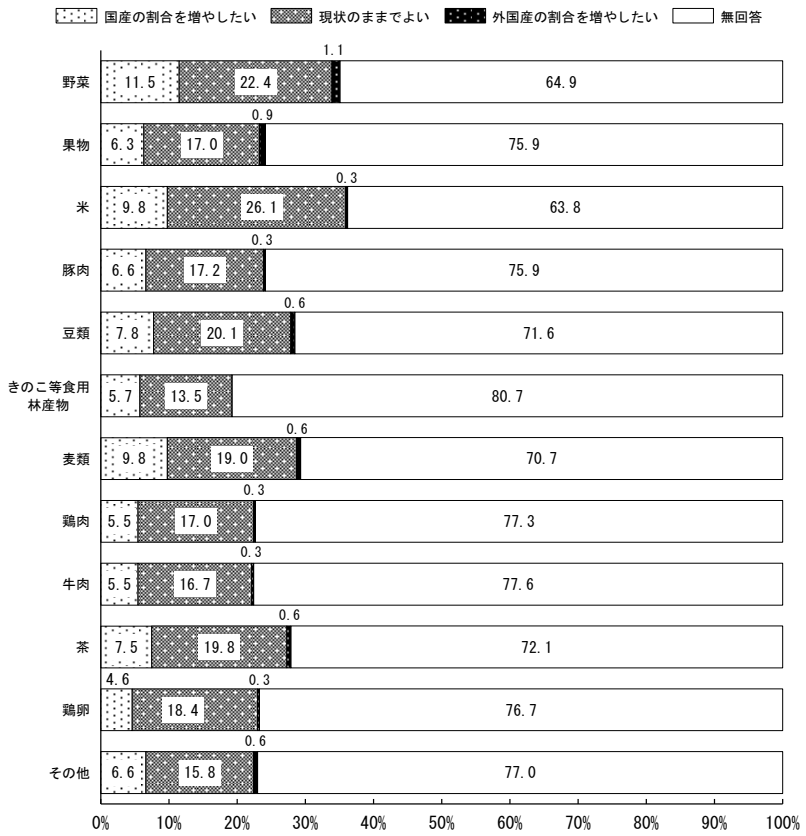
図１－（６） 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向

全体（n=1,066(100%)）

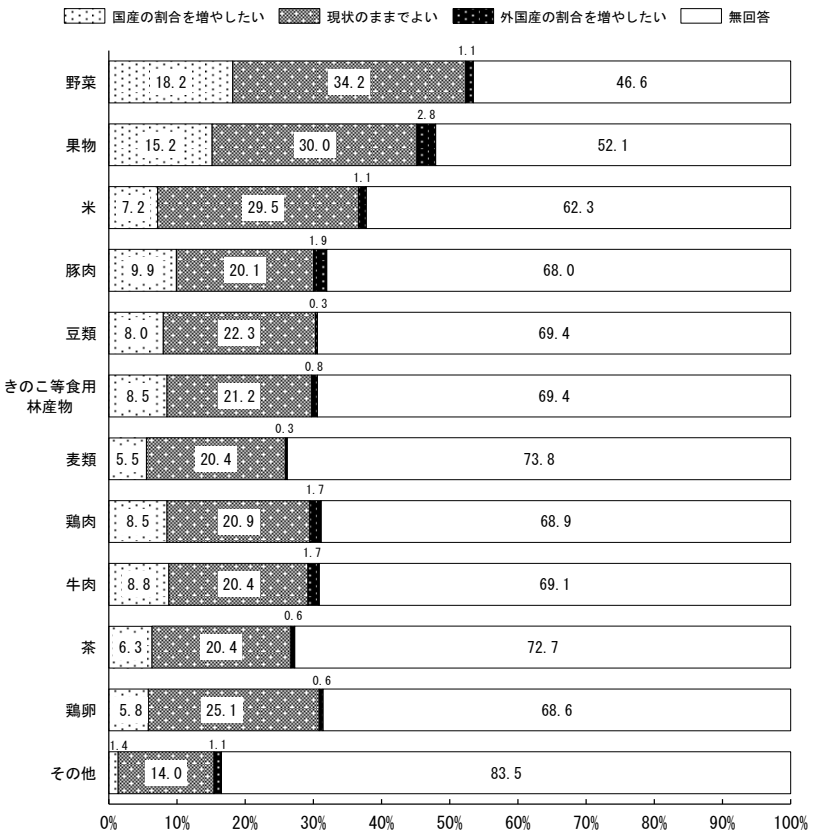


(注) n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、(6)の図において同じ。

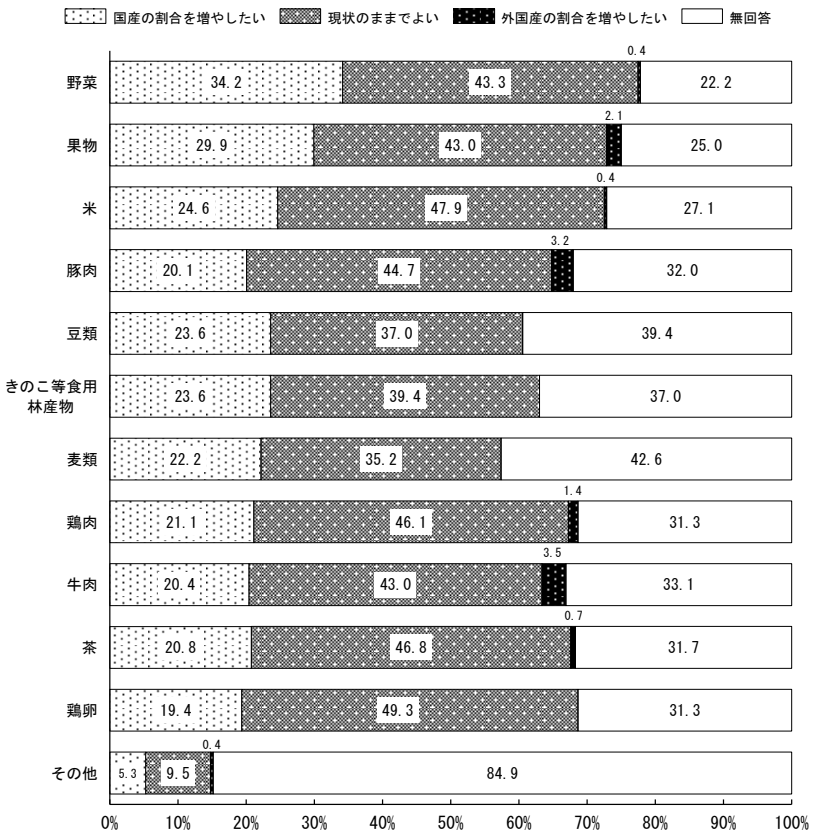
食品製造業（n=348（100%））



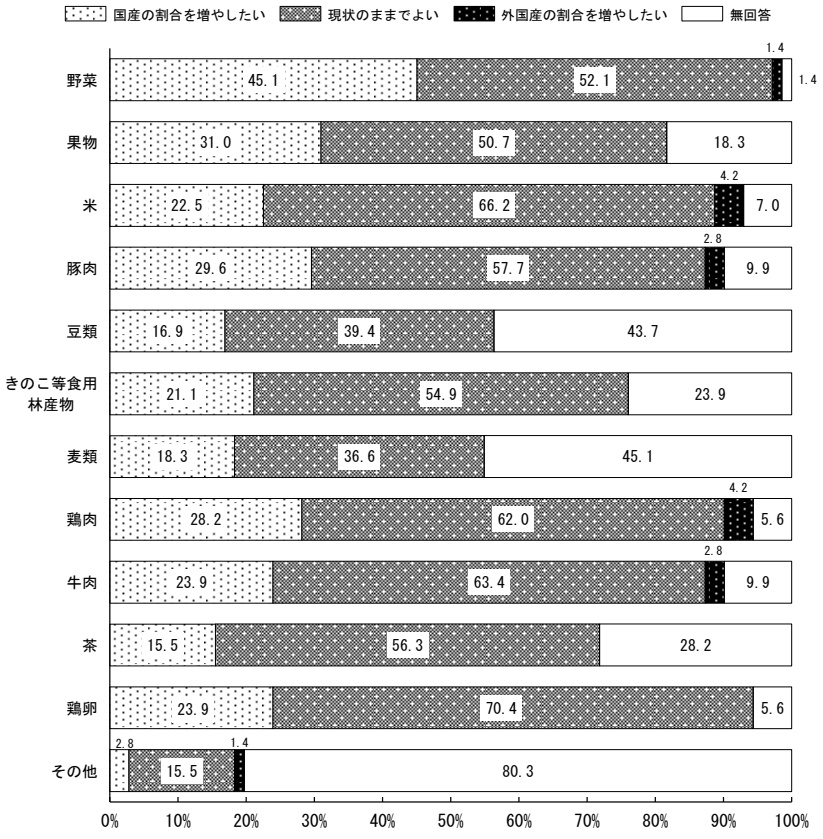
食品卸売業（n=363（100%））



食品小売業（n=284（100%））



外食業者（n=71（100%））



２　食品安全・ＧＡＰに関する認識について

(1) 食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）

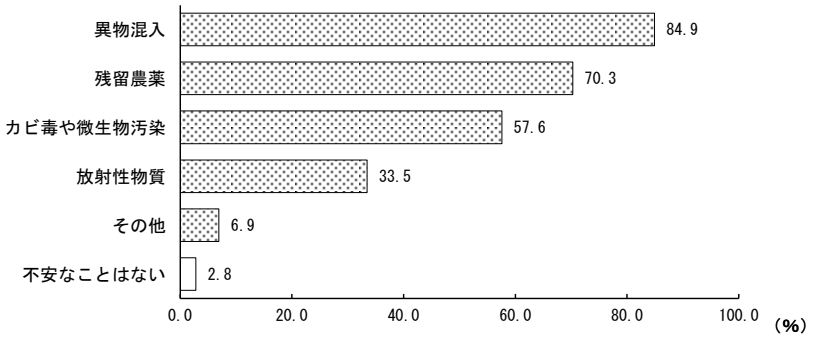
食品を仕入れる際に食品安全の観点から感じる不安について聞いたところ、全体では「異物混入」と回答した事業者の割合が 84.9％と最も高く、次いで「残留農薬」(70.3％)、「カビ毒や微生物汚染」(57.6％)、「放射性物質」(33.5％) の順であった。

なお、業種別では回答順位は同じであった。

また、「その他」は「遺伝子組換え」、「鮮度」、「添加物等」である。

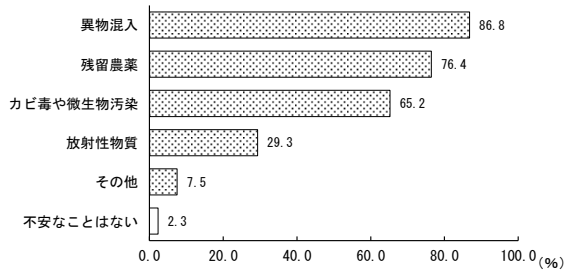
図２－（１）　食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）

全体（n=1,066(100%)）

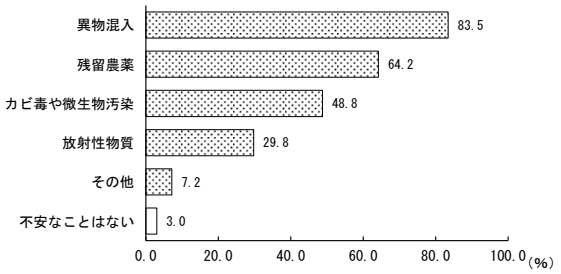


(注) n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(1)から(3)の図において同じ。

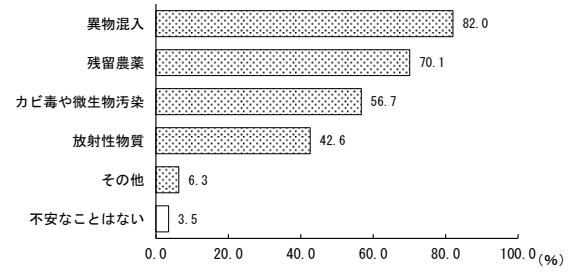
食品製造業（n=348（100%））



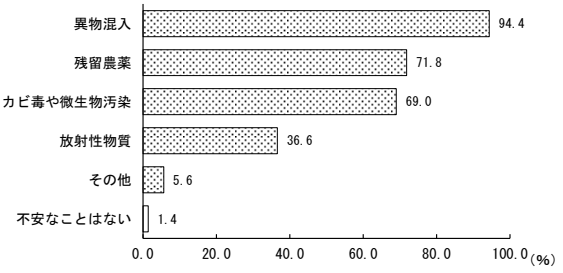
食品卸売業（n= 363(100%)）



食品小売業（n=284（100%））



外食業（n=71（100%））



(2) 食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）

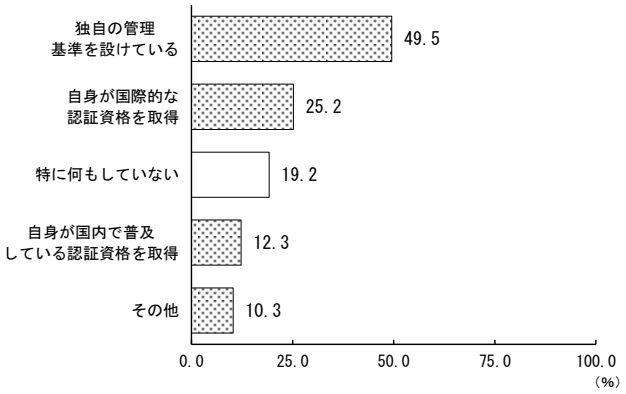
食品全般の安全面について事業者の体制として取り組んでいる、または、重視していることを聞いたところ、全体では「独自の管理基準を設けている」と回答した割合が 49.5%と最も高く、次いで「自身が国際的な認証資格を取得」(25.2%)、「特に何もしていない」(19.2%)、「自身が国内で普及している認証資格を取得」(12.3%) であった。

なお、食品製造業では他の業種と異なり、「自身が国際的な認証資格を取得」(60.3%)と回答した割合が、「独自の管理基準を設けている」(41.7%) より高かった。

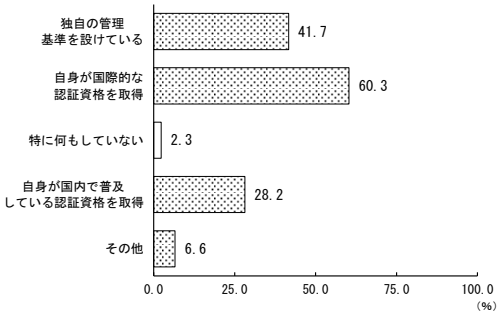
また、「その他」は「放射能検査の実施」、「品質管理システム導入」、「品質保証室を設置」、「定期的なサンプル調査（残留農薬等）」等である。

図２－（２） 食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）

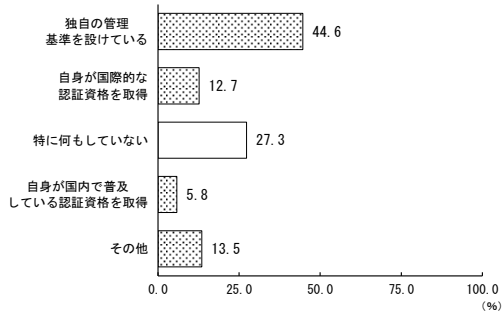
全体（n=1,066(100%)）



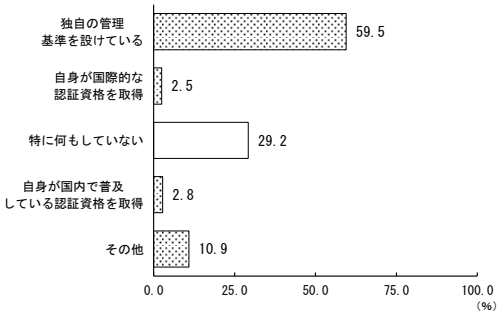
食品製造業（n=348（100%））



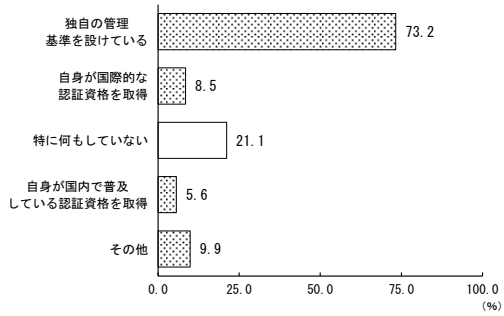
食品卸売業（n=363（100%））



食品小売業（n=284（100%））



外食業（n=71（100%））



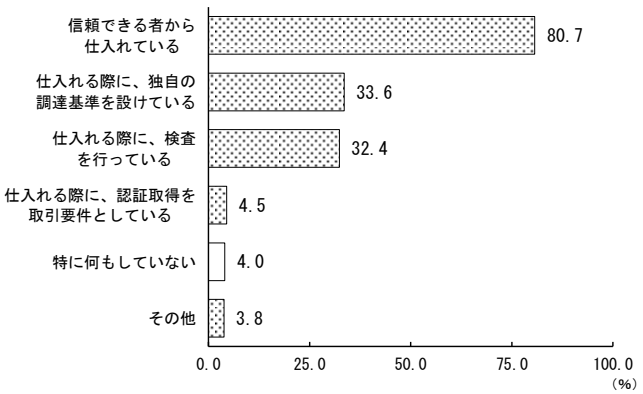
(3) 食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答）

食品全般の安全面に関して仕入れの際に事業者として取り組んでいる、または、重視していることを聞いたところ、全体では「信頼できる者から仕入れている」と回答した割合が 80.7%と最も高く、次いで「仕入れる際に、独自の調達基準を設けている」(33.6%)、「仕入れる際に、検査を行っている」(32.4%)、「仕入れる際に、認証取得を取引要件としている」(4.5%) の順であった。

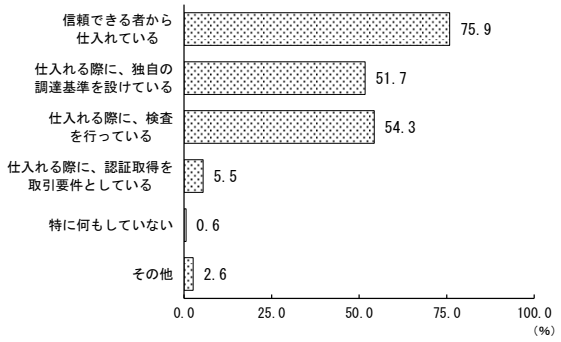
また、「その他」は「現地視察、産地証明の要求」、「栽培履歴提出」、「残留検査定期的なサンプル調査（残留農薬等)」等である。

図２－（３） 食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答）

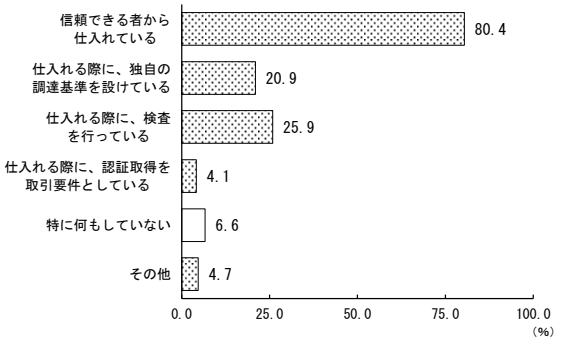
全体（n=1,066(100%)）



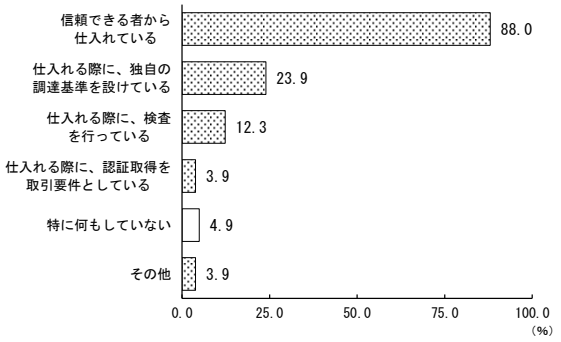
食品製造業（n=348（100%））



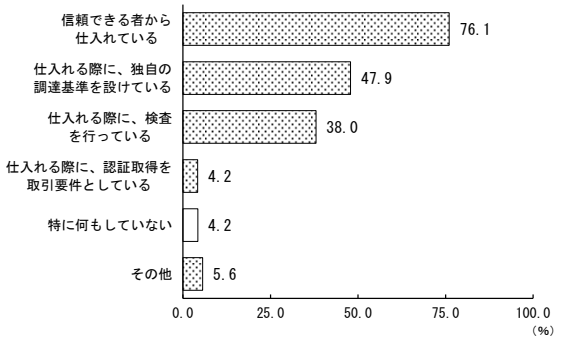
食品卸売業（n=363（100%））



食品小売業（n=284（100%））



外食業（n=71（100%））

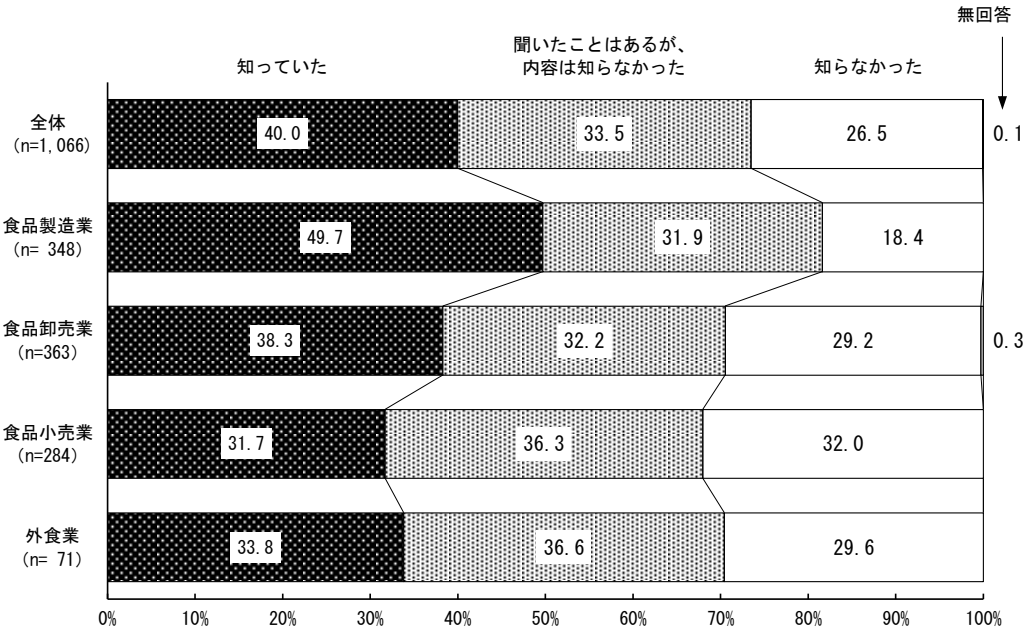


(4) ＧＡＰの認知度

ＧＡＰを知っているかという質問に対して、全体では「知っていた」と回答した割合が40.0％と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」(33.5％)、「知らなかった」(26.5％）の順であった。

なお、業種別では「知っていた」又は「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」と回答した割合は、食品製造業が最も高かった。

図２－（４）　ＧＡＰの認知度



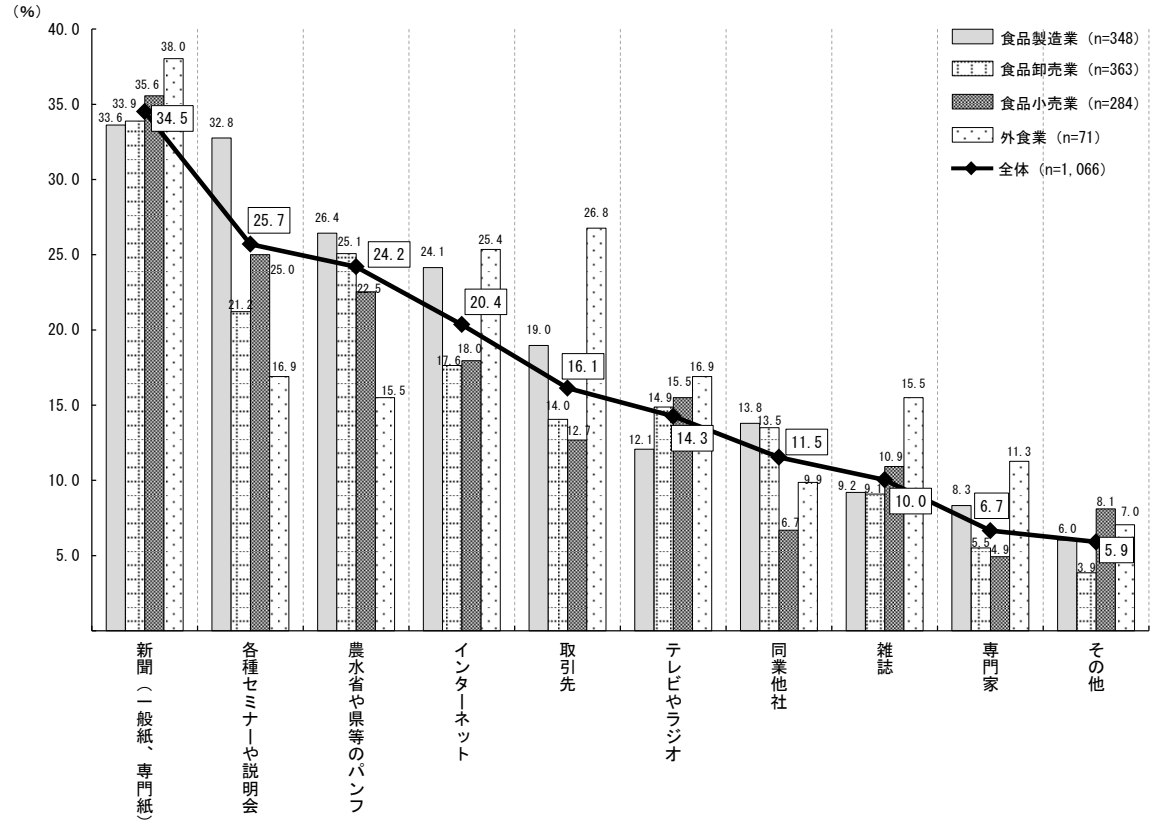
（注）ｎは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各業種の図中の割合を算出するに当たっての分母。

(5) ＧＡＰに関する情報の収集元（複数回答）

ＧＡＰに関する情報をどのようなところで見聞するかという質問に対して、全体では「新聞（一般紙、専門紙）」と回答した割合が 34.5％と最も高く、次いで「各種セミナーや説明会」（25.7％）、「農水省や県等のパンフ」（24.2％）、「インターネット」（20.4％）、「取引先」（16.1％）、「テレビやラジオ」（14.3％）の順であった。

また、「その他」は「今回のアンケート」、「農業教育機関」、「農協」等である。

図２－（５）　ＧＡＰに関する情報の収集元（複数回答）



（注）n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。

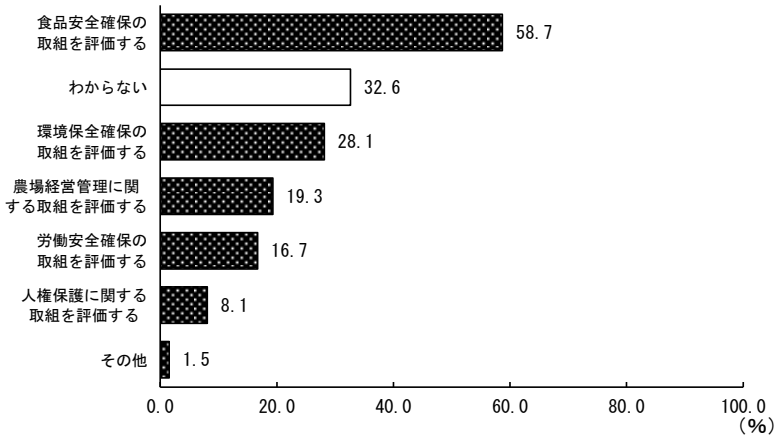
(6) ＧＡＰの取組に関して評価する点（複数回答）

ＧＡＰの取組に関して評価する内容についての質問に対して、全体では「食品安全確保の取組」と回答した割合が 58.7%と最も高く、次いで「わからない」(32.6%)、「環境保全確保の取組」(28.1%)、「農場経営管理に関する取組」(19.3%) であった。

また、「その他」は「評価していない」、「情報不足のため評価が困難」、「次世代に継承される農業生産の確保を評価している」等である。

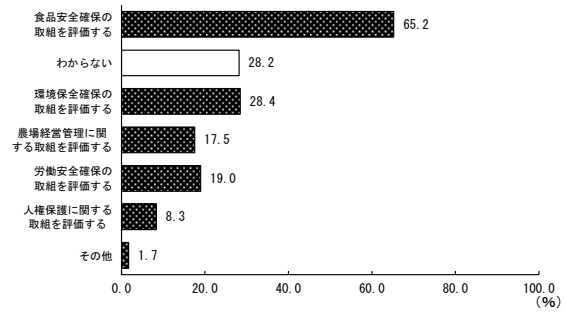
図２－（６） ＧＡＰの取組に関して評価する点

全体（n=1,066(100%)）

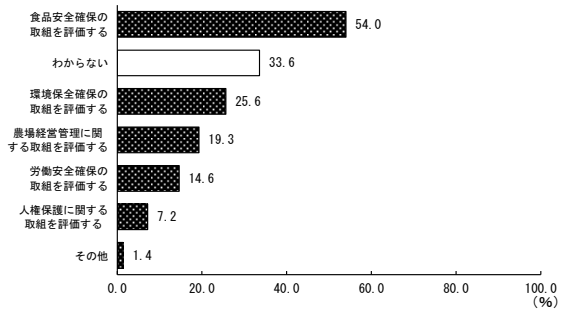


（注）n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(6)の図において同じ。

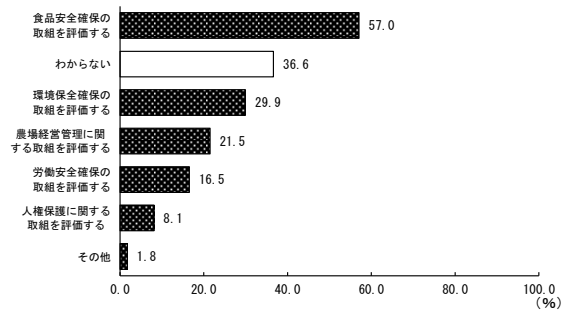
食品製造業（n=348（100%））



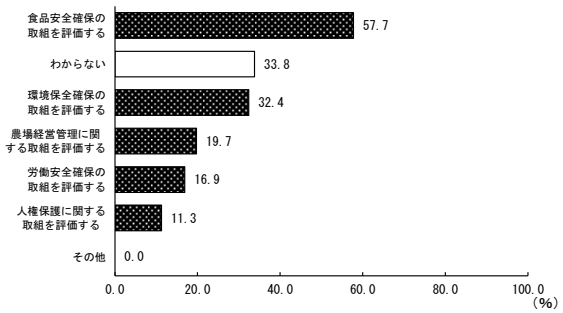
食品卸売業（n=363（100%））



食品小売業（n=284（100%））



外食業（n=71（100%））



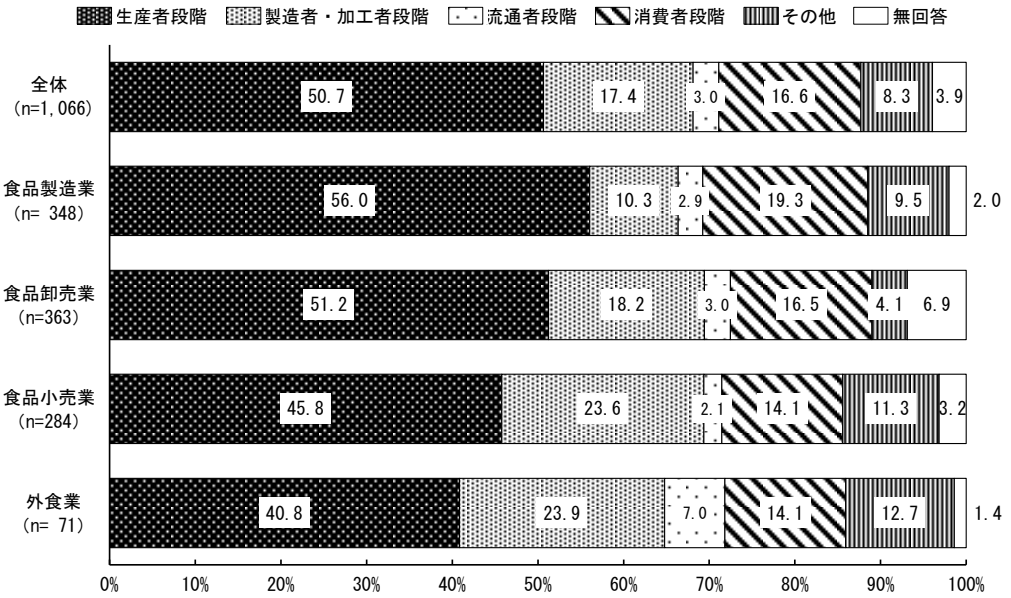
(7) 食品安全リスク対応に要する費用（ＧＡＰ認証取得費用等）の主な負担者

農畜産物の食品安全リスクへの対応に要する費用（ＧＡＰ認証取得費用等）を主にどの者が負担すべきかの質問に対して、全体では「生産者段階」と回答した割合が 50.7％と最も高く、次いで「製造者・加工者段階」(17.4％)、「消費者段階」(16.6％) の順であった。

なお、業種別では、食品製造業が「生産者段階」と回答した割合が 56.0％と最も高く、次いで食品卸売業 (51.2％)、食品小売業 (45.8％)、外食業 (40.8％) と続くが、「製造者・加工者段階」と回答する割合は逆の順番であった。

また、「その他」は「均等に負担すべき」、「政府・行政」、「わからない」等である。

図２－（７）　食品安全リスク対応に要する費用（ＧＡＰ認証取得費用等）の主な負担者



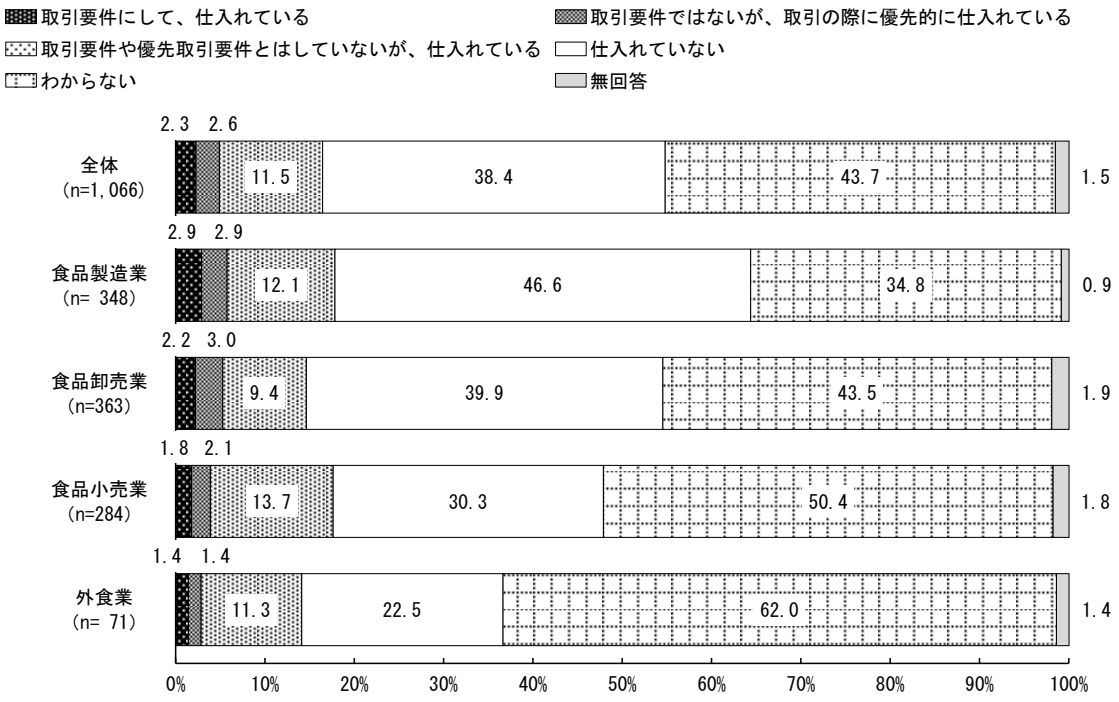
（注）n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各業種の図中の割合を算出するに当たっての分母。

３　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れについて

(1) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの有無

ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの有無と、仕入れの際の取引要件や取引の優先についての質問に対して、全体では、「取引要件にして、仕入れている」が 2.3%、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」が 2.6%、「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」が 11.5%であった。

図３－（１）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの有無



（注）n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各業種の図中の割合を算出するに当たっての分母。

４　ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている事業者について

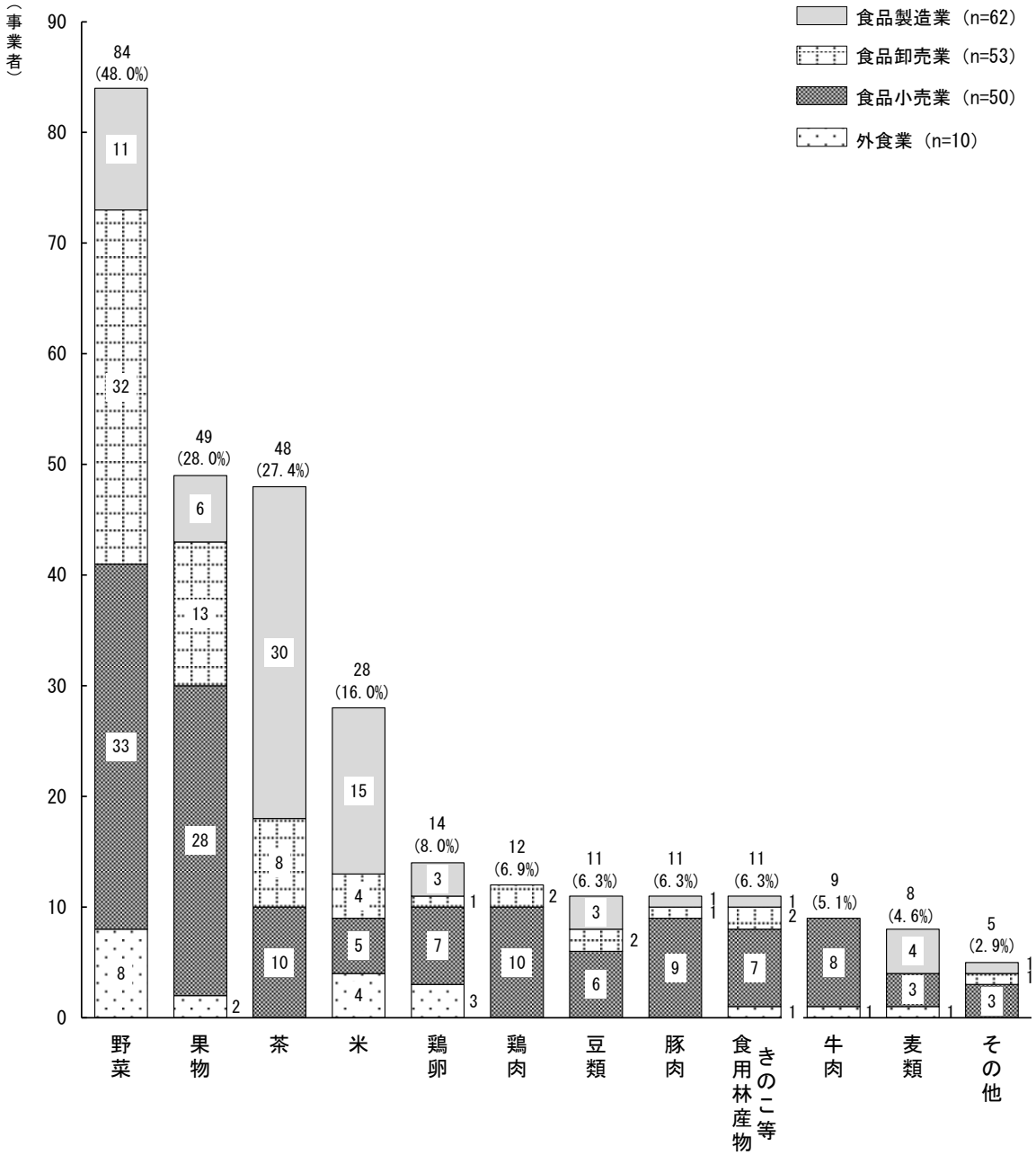
（※３で「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」又は「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」と回答した事業者のみ回答。）

(1) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数・国産割合

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、仕入れの有無を品目ごとに聞いたところ、「有」と回答のあった品目は、全体では「野菜」と回答した事業者が 48.0%と最も高く、次いで「果物」(28.0%)、「茶」(27.4%) の順であった。

なお、「その他」は「そば」、「畜産副産物」等である。

図４－（１）－ア　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数

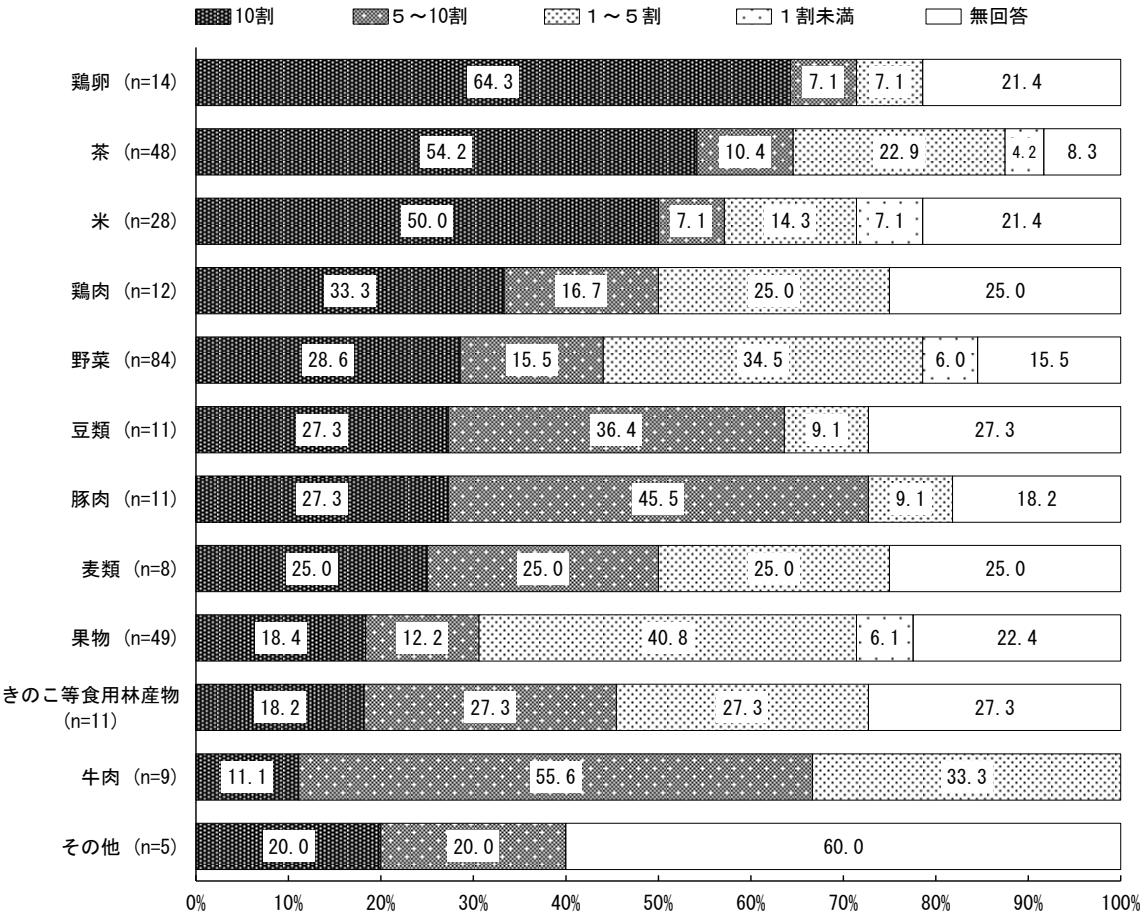


（注）各品目の割合の算出に当たっての分母は、３で「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」又は「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」と回答した事業者の数 175。n は各業種の事業者の数で参考値。

さらに、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れにおける国産割合を品目ごとに聞いたところ、「10 割」と回答した事業者の割合は「鶏卵」が 64.3％と最も高く、次いで「茶」(54.2％)、「米」(50.0％) の順であった。

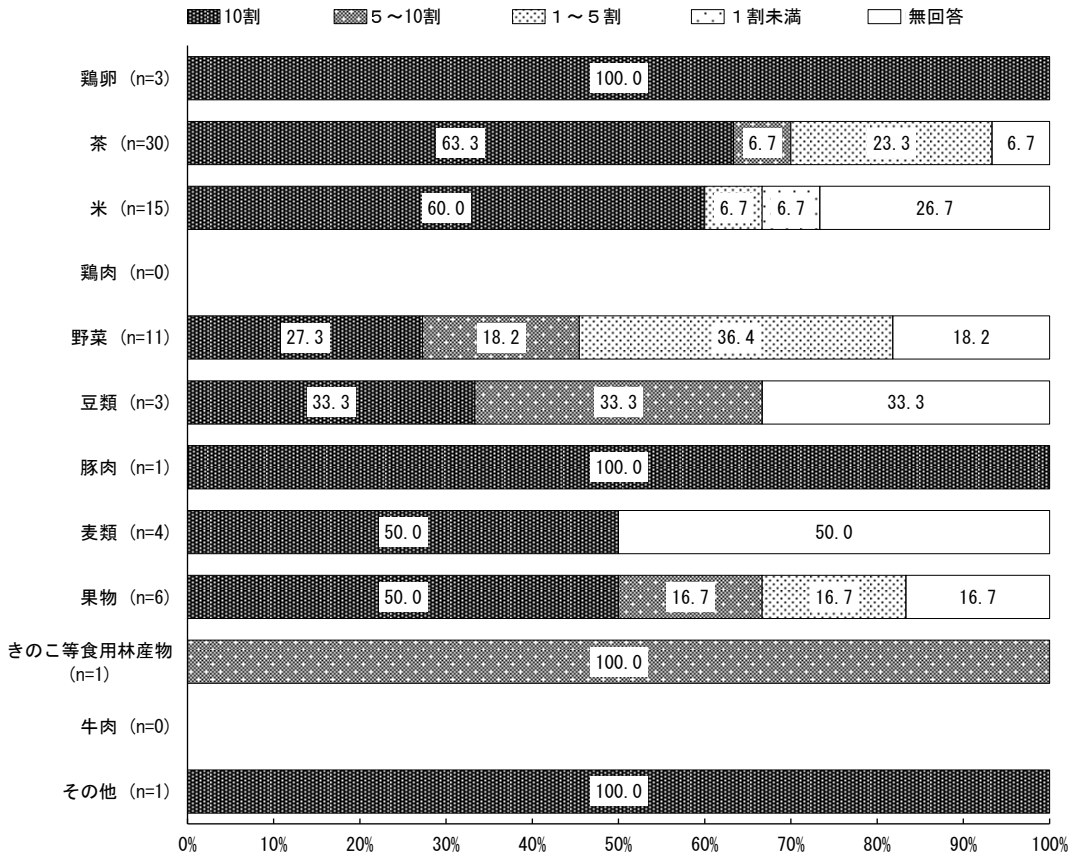
図４－（１）－イ　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合

全体

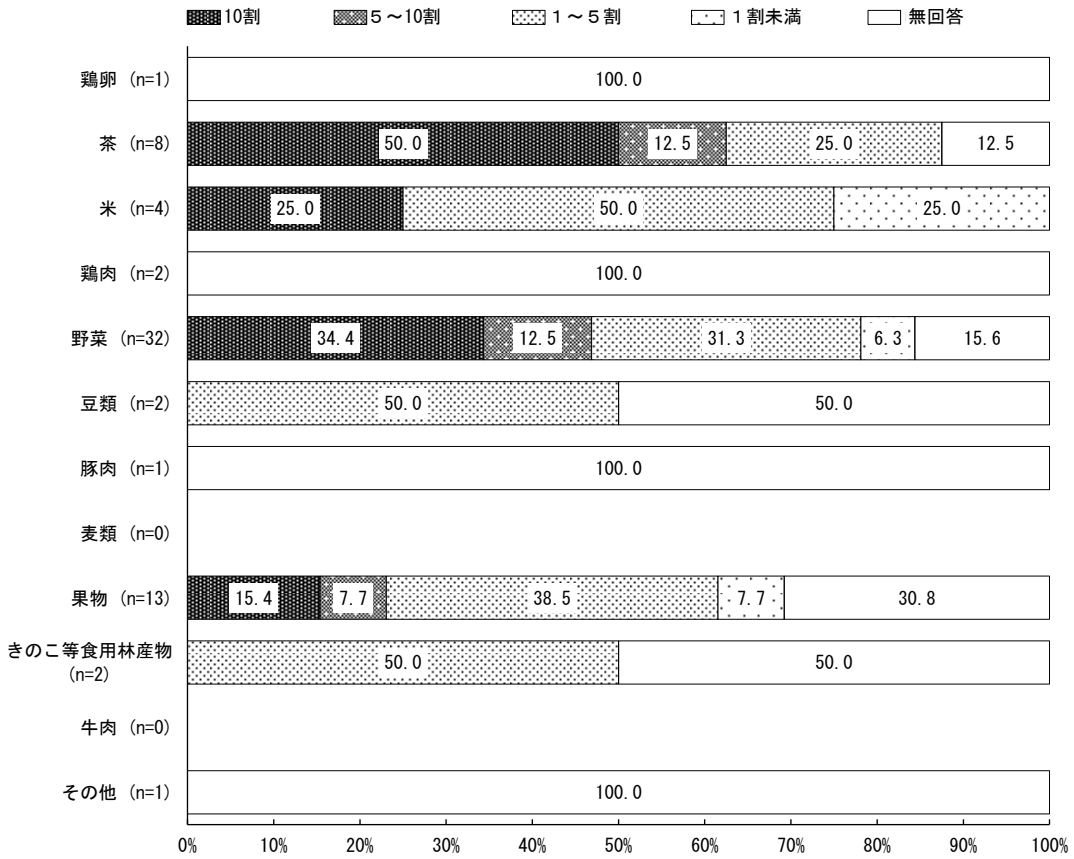


（注）ｎは「図４－（１）－ア」において回答のあった品目別の事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、(1)－イの図において同じ。

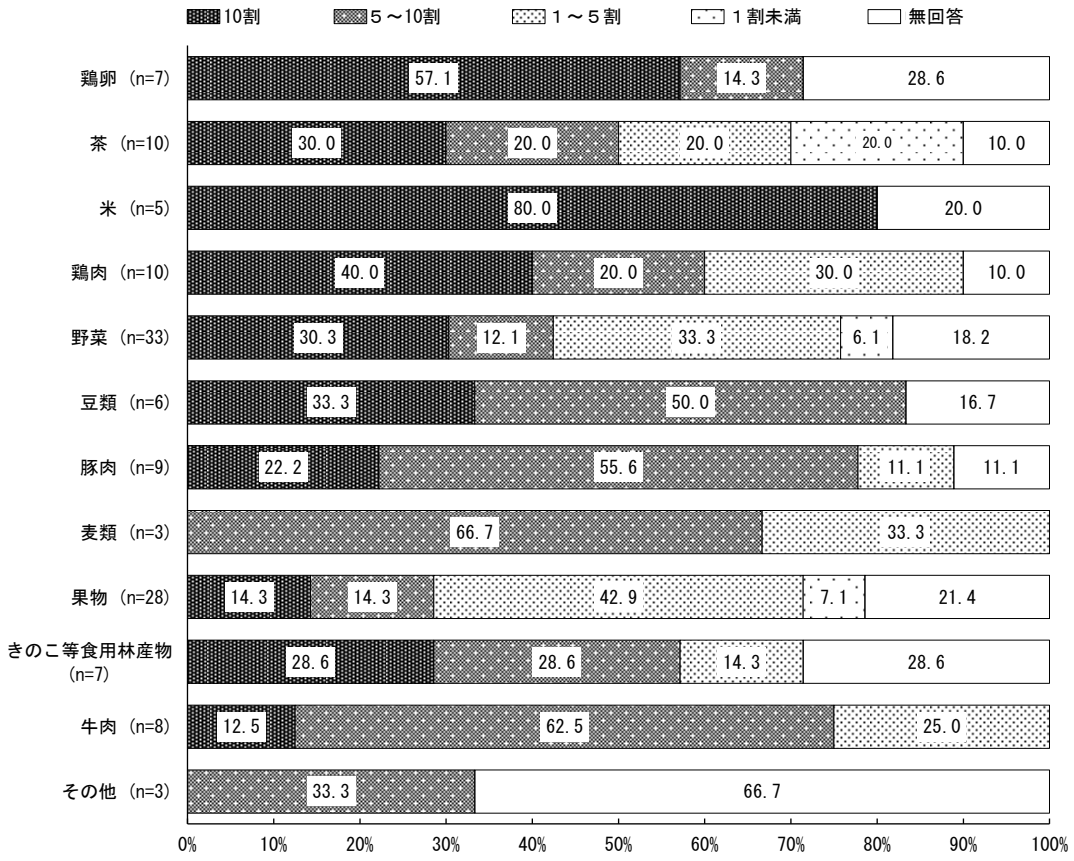
食品製造業


10割
５～10割
１～５割
１割未満
無回答
鶏卵（n=3）
100.0
茶（n=30）
63.3
6.7
23.3
6.7
米（n=15）
60.0
6.7
6.7
26.7
鶏肉（n=0）
野菜（n=11）
27.3
18.2
36.4
18.2
豆類（n=3）
33.3
33.3
33.3
豚肉（n=1）
100.0
麦類（n=4）
50.0
50.0
果物（n=6）
50.0
16.7
16.7
16.7
きのこ等食用林産物（n=1）
100.0
牛肉（n=0）
その他（n=1）
100.0
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

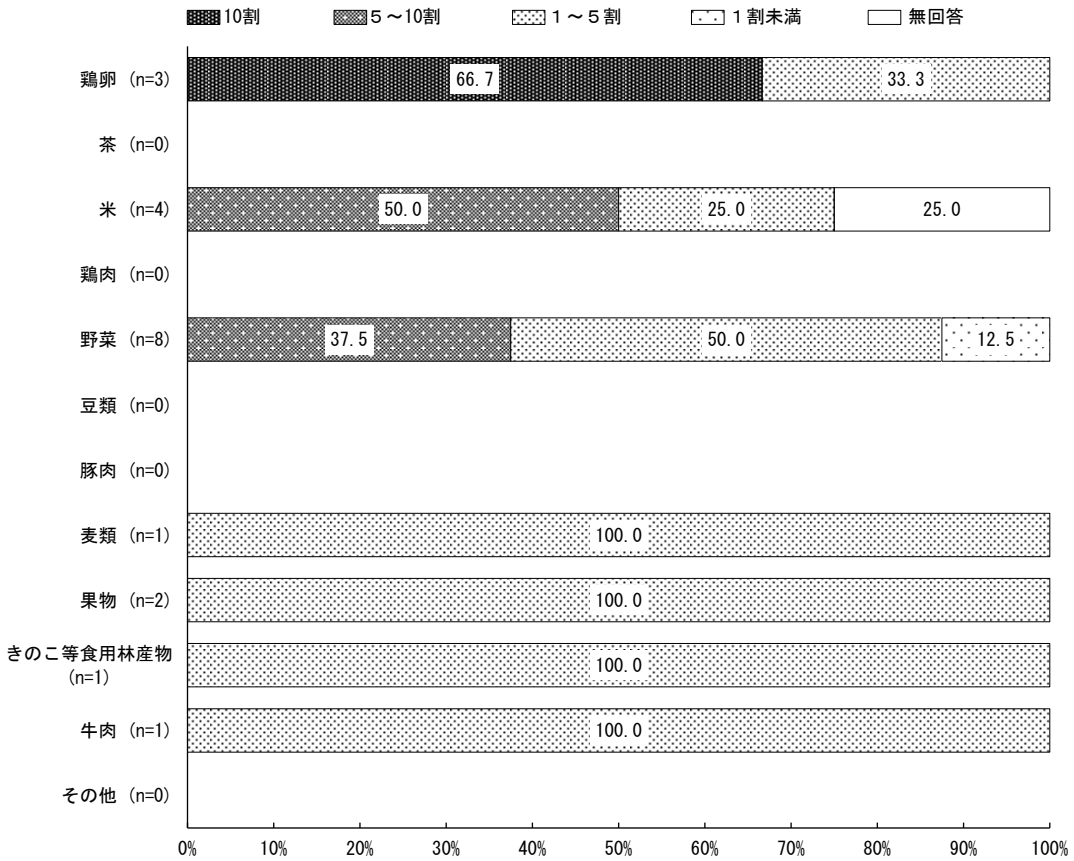
食品卸売業


10割
５～10割
１～５割
１割未満
無回答
鶏卵（n=1）
100.0
茶（n=8）
50.0
12.5
25.0
12.5
米（n=4）
25.0
50.0
25.0
鶏肉（n=2）
100.0
野菜（n=32）
34.4
12.5
31.3
6.3
15.6
豆類（n=2）
50.0
50.0
豚肉（n=1）
100.0
麦類（n=0）
果物（n=13）
15.4
7.7
38.5
7.7
30.8
きのこ等食用林産物（n=2）
50.0
50.0
牛肉（n=0）
その他（n=1）
100.0
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

食品小売業


10割
５～10割
１～５割
１割未満
無回答
鶏卵（n=7）
57.1
14.3
28.6
茶（n=10）
30.0
20.0
20.0
20.0
10.0
米（n=5）
80.0
20.0
鶏肉（n=10）
40.0
20.0
30.0
10.0
野菜（n=33）
30.3
12.1
33.3
6.1
18.2
豆類（n=6）
33.3
50.0
16.7
豚肉（n=9）
22.2
55.6
11.1
11.1
麦類（n=3）
66.7
33.3
果物（n=28）
14.3
14.3
42.9
7.1
21.4
きのこ等食用林産物（n=7）
28.6
28.6
14.3
28.6
牛肉（n=8）
12.5
62.5
25.0
その他（n=3）
33.3
66.7
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

外食業


10割
５～10割
１～５割
１割未満
無回答
鶏卵（n=3）
66.7
33.3
茶（n=0）
米（n=4）
50.0
25.0
25.0
鶏肉（n=0）
野菜（n=8）
37.5
50.0
12.5
豆類（n=0）
豚肉（n=0）
麦類（n=1）
100.0
果物（n=2）
100.0
きのこ等食用林産物（n=1）
100.0
牛肉（n=1）
100.0
その他（n=0）
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

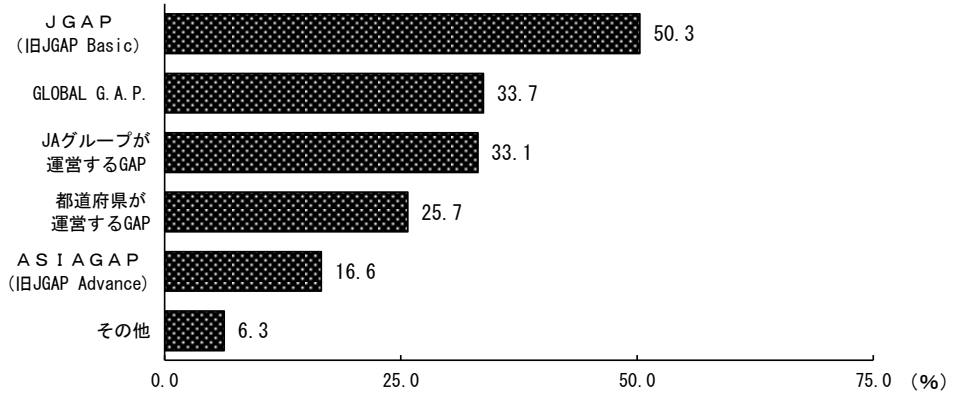
(2) 仕入れている農畜産物のＧＡＰ認証等の種類（複数回答）

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、仕入れている農畜産物のＧＡＰ認証等の種類を聞いたところ、全体では「ＪＧＡＰ（旧ＪＧＡＰ Ｂａｓｉｃ）」と回答した割合が 50.3％と最も高く、次いで「ＧＬＯＢＡＬ Ｇ.Ａ.Ｐ.」(33.7％)、「ＪＡグループが運営するＧＡＰ」（33.1％）、「都道府県が運営するＧＡＰ」（25.7％）であった。

なお、「その他」は「生協ＧＡＰ」、「不明」等である。

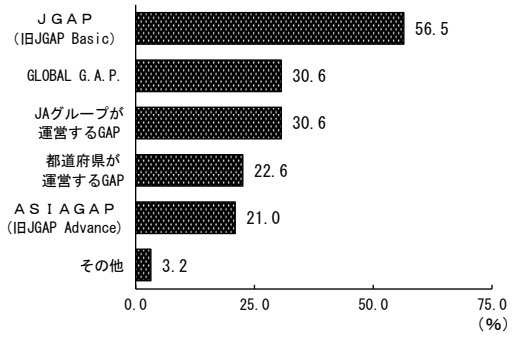
図４－（２） 仕入れている農畜産物のＧＡＰ認証取得等の種類（複数回答）

全体（n=175（100%））

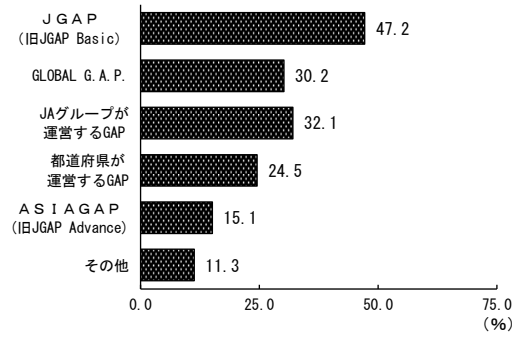


（注）ｎは、３で「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」又は「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(3)から(7)の図において同じ。

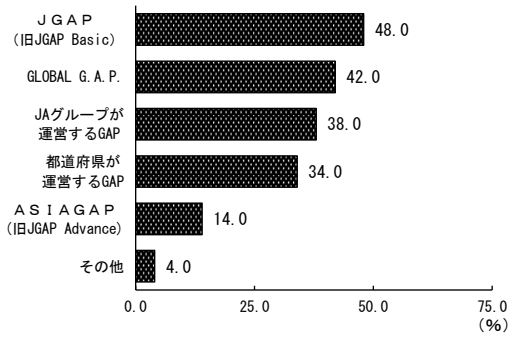
食品製造業（n=62（100%））



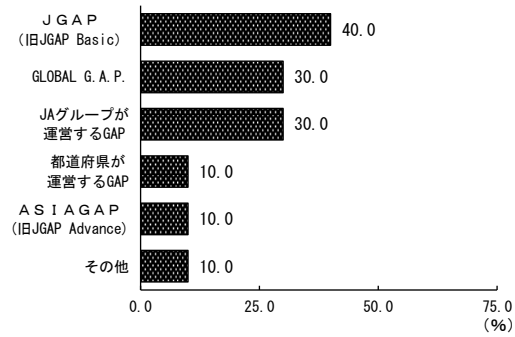
食品卸売業（n=53（100%））



食品小売業（n=50（100%））



外食業（n=10（100%））



(3) ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答）

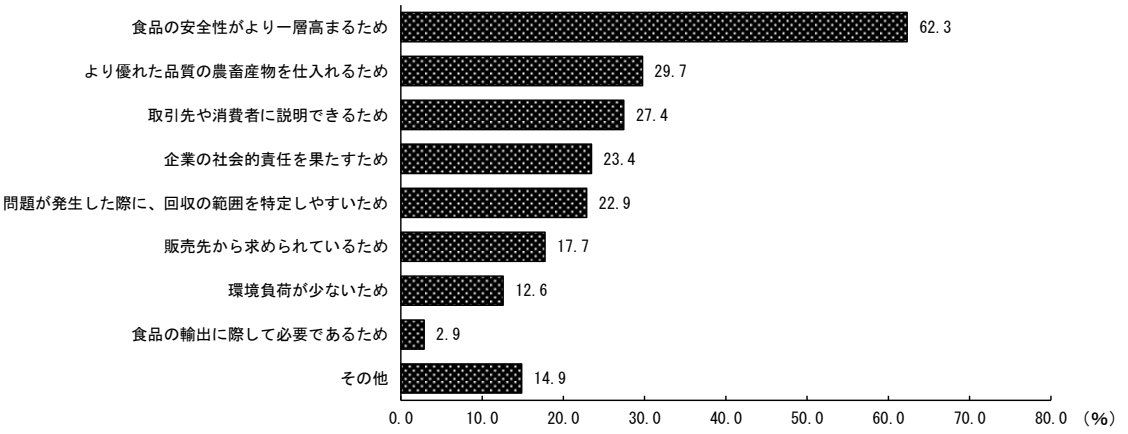
ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、仕入れている目的・理由を聞いたところ、全体では「食品の安全性がより一層高まるため」と回答した割合が62.3%と最も高く、次いで「より優れた品質の農畜産物を仕入れるため」(29.7%)、「取引先や消費者に説明できるため」(27.4%)、「企業の社会的責任を果たすため」(23.4%)、「問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため」(22.9%) の順であった。

なお、業種別では、「食品の安全性がより一層高まるため」に次いで高い選択肢は、食品製造業は「販売先から求められているため」(27.4%)、食品卸売業は「取引先や消費者に説明できるため」(35.8%)、食品小売業は「より優れた品質の農畜産物を仕入れるため」(46.0%)、外食業は「問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため」(50.0%) であった。

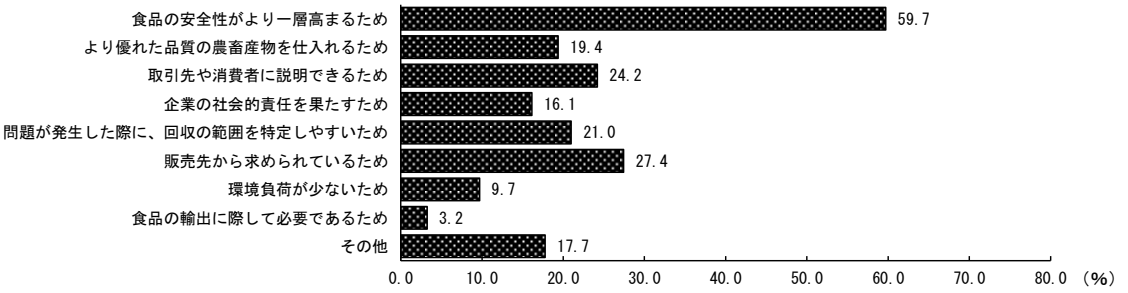
また、「その他」は「生産者が取得」、「結果としてGAP認証品を仕入れている」、「仕入れ先が取得しているため」等である。

図４－（３）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答）

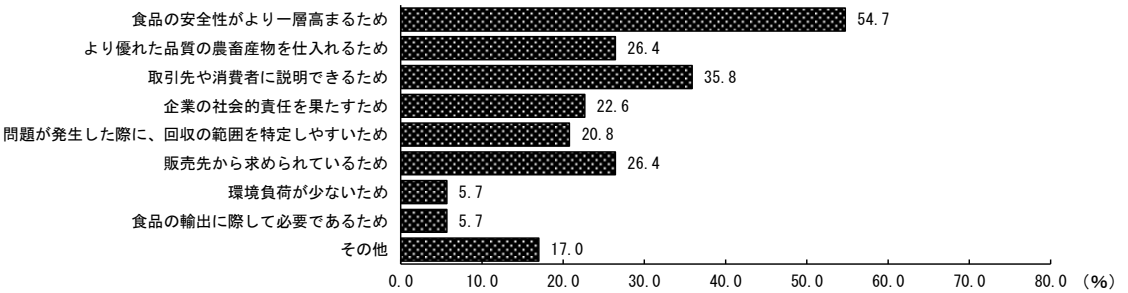
全体（n=175(100%)）



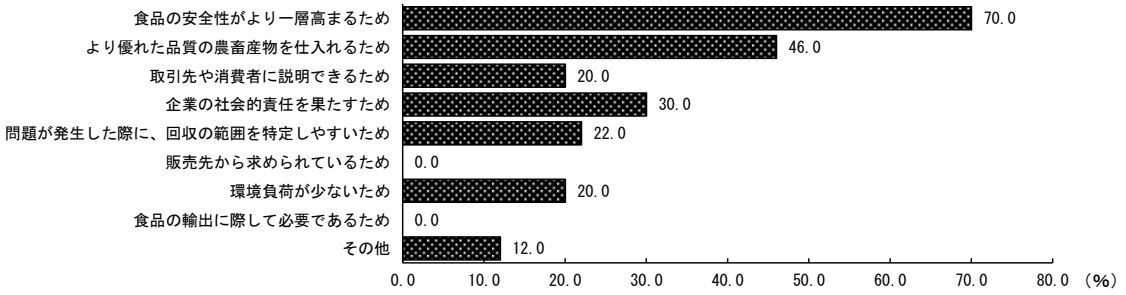
食品製造業（n=62（100%））



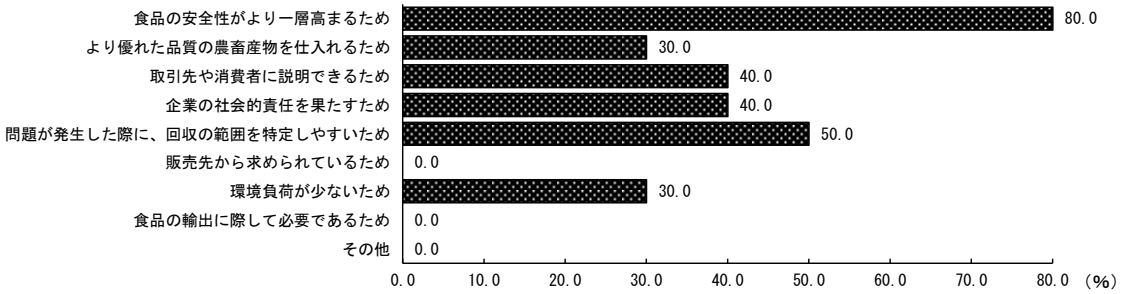
食品卸売業（n=53（100%））



食品小売業（n=50（100%））



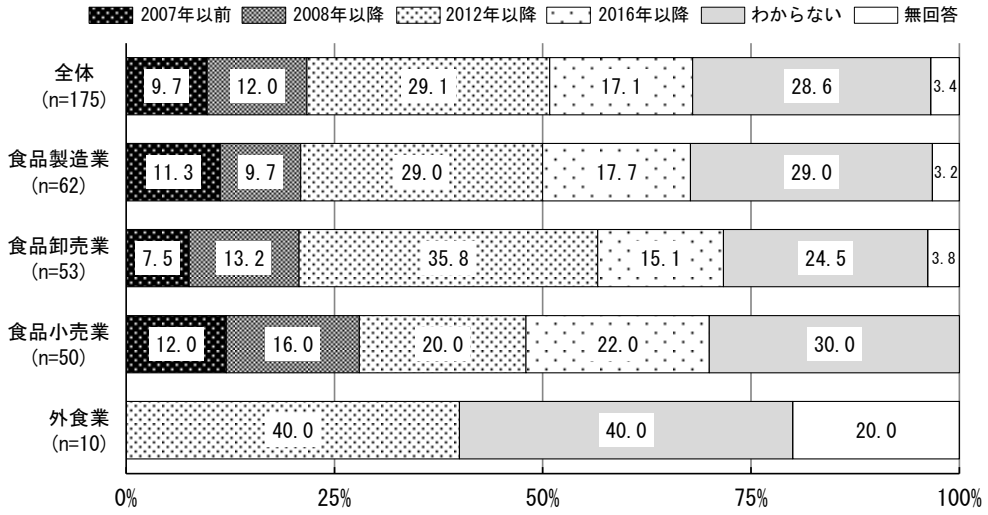
外食業（n=10（100%））



(4) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期を聞いたところ、全体では「2012 年以降」と回答した割合が 29.1％と最も高く、次いで「わからない」(28.6％)、「2016 年以降」(17.1％)、「2008 年以降」(12.0％) の順であった。

図４－（４）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期

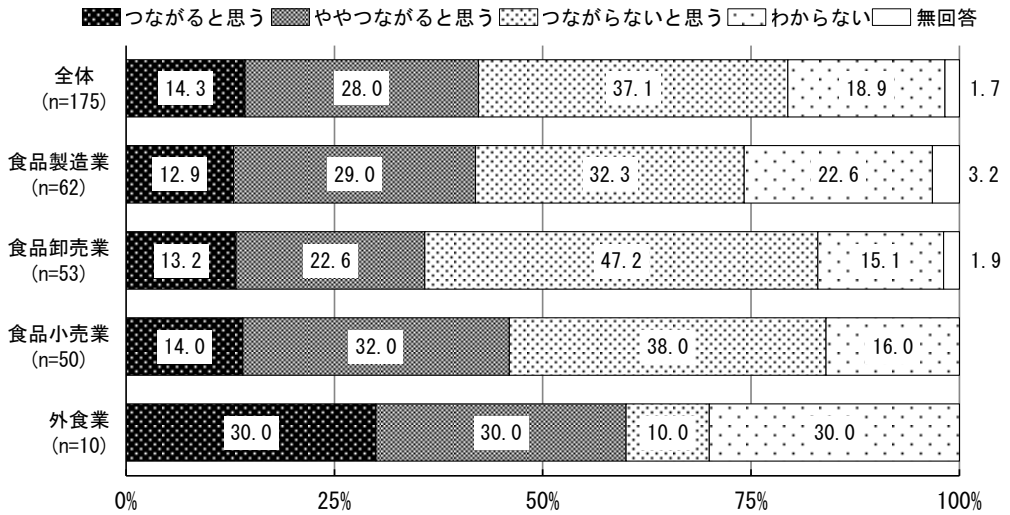


(5) ＧＡＰ認証取得等農畜産物による安全性・品質に関する確認コストの削減効果

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、ＧＡＰ認証取得等農畜産物による安全性及び品質の確認コスト削減効果を聞いたところ、全体では「つながらないと思う」と回答した割合が 37.1％と最も高く、次いで「ややつながると思う」(28.0％)、「わからない」(18.9％)、「つながると思う」(14.3％) であった。

なお、業種別では、外食業において「つながると思う」と回答した割合が他の業種より高かった。

図４－（５）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物による安全性・品質に関する確認コストの削減効果

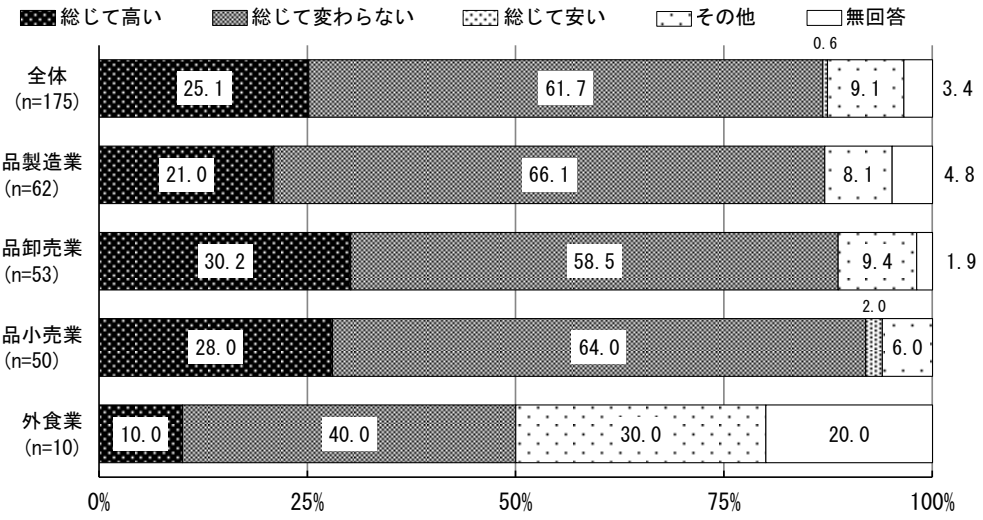


(6) ＧＡＰ認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、ＧＡＰ認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異を聞いたところ、全体では「総じて仕入れ単価は変わらない」と回答した割合が 61.7％と最も高く、次いで「総じて高い」（25.1％）、「その他」（9.1％）であった。

なお、業種別では、外食業において「総じて高い」の割合が低かった。

図４－（６）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異

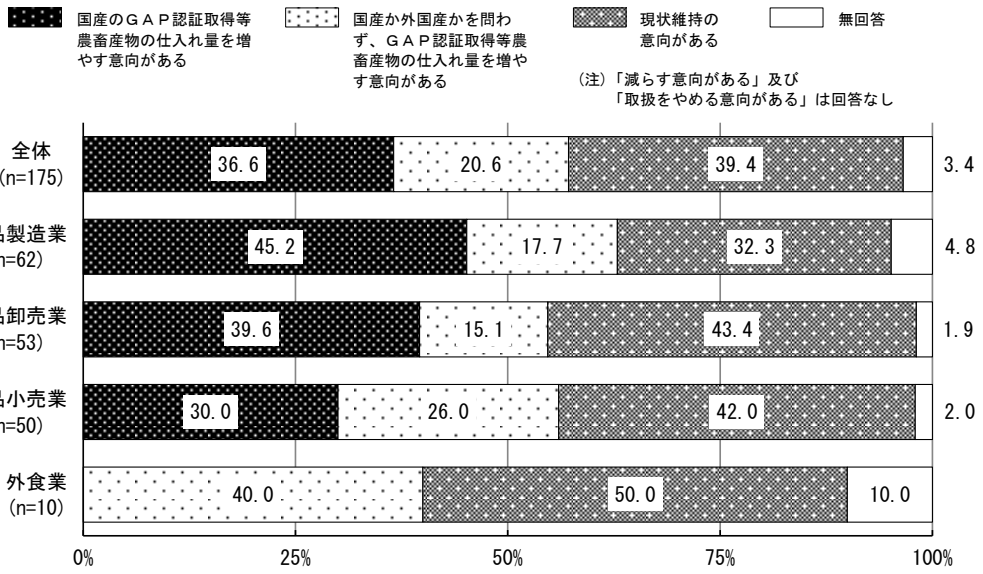


(7) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向を聞いたところ、全体では「現状維持の意向がある」と回答した割合が 39.4％と最も高く、次いで「国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある」（36.6％）、「国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある」（20.6％）であった。

また、「減らす意向がある」及び「取扱いをやめる意向がある」の回答はなかった。

図４－（７）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向



(8) 国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）

（※（７）で「国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者のみ回答。）

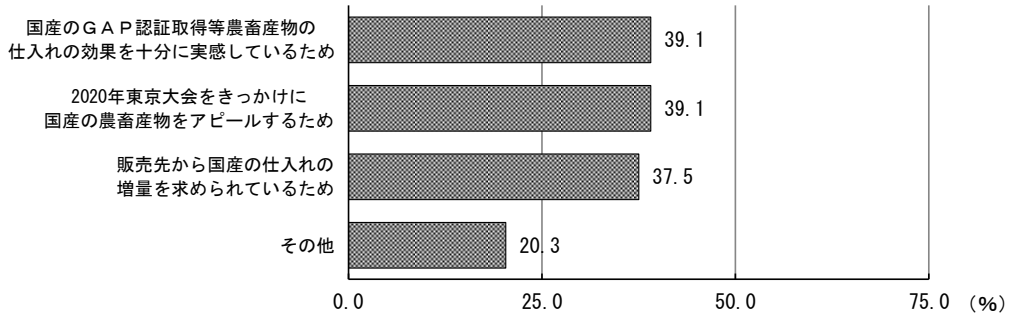
ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答し、かつ、「国産の仕入れ量を増やす意向がある」と回答した事業者について、仕入れ量を増やす理由を聞いたところ、全体では「国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため」と「2020 年東京大会をきっかけに国産の農畜産物をアピールするため」を回答した割合が39.1％と最も高く、次いで「販売先から国産の仕入れの増量を求められているため」(37.5％)であった。

なお、業種別では、食品卸売業が「販売先から国産の仕入れの増量を求められているため」と回答した割合が高くなっている。

また、「その他」は「ＧＡＰ認証取得経営体が増えているため」、「生産者の所取得向上のため」、「輸出要求が高まる可能性があるため」等である。

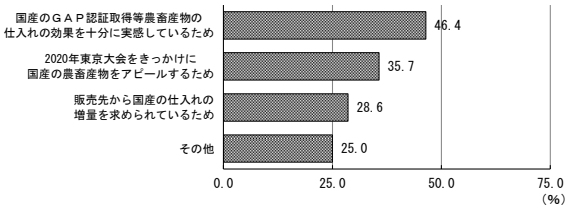
図４－（８）　国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）

全体（n=64(100%)）

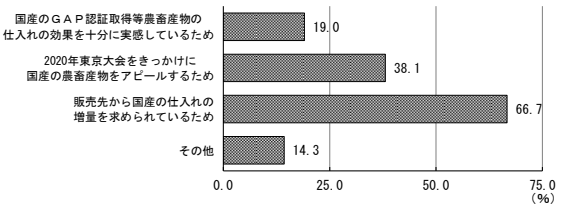


(注) n は、(7)で「国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者の数。各選択肢は n が 100%。以下、(8)の図において同じ。

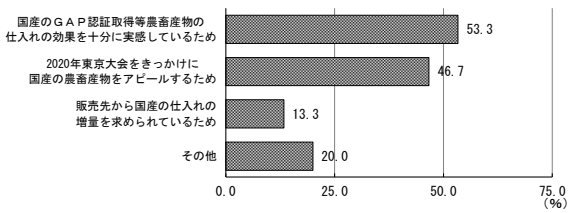
食品製造業（n=28（100%））



食品卸売業（n=21（100%））



食品小売業（n=15（100%））



外食業（回答事業者なし）

(9) 国産・外国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）

（※（７）で「国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者のみ回答。）

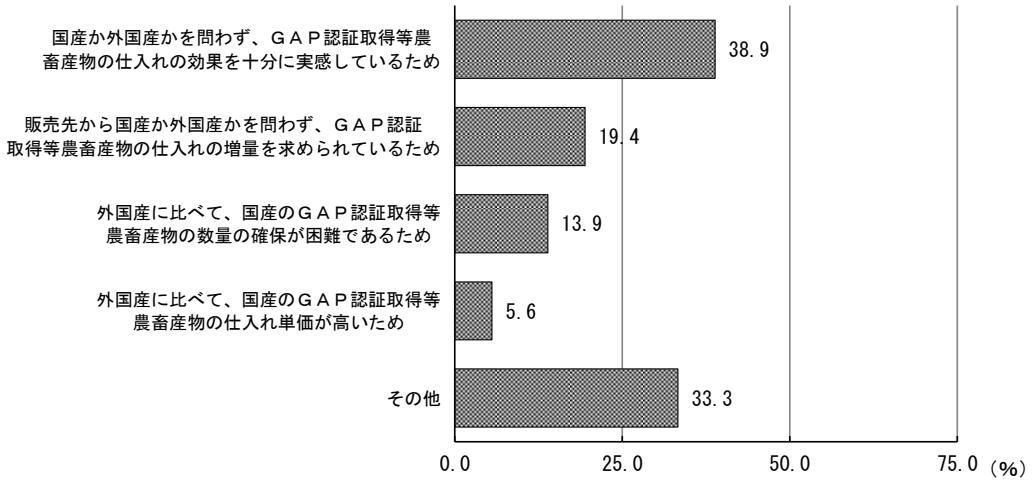
ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答し、かつ、「国産か外国産かを問わず仕入れ量を増やす意向がある」と回答した事業者について、仕入れ量を増やす理由を聞いたところ、全体では「国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため」と回答した割合が 38.9％と最も高く、次いで「販売先から国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの増量を求められているため」(19.4％)、「外国産に比べて、国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の数量の確保が困難であるため」(13.9％）であった。

なお、業種別では、食品製造業及び食品小売業で「国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため」が、食品卸売業で「販売先から国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの増量を求められているため」が、外食業で「外国産に比べて、国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ単価が高いため」が高かった。

また、「その他」は「食の安全、環境保全等の観点から必要と考える」、「販売先や市場ニーズが高まる可能性はあるから」等である。

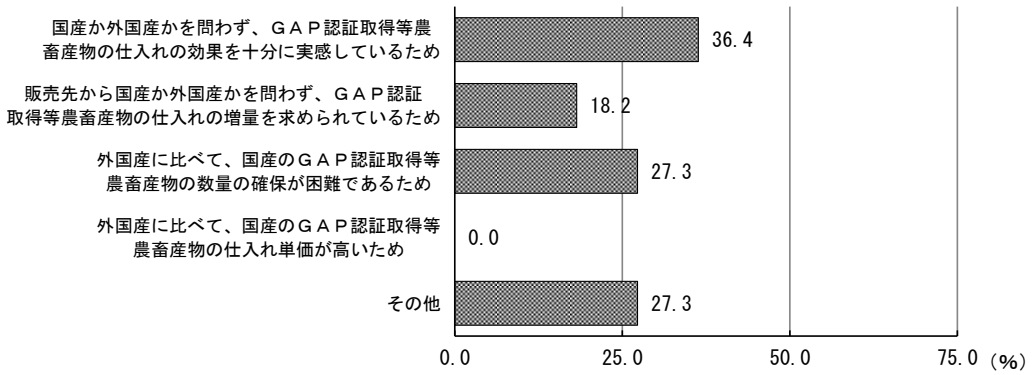
図４－（９）　国産・外国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）

全体（n=36(100%)）

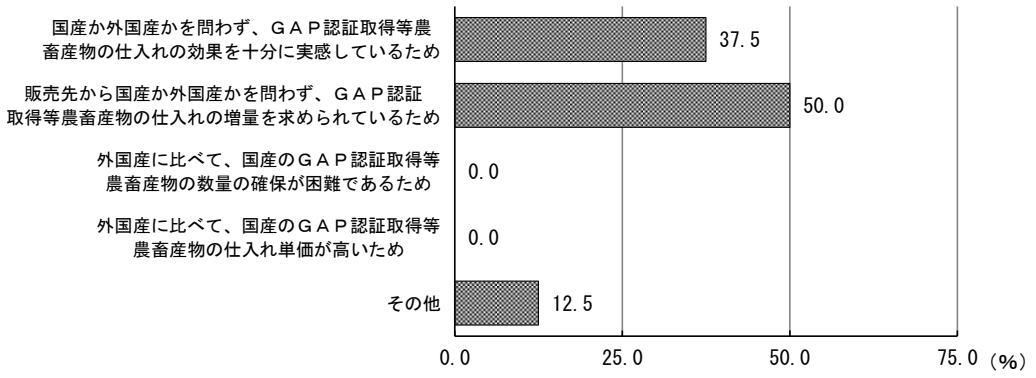


（注）n は、(7)で「国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するにあたっての分母。以下、(9)の図において同じ。

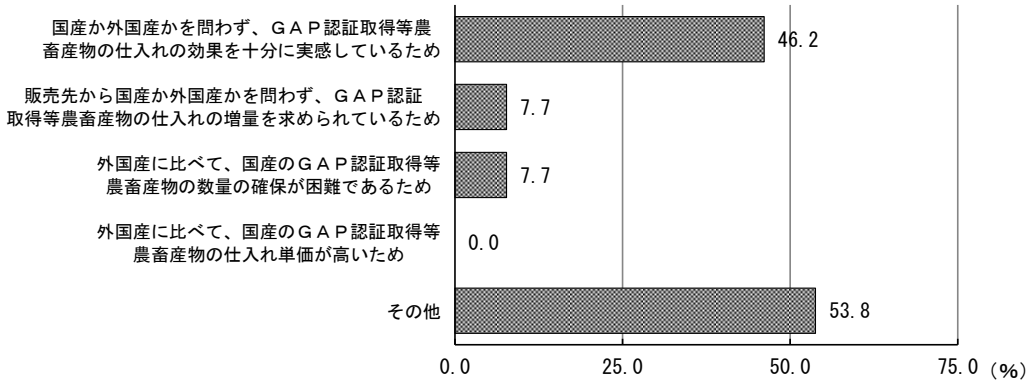
食品製造業（n=11（100%））



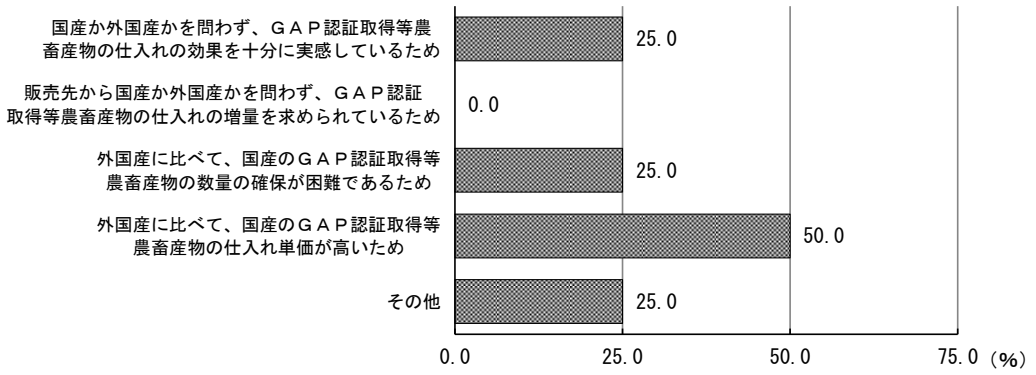
食品卸売業（n=8（100%））



食品小売業（n=13（100%））



外食業（n=4（100%））



(10) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答）

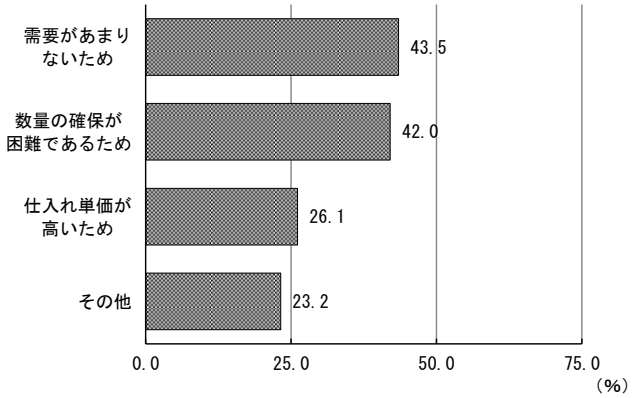
（※（７）で「現状維持の意向がある」と回答した事業者のみ回答。なお、「減らす意向がある」及び「取扱をやめる意向がある」と回答した事業者はいなかった。）

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答し、かつ、「仕入れ量に関して現状維持の意向がある」と回答した事業者について、その理由を聞いたところ、全体では「需要があまりないため」と回答した割合が 43.5%と最も高く、次いで「数量の確保が困難であるため」（42.0%）、「仕入れ単価が高いため」（26.1%）の順であった。

なお、「その他」は「生産者の負担が大きいため」、「国産品に関しては、総じて安全性は確保されているため」、「検討中のため」等である。

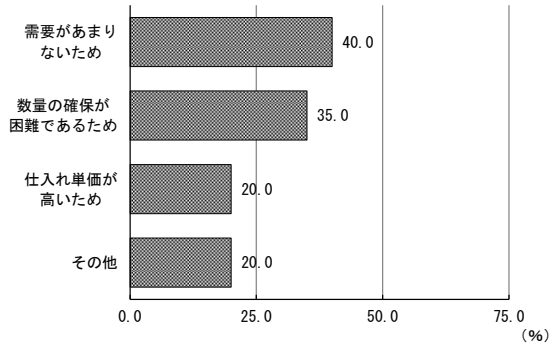
図４－（10）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答）

全体（n=69(100%)）

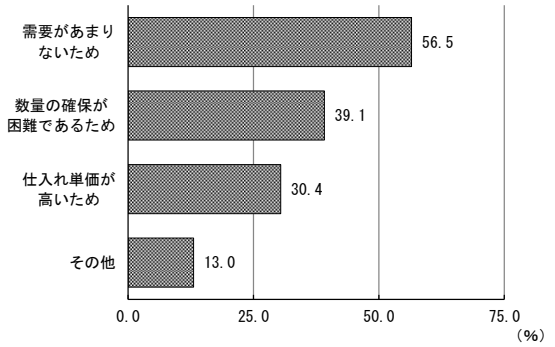


（注）nは、（７）で「現状維持の意向」、「減らす意向」又は「取扱をやめる意向」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(10)の図において同じ。

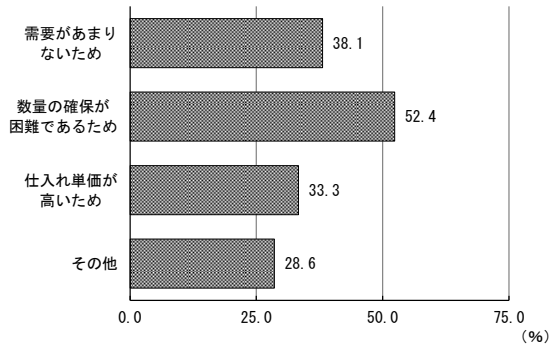
食品製造業者（n=20（100%））



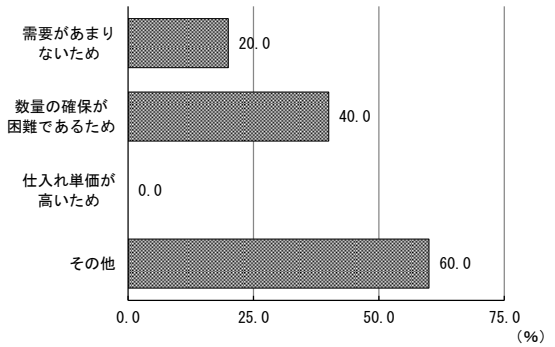
食品卸売業（n=23（100%））



食品小売業（n=21（100%））



外食業（n=5（100%））



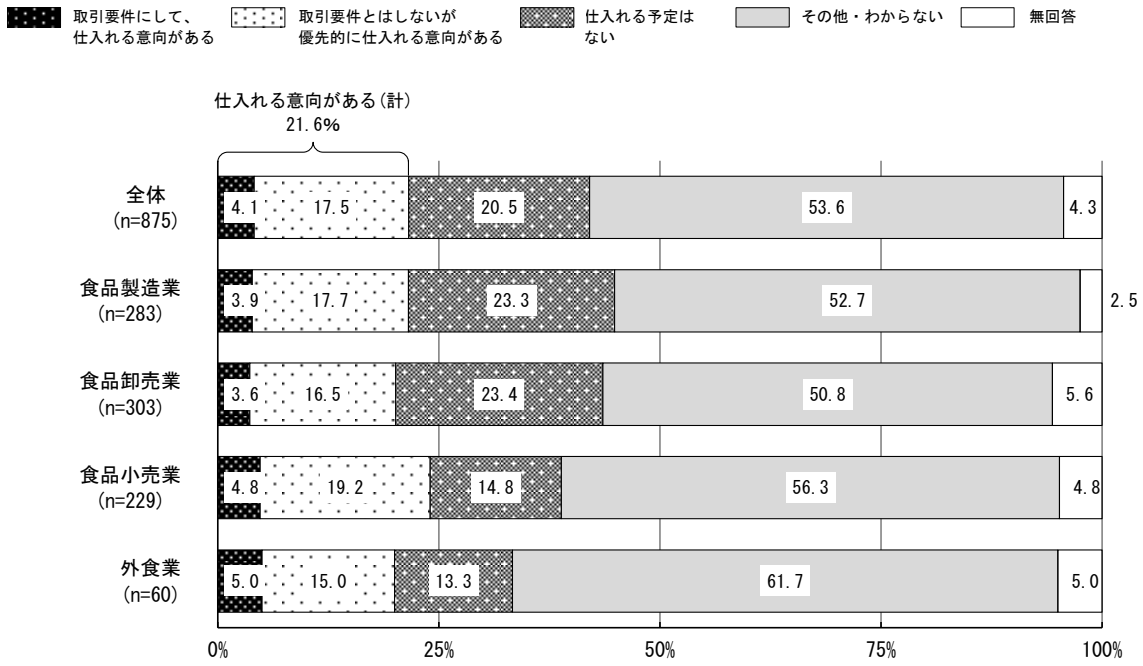
５　ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れていない事業者について

（※３で「仕入れていない」又は「わからない」と回答した事業者のみ回答。）

(1) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答した事業者について、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向を聞いたところ、全体では「取引要件にして、仕入れる意向がある」が 4.1%、「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」が 17.5%、「仕入れる予定はない」が 20.5%、「その他・わからない」が 53.6%であった。

図５－（１）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向



（注）ｎは、３で「仕入れていない」又は「わからない」と回答した事業者の数で、各選択肢の図中の割合を算出するに当たっての分母。

(2) ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答）

（※（１）で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

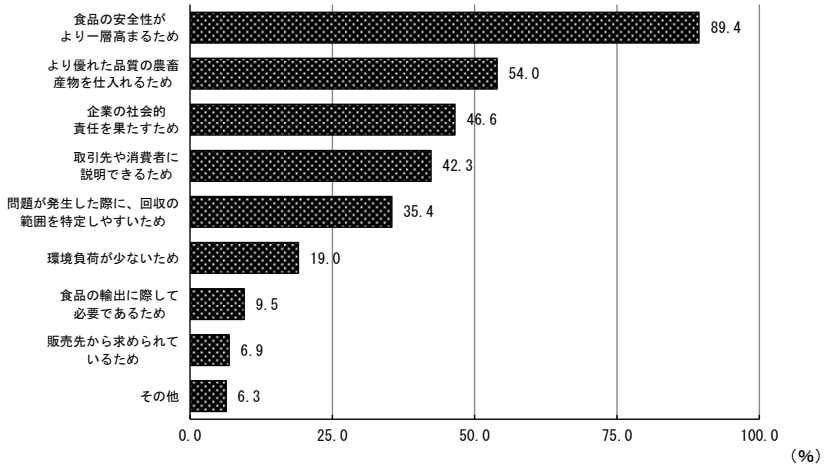
ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、「仕入れる意向がある」と回答した事業者について、その目的・理由を聞いたところ、全体では「食品の安全性がより一層高まるため」と回答した割合が 89.4%と最も高く、次いで「より優れた品質の農畜産物を仕入れるため」(54.0%)、「企業の社会的責任を果たすため」(46.6%)、「取引先や消費者に説明できるため」(42.3%)、「問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため」(35.4%) の順であった。

なお、業種別では、外食業で「取引先や消費者に説明できるため」の割合が多かった。

また、「その他」は「取引先からの要望があれば」、「トレース可能であるため」、「販売先が今後求める可能性がある」等である。

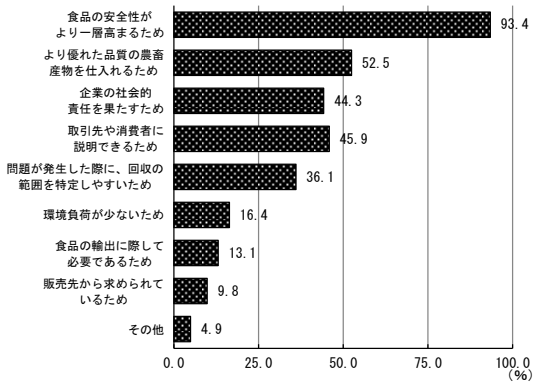
図５－（２）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答）

全体（n=189(100%)）

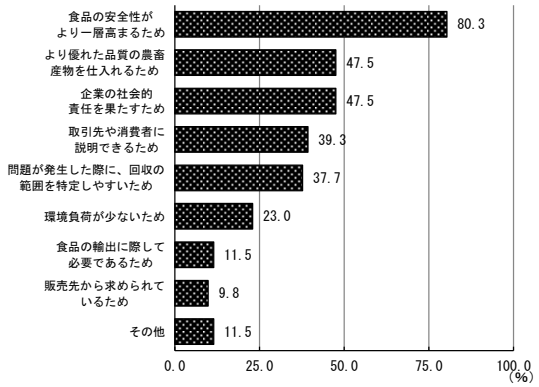


（注）n は、(1)で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(2)から(4)の図において同じ。

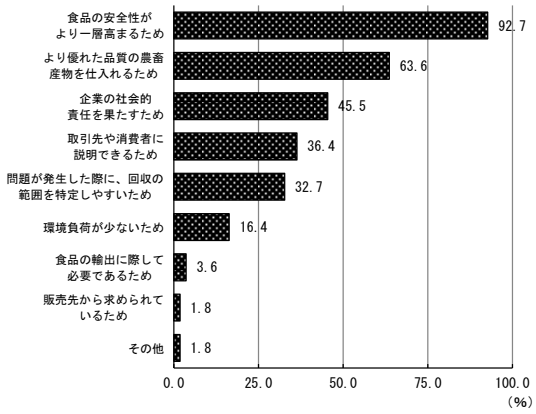
食品製造業（n=61（100%））



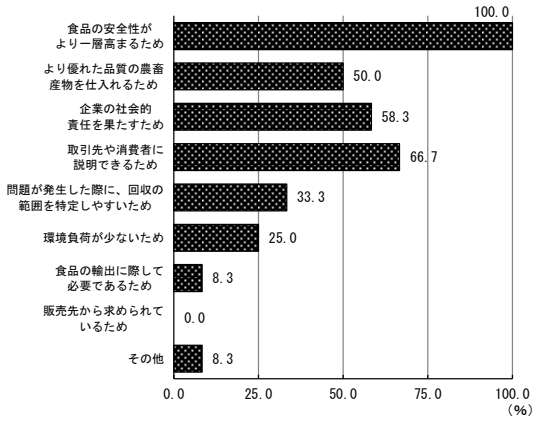
食品卸売業（n=61（100%））



食品小売業（n=55（100%））



外食業（n=12（100%））



(3) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期

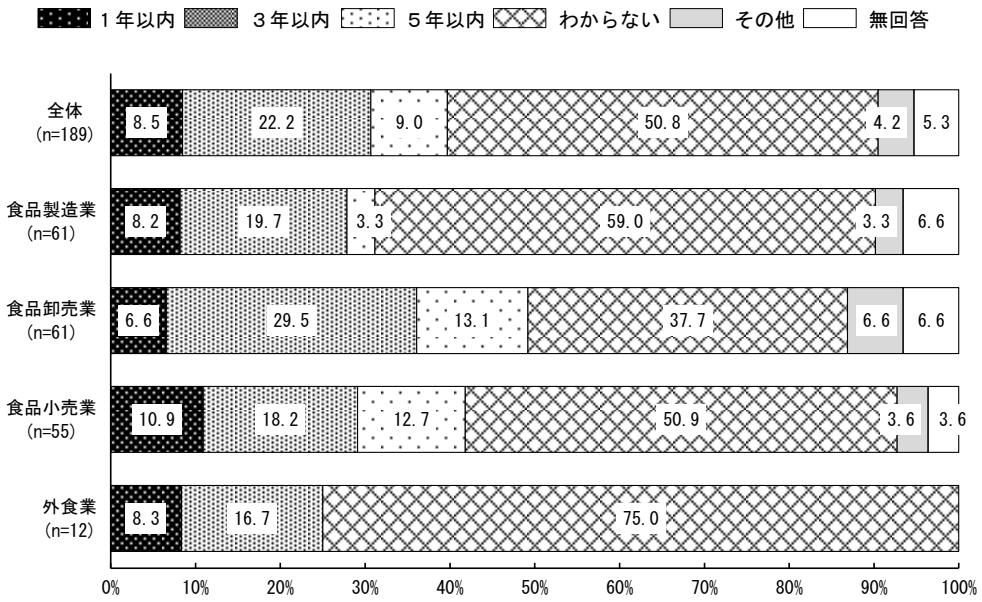
（※(1)で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、「仕入れる意向がある」と回答した事業者について、その仕入れ開始時期を聞いたところ、全体では「わからない」と回答した割合が 50.8%と最も高く、次いで「３年以内」(22.2%)、「５年以内」(9.0%)、「１年以内」(8.5%) の順であった。

なお、業種別では、「１年以内」、「３年以内」又は「５年以内」と回答した割合は、食品卸売業が最も高く、次いで食品小売業、食品製造業、外食業の順であった

また、「その他」は「諸情報を集め、内部検討後」、「取引先の意向」、「特に決めていない」等である。

図５－（３）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期



(4) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点（複数回答）

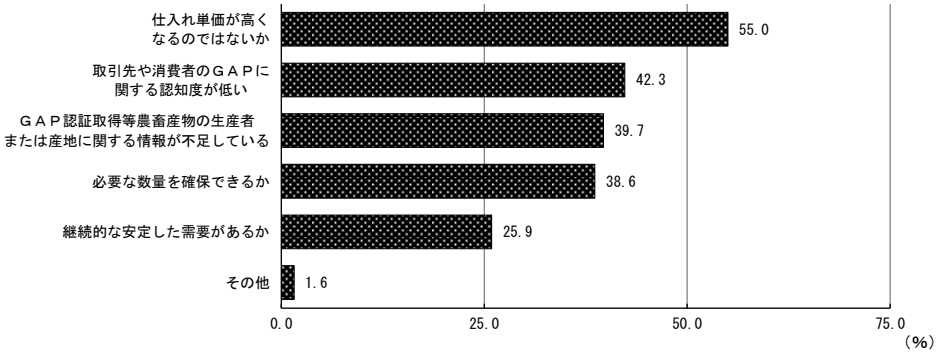
（※(1)で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、「仕入れる意向がある」と回答した事業者について、その仕入れの準備・検討段階における問題点を聞いたところ、全体では「仕入れ単価が高くなるのではないか」と回答した割合が 55.0％と最も高く、次いで「取引先や消費者のＧＡＰに関する認知度が低い」が 42.3％、「ＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足している」(39.7％)、「必要な数量を確保できるか」（38.6％)、「継続的な安定した需要があるか」（25.9％）の順であった。

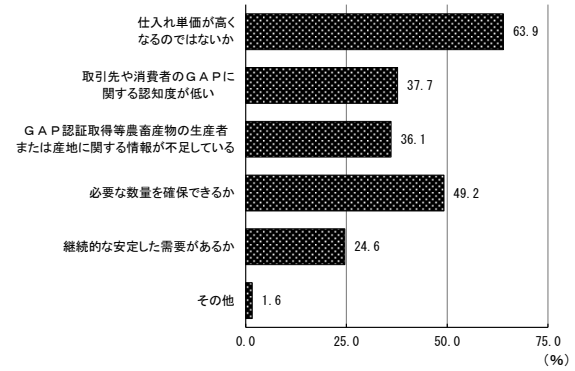
また、「その他」は「ＦＣでの営業のため基本的には独自での仕入れはほとんどない」、「ＧＡＰ取得の農産物が他の同種の野菜より品質、味が優れているかわからない。」等である。

図５－（４）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点（複数回答）

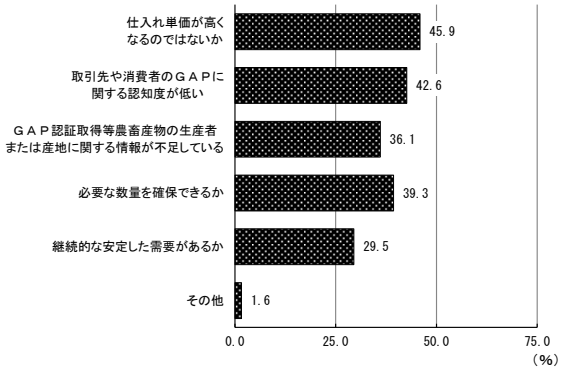
全体（n=189(100%)）



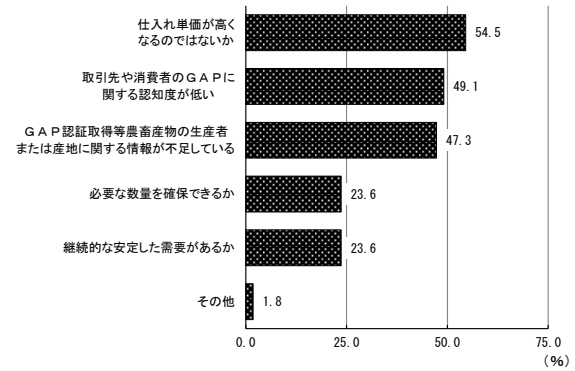
食品製造業（n=61（100%））



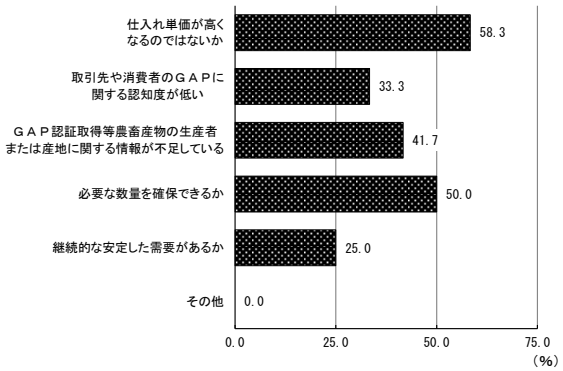
食品卸売業（n=61（100%））



食品小売業（n=55（100%））



外食業（n=12（100%））



(5) ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答）

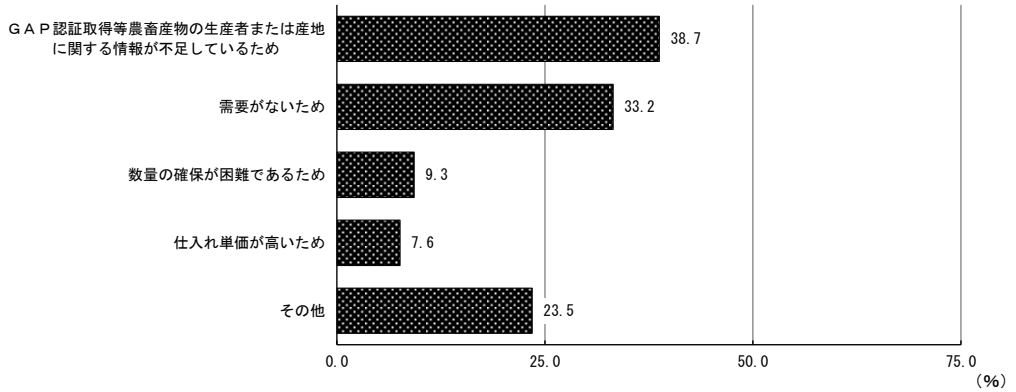
（※（１）で「仕入れる予定はない」又は「その他・わからない」と回答した事業者のみ回答。）

ＧＡＰ認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、今後の意向について「仕入れる予定はない」又は「その他・わからない」と回答した事業者について、その理由を聞いたところ、全体では「ＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足しているため」と回答した割合が 38.7%と最も高く、次いで「需要がないため」(33.2%)、「その他」(23.5%)、「数量の確保が困難であるため」(9.3%)、「仕入れ単価が高いため」（7.6%）の順であった。

なお、「その他」は「現状では問題がないため」、「生産者の負担が大きいため」、「仕入れ先が確定しているため」等である。

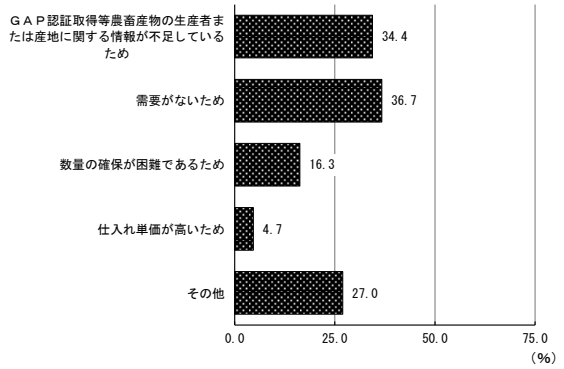
図５－（５）　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答）

全体（n=648(100%)）

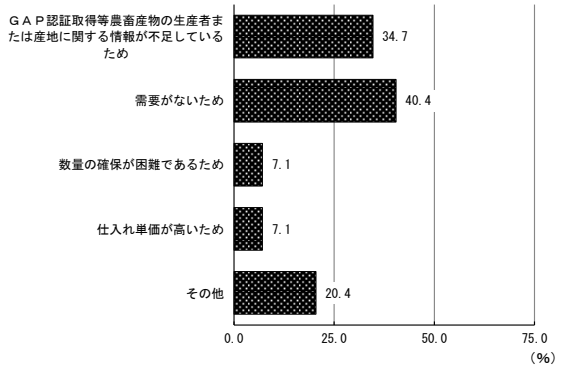


（注）ｎは、（１）で「仕入れる予定はない」又は「その他・わからない」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(5)の図において同じ。

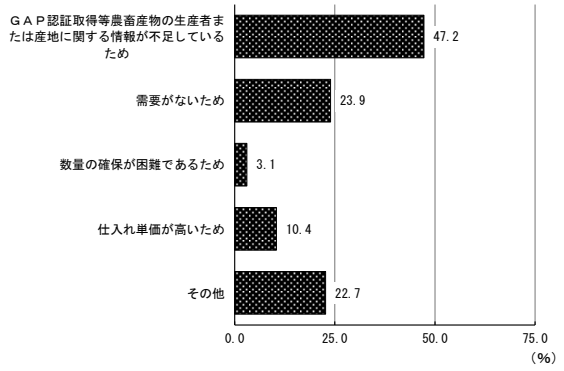
食品製造業（n=215（100%））



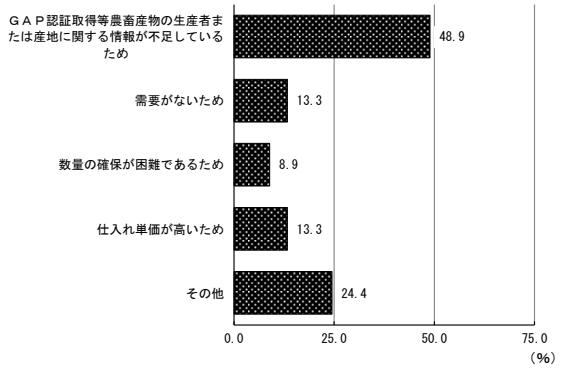
食品卸売業（n=225（100%））



食品小売業（n=163（100%））



外食業（n=45（100%））



Ⅲ．統計表

１．基本情報

（１）アンケート調査票の回収状況

区分	全　体	食品製造業	食品卸売業	食品小売業	外食業
対象事業者数	4,000				
有効回答票の数	1,066	348	363	284	71
有効回答票の回収率（%）	(26.7)				

※　有効回答票は、回収した調査票のうち、問１に回答があり、かつ、問２以降に一つ以上の回答があったもの。
※　回収したアンケート調査票の数は1,124（28.1%）。また、有効回答票以外の無効としたものの数は58（1.5%）。

（２）販売金額規模

区分 / 選択肢	全　体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 １億円未満	27	(2.5)	5	(1.4)	5	(1.4)	12	(4.2)	5	(7.0)
2 １億円以上５億円未満	81	(7.6)	21	(6.0)	23	(6.3)	34	(12.0)	3	(4.2)
3 ５億円以上10億円未満	63	(5.9)	18	(5.2)	18	(5.0)	25	(8.8)	2	(2.8)
4 10億円以上50億円未満	255	(23.9)	92	(26.4)	75	(20.7)	68	(23.9)	20	(28.2)
5 50億円以上100億円未満	228	(21.4)	72	(20.7)	108	(29.8)	32	(11.3)	16	(22.5)
6 100億円以上500億円未満	283	(26.5)	105	(30.2)	99	(27.3)	61	(21.5)	18	(25.4)
7 500億円以上1,000億円未満	54	(5.1)	12	(3.4)	13	(3.6)	27	(9.5)	2	(2.8)
8 1,000億円以上	73	(6.8)	22	(6.3)	22	(6.1)	24	(8.5)	5	(7.0)
- 無回答	2	(0.2)	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.4)	0	(0.0)

（３）従業員数規模

区分 / 選択肢	全　体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 50人未満	303	(28.4)	66	(19.0)	160	(44.1)	71	(25.0)	6	(8.5)
2 50人以上100人未満	193	(18.1)	64	(18.4)	92	(25.3)	31	(10.9)	6	(8.5)
3 100人以上300人未満	249	(23.4)	105	(30.2)	75	(20.7)	54	(19.0)	15	(21.1)
4 300人以上1,000人未満	180	(16.9)	85	(24.4)	25	(6.9)	50	(17.6)	20	(28.2)
5 1,000人以上	138	(12.9)	27	(7.8)	10	(2.8)	77	(27.1)	24	(33.8)
- 無回答	3	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.4)	0	(0.0)

（4） 農畜産物の品目別仕入れ状況

ア 農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数

区分 / 選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 野菜	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	544	(51.0)	105	(30.2)	166	(45.7)	207	(72.9)	66	(93.0)
2. 仕入れ無し	254	(23.8)	107	(30.7)	106	(29.2)	40	(14.1)	1	(1.4)
（無回答）	268	(25.1)	136	(39.1)	91	(25.1)	37	(13.0)	4	(5.6)
2 果物	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	457	(42.9)	66	(19.0)	144	(39.7)	198	(69.7)	49	(69.0)
2. 仕入れ無し	304	(28.5)	129	(37.1)	116	(32.0)	46	(16.2)	13	(18.3)
（無回答）	305	(28.6)	153	(44.0)	103	(28.4)	40	(14.1)	9	(12.7)
3 米	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	467	(43.8)	102	(29.3)	110	(30.3)	194	(68.3)	61	(85.9)
2. 仕入れ無し	285	(26.7)	114	(32.8)	126	(34.7)	42	(14.8)	3	(4.2)
（無回答）	314	(29.5)	132	(37.9)	127	(35.0)	48	(16.9)	7	(9.9)
4 麦類	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	293	(27.5)	85	(24.4)	54	(14.9)	125	(44.0)	29	(40.8)
2. 仕入れ無し	379	(35.6)	117	(33.6)	152	(41.9)	84	(29.6)	26	(36.6)
（無回答）	394	(37.0)	146	(42.0)	157	(43.3)	75	(26.4)	16	(22.5)
5 豆類	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	328	(30.8)	76	(21.8)	74	(20.4)	146	(51.4)	32	(45.1)
2. 仕入れ無し	342	(32.1)	119	(34.2)	133	(36.6)	67	(23.6)	23	(32.4)
（無回答）	396	(37.1)	153	(44.0)	156	(43.0)	71	(25.0)	16	(22.5)
6 茶	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	349	(32.7)	74	(21.3)	62	(17.1)	172	(60.6)	41	(57.7)
2. 仕入れ無し	342	(32.1)	133	(38.2)	143	(39.4)	50	(17.6)	16	(22.5)
（無回答）	375	(35.2)	141	(40.5)	158	(43.5)	62	(21.8)	14	(19.7)
7 きのこ等食用林産物	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	312	(29.3)	43	(12.4)	71	(19.6)	154	(54.2)	44	(62.0)
2. 仕入れ無し	347	(32.6)	135	(38.8)	140	(38.6)	60	(21.1)	12	(16.9)
（無回答）	407	(38.2)	170	(48.9)	152	(41.9)	70	(24.6)	15	(21.1)
8 牛肉	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	355	(33.3)	54	(15.5)	75	(20.7)	167	(58.8)	59	(83.1)
2. 仕入れ無し	340	(31.9)	130	(37.4)	139	(38.3)	65	(22.9)	6	(8.5)
（無回答）	371	(34.8)	164	(47.1)	149	(41.0)	52	(18.3)	6	(8.5)
9 豚肉	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	367	(34.4)	63	(18.1)	76	(20.9)	169	(59.5)	59	(83.1)
2. 仕入れ無し	331	(31.1)	124	(35.6)	137	(37.7)	64	(22.5)	6	(8.5)
（無回答）	368	(34.5)	161	(46.3)	150	(41.3)	51	(18.0)	6	(8.5)
10 鶏肉	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	359	(33.7)	54	(15.5)	76	(20.9)	168	(59.2)	61	(85.9)
2. 仕入れ無し	339	(31.8)	132	(37.9)	137	(37.7)	66	(23.2)	4	(5.6)
（無回答）	368	(34.5)	162	(46.6)	150	(41.3)	50	(17.6)	6	(8.5)
11 鶏卵	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	358	(33.6)	55	(15.8)	68	(18.7)	172	(60.6)	63	(88.7)
2. 仕入れ無し	328	(30.8)	131	(37.6)	139	(38.3)	56	(19.7)	2	(2.8)
（無回答）	380	(35.6)	162	(46.6)	156	(43.0)	56	(19.7)	6	(8.5)
12 その他	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 仕入れ有り	152	(14.3)	65	(18.7)	43	(11.8)	36	(12.7)	8	(11.3)
2. 仕入れ無し	234	(22.0)	82	(23.6)	102	(28.1)	38	(13.4)	12	(16.9)
（無回答）	680	(63.8)	201	(57.8)	218	(60.1)	210	(73.9)	51	(71.8)

イ 農畜産物の一事業者当たり品目別年間仕入れ額

		全　体	食品製造業	食品卸売業	食品小売業	外食業
1 野菜	仕入れ額の計(百万円) a	1,146,736	110,224	618,452	390,738	27,323
	回答事業者数 b	458	89	136	181	52
	平均仕入れ額(百万円) a/b	2,504	1,238	4,547	2,159	525
2 果物	仕入れ額の計(百万円) a	480,827	42,809	239,538	195,895	2,586
	仕入れ額の回答事業者数 b	384	58	118	172	36
	平均仕入れ額(百万円) a/b	1,252	738	2,030	1,139	72
3 米	仕入れ額の計(百万円) a	366,695	107,750	133,913	106,920	18,111
	仕入れ額の回答事業者数 b	399	92	93	166	48
	平均仕入れ額(百万円) a/b	919	1,171	1,440	644	377
4 麦類	仕入れ額の計(百万円) a	284,563	237,641	41,979	3,757	1,186
	仕入れ額の回答事業者数 b	233	78	44	90	21
	平均仕入れ額(百万円) a/b	1,221	3,047	954	42	56
5 豆類	仕入れ額の計(百万円) a	120,108	72,067	43,643	3,555	844
	仕入れ額の回答事業者数 b	255	64	56	111	24
	平均仕入れ額(百万円) a/b	471	1,126	779	32	35
6 茶	仕入れ額の計(百万円) a	110,043	72,836	14,089	21,801	1,317
	仕入れ額の回答事業者数 b	275	66	45	133	31
	平均仕入れ額(百万円) a/b	400	1,104	313	164	42
7 きのこ等食用林産物	仕入れ額の計(百万円) a	36,558	3,653	7,874	24,510	521
	仕入れ額の回答事業者数 b	221	35	44	110	32
	平均仕入れ額(百万円) a/b	165	104	179	223	16
8 牛肉	仕入れ額の計(百万円) a	703,652	99,771	435,165	131,355	37,362
	仕入れ額の回答事業者数 b	293	46	60	139	48
	平均仕入れ額(百万円) a/b	2,402	2,169	7,253	945	778
9 豚肉	仕入れ額の計(百万円) a	609,083	129,550	314,299	154,624	10,610
	仕入れ額の回答事業者数 b	295	52	60	137	46
	平均仕入れ額(百万円) a/b	2,065	2,491	5,238	1,129	231
10 鶏肉	仕入れ額の計(百万円) a	300,988	59,250	116,466	103,405	21,867
	仕入れ額の回答事業者数 b	293	44	63	139	47
	平均仕入れ額(百万円) a/b	1,027	1,347	1,849	744	465
11 鶏卵	仕入れ額の計(百万円) a	150,856	36,491	43,874	67,145	3,346
	仕入れ額の回答事業者数 b	288	50	49	140	49
	平均仕入れ額(百万円) a/b	524	730	895	480	68
12 その他	仕入れ額の計(百万円) a	559,868	251,386	236,506	40,250	31,726
	仕入れ額の回答事業者数 b	124	56	37	25	6
	平均仕入れ額(百万円) a/b	4,515	4,489	6,392	1,610	5,288

（５）農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合
（※（４）のアで仕入れ「有」と回答した事業者のみ集計。）

区分 / 選択肢	全体		食品製造業		食品卸売業		食品小売業		外食業	
	回答事業者数	仕入れ「有」に占める割合(%)	回答事業者数	仕入れ「有」に占める割合(%)	回答事業者数	仕入れ「有」に占める割合(%)	回答事業者数	仕入れ「有」に占める割合(%)	回答事業者数	仕入れ「有」に占める割合(%)
1 野菜	544	(100.0)	105	(100.0)	166	(100.0)	207	(100.0)	66	(100.0)
1. ７割以上	404	(74.3)	67	(63.8)	110	(66.3)	183	(88.4)	44	(66.7)
2. ５～７割	51	(9.4)	12	(11.4)	13	(7.8)	15	(7.2)	11	(16.7)
3. ３～５割	24	(4.4)	6	(5.7)	7	(4.2)	2	(1.0)	9	(13.6)
4. ３割未満	58	(10.7)	19	(18.1)	32	(19.3)	5	(2.4)	2	(3.0)
- 無回答	7	(1.3)	1	(1.0)	4	(2.4)	2	(1.0)	0	(0.0)
2 果物	457	(100.0)	66	(100.0)	144	(100.0)	198	(100.0)	49	(100.0)
1. ７割以上	229	(50.1)	26	(39.4)	67	(46.5)	117	(59.1)	19	(38.8)
2. ５～７割	93	(20.4)	6	(9.1)	18	(12.5)	60	(30.3)	9	(18.4)
3. ３～５割	46	(10.1)	9	(13.6)	15	(10.4)	13	(6.6)	9	(18.4)
4. ３割未満	82	(17.9)	22	(33.3)	42	(29.2)	6	(3.0)	12	(24.5)
- 無回答	7	(1.5)	3	(4.5)	2	(1.4)	2	(1.0)	0	(0.0)
3 米	467	(100.0)	102	(100.0)	110	(100.0)	194	(100.0)	61	(100.0)
1. ７割以上	430	(92.1)	92	(90.2)	92	(83.6)	187	(96.4)	59	(96.7)
2. ５～７割	3	(0.6)	2	(2.0)	1	(0.9)	0	(0.0)	0	(0.0)
3. ３～５割	6	(1.3)	4	(3.9)	1	(0.9)	1	(0.5)	0	(0.0)
4. ３割未満	23	(4.9)	4	(3.9)	13	(11.8)	4	(2.1)	2	(3.3)
- 無回答	5	(1.1)	0	(0.0)	3	(2.7)	2	(1.0)	0	(0.0)
4 麦類	293	(100.0)	85	(100.0)	54	(100.0)	125	(100.0)	29	(100.0)
1. ７割以上	129	(44.0)	18	(21.2)	18	(33.3)	78	(62.4)	15	(51.7)
2. ５～７割	26	(8.9)	4	(4.7)	3	(5.6)	17	(13.6)	2	(6.9)
3. ３～５割	19	(6.5)	6	(7.1)	5	(9.3)	5	(4.0)	3	(10.3)
4. ３割未満	107	(36.5)	53	(62.4)	25	(46.3)	20	(16.0)	9	(31.0)
- 無回答	12	(4.1)	4	(4.7)	3	(5.6)	5	(4.0)	0	(0.0)
5 豆類	328	(100.0)	76	(100.0)	74	(100.0)	146	(100.0)	32	(100.0)
1. ７割以上	175	(53.4)	24	(31.6)	33	(44.6)	106	(72.6)	12	(37.5)
2. ５～７割	43	(13.1)	5	(6.6)	7	(9.5)	24	(16.4)	7	(21.9)
3. ３～５割	21	(6.4)	10	(13.2)	5	(6.8)	2	(1.4)	4	(12.5)
4. ３割未満	73	(22.3)	36	(47.4)	25	(33.8)	5	(3.4)	7	(21.9)
- 無回答	16	(4.9)	1	(1.3)	4	(5.4)	9	(6.2)	2	(6.3)
6 茶	349	(100.0)	74	(100.0)	62	(100.0)	172	(100.0)	41	(100.0)
1. ７割以上	283	(81.1)	63	(85.1)	45	(72.6)	144	(83.7)	31	(75.6)
2. ５～７割	18	(5.2)	3	(4.1)	1	(1.6)	9	(5.2)	5	(12.2)
3. ３～５割	9	(2.6)	3	(4.1)	2	(3.2)	2	(1.2)	2	(4.9)
4. ３割未満	27	(7.7)	5	(6.8)	11	(17.7)	8	(4.7)	3	(7.3)
- 無回答	12	(3.4)	0	(0.0)	3	(4.8)	9	(5.2)	0	(0.0)
7 きのこ等食用林産物	312	(100.0)	43	(100.0)	71	(100.0)	154	(100.0)	44	(100.0)
1. ７割以上	231	(74.0)	19	(44.2)	48	(67.6)	136	(88.3)	28	(63.6)
2. ５～７割	18	(5.8)	2	(4.7)	2	(2.8)	8	(5.2)	6	(13.6)
3. ３～５割	6	(1.9)	0	(0.0)	2	(2.8)	0	(0.0)	4	(9.1)
4. ３割未満	45	(14.4)	21	(48.8)	15	(21.1)	5	(3.2)	4	(9.1)
- 無回答	12	(3.8)	1	(2.3)	4	(5.6)	5	(3.2)	2	(4.5)
8 牛肉	355	(100.0)	54	(100.0)	75	(100.0)	167	(100.0)	59	(100.0)
1. ７割以上	124	(34.9)	17	(31.5)	20	(26.7)	76	(45.5)	11	(18.6)
2. ５～７割	73	(20.6)	3	(5.6)	10	(13.3)	58	(34.7)	2	(3.4)
3. ３～５割	42	(11.8)	5	(9.3)	8	(10.7)	18	(10.8)	11	(18.6)
4. ３割未満	109	(30.7)	29	(53.7)	33	(44.0)	12	(7.2)	35	(59.3)
- 無回答	7	(2.0)	0	(0.0)	4	(5.3)	3	(1.8)	0	(0.0)
9 豚肉	367	(100.0)	63	(100.0)	76	(100.0)	169	(100.0)	59	(100.0)
1. ７割以上	157	(42.8)	24	(38.1)	19	(25.0)	102	(60.4)	12	(20.3)
2. ５～７割	71	(19.3)	7	(11.1)	10	(13.2)	47	(27.8)	7	(11.9)
3. ３～５割	29	(7.9)	5	(7.9)	8	(10.5)	12	(7.1)	4	(6.8)
4. ３割未満	104	(28.3)	26	(41.3)	38	(50.0)	4	(2.4)	36	(61.0)
- 無回答	6	(1.6)	1	(1.6)	1	(1.3)	4	(2.4)	0	(0.0)
10 鶏肉	359	(100.0)	54	(100.0)	76	(100.0)	168	(100.0)	61	(100.0)
1. ７割以上	195	(54.3)	23	(42.6)	16	(21.1)	136	(81.0)	20	(32.8)
2. ５～７割	39	(10.9)	5	(9.3)	7	(9.2)	21	(12.5)	6	(9.8)
3. ３～５割	24	(6.7)	6	(11.1)	7	(9.2)	3	(1.8)	8	(13.1)
4. ３割未満	93	(25.9)	18	(33.3)	43	(56.6)	5	(3.0)	27	(44.3)
- 無回答	8	(2.2)	2	(3.7)	3	(3.9)	3	(1.8)	0	(0.0)
11 鶏卵	358	(100.0)	55	(100.0)	68	(100.0)	172	(100.0)	63	(100.0)
1. ７割以上	327	(91.3)	49	(89.1)	56	(82.4)	164	(95.3)	58	(92.1)
2. ５～７割	7	(2.0)	1	(1.8)	2	(2.9)	2	(1.2)	2	(3.2)
3. ３～５割	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4. ３割未満	15	(4.2)	3	(5.5)	7	(10.3)	2	(1.2)	3	(4.8)
- 無回答	9	(2.5)	2	(3.6)	3	(4.4)	4	(2.3)	0	(0.0)
12 その他	152	(100.0)	65	(100.0)	43	(100.0)	36	(100.0)	8	(100.0)
1. ７割以上	62	(40.8)	24	(36.9)	22	(51.2)	15	(41.7)	1	(12.5)
2. ５～７割	11	(7.2)	4	(6.2)	2	(4.7)	3	(8.3)	2	(25.0)
3. ３～５割	5	(3.3)	1	(1.5)	3	(7.0)	0	(0.0)	1	(12.5)
4. ３割未満	58	(38.2)	33	(50.8)	13	(30.2)	10	(27.8)	2	(25.0)
- 無回答	16	(10.5)	3	(4.6)	3	(7.0)	8	(22.2)	2	(25.0)

（６）農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向

区分 / 選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業 (対象事業者数: 348) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業 (対象事業者数: 363) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業 (対象事業者数: 284) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	外食業 (対象事業者数: 71) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 野菜	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	235	(22.0)	40	(11.5)	66	(18.2)	97	(34.2)	32	(45.1)
2. 現状のままでよい	362	(34.0)	78	(22.4)	124	(34.2)	123	(43.3)	37	(52.1)
3. 外国産の割合を増やしたい	10	(0.9)	4	(1.1)	4	(1.1)	1	(0.4)	1	(1.4)
- 無回答	459	(43.1)	226	(64.9)	169	(46.6)	63	(22.2)	1	(1.4)
2 果物	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	184	(17.3)	22	(6.3)	55	(15.2)	85	(29.9)	22	(31.0)
2. 現状のままでよい	326	(30.6)	59	(17.0)	109	(30.0)	122	(43.0)	36	(50.7)
3. 外国産の割合を増やしたい	19	(1.8)	3	(0.9)	10	(2.8)	6	(2.1)	0	(0.0)
- 無回答	537	(50.4)	264	(75.9)	189	(52.1)	71	(25.0)	13	(18.3)
3 米	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	146	(13.7)	34	(9.8)	26	(7.2)	70	(24.6)	16	(22.5)
2. 現状のままでよい	381	(35.7)	91	(26.1)	107	(29.5)	136	(47.9)	47	(66.2)
3. 外国産の割合を増やしたい	9	(0.8)	1	(0.3)	4	(1.1)	1	(0.4)	3	(4.2)
- 無回答	530	(49.7)	222	(63.8)	226	(62.3)	77	(27.1)	5	(7.0)
4 麦類	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	130	(12.2)	34	(9.8)	20	(5.5)	63	(22.2)	13	(18.3)
2. 現状のままでよい	266	(25.0)	66	(19.0)	74	(20.4)	100	(35.2)	26	(36.6)
3. 外国産の割合を増やしたい	3	(0.3)	2	(0.6)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)
- 無回答	667	(62.6)	246	(70.7)	268	(73.8)	121	(42.6)	32	(45.1)
5 豆類	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	135	(12.7)	27	(7.8)	29	(8.0)	67	(23.6)	12	(16.9)
2. 現状のままでよい	284	(26.6)	70	(20.1)	81	(22.3)	105	(37.0)	28	(39.4)
3. 外国産の割合を増やしたい	3	(0.3)	2	(0.6)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)
- 無回答	644	(60.4)	249	(71.6)	252	(69.4)	112	(39.4)	31	(43.7)
6 茶	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	119	(11.2)	26	(7.5)	23	(6.3)	59	(20.8)	11	(15.5)
2. 現状のままでよい	316	(29.6)	69	(19.8)	74	(20.4)	133	(46.8)	40	(56.3)
3. 外国産の割合を増やしたい	6	(0.6)	2	(0.6)	2	(0.6)	2	(0.7)	0	(0.0)
- 無回答	625	(58.6)	251	(72.1)	264	(72.7)	90	(31.7)	20	(28.2)
7 きのこ等食用林産物	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	133	(12.5)	20	(5.7)	31	(8.5)	67	(23.6)	15	(21.1)
2. 現状のままでよい	275	(25.8)	47	(13.5)	77	(21.2)	112	(39.4)	39	(54.9)
3. 外国産の割合を増やしたい	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.8)	0	(0.0)	0	(0.0)
- 無回答	655	(61.4)	281	(80.7)	252	(69.4)	105	(37.0)	17	(23.9)
8 牛肉	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	126	(11.8)	19	(5.5)	32	(8.8)	58	(20.4)	17	(23.9)
2. 現状のままでよい	299	(28.0)	58	(16.7)	74	(20.4)	122	(43.0)	45	(63.4)
3. 外国産の割合を増やしたい	19	(1.8)	1	(0.3)	6	(1.7)	10	(3.5)	2	(2.8)
- 無回答	622	(58.3)	270	(77.6)	251	(69.1)	94	(33.1)	7	(9.9)
9 豚肉	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	137	(12.9)	23	(6.6)	36	(9.9)	57	(20.1)	21	(29.6)
2. 現状のままでよい	301	(28.2)	60	(17.2)	73	(20.1)	127	(44.7)	41	(57.7)
3. 外国産の割合を増やしたい	19	(1.8)	1	(0.3)	7	(1.9)	9	(3.2)	2	(2.8)
- 無回答	609	(57.1)	264	(75.9)	247	(68.0)	91	(32.0)	7	(9.9)
10 鶏肉	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	130	(12.2)	19	(5.5)	31	(8.5)	60	(21.1)	20	(28.2)
2. 現状のままでよい	310	(29.1)	59	(17.0)	76	(20.9)	131	(46.1)	44	(62.0)
3. 外国産の割合を増やしたい	14	(1.3)	1	(0.3)	6	(1.7)	4	(1.4)	3	(4.2)
- 無回答	612	(57.4)	269	(77.3)	250	(68.9)	89	(31.3)	4	(5.6)
11 鶏卵	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	109	(10.2)	16	(4.6)	21	(5.8)	55	(19.4)	17	(23.9)
2. 現状のままでよい	345	(32.4)	64	(18.4)	91	(25.1)	140	(49.3)	50	(70.4)
3. 外国産の割合を増やしたい	3	(0.3)	1	(0.3)	2	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)
- 無回答	609	(57.1)	267	(76.7)	249	(68.6)	89	(31.3)	4	(5.6)
12 その他	1,066	(100.0)	348	(100.0)	363	(100.0)	284	(100.0)	71	(100.0)
1. 国産の割合を増やしたい	45	(4.2)	23	(6.6)	5	(1.4)	15	(5.3)	2	(2.8)
2. 現状のままでよい	144	(13.5)	55	(15.8)	51	(14.0)	27	(9.5)	11	(15.5)
3. 外国産の割合を増やしたい	8	(0.8)	2	(0.6)	4	(1.1)	1	(0.4)	1	(1.4)
- 無回答	869	(81.5)	268	(77.0)	303	(83.5)	241	(84.9)	57	(80.3)

２．食品安全・ＧＡＰに関する認識について

（１）食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 異物混入	905	(84.9)	302	(86.8)	303	(83.5)	233	(82.0)	67	(94.4)
2 残留農薬	749	(70.3)	266	(76.4)	233	(64.2)	199	(70.1)	51	(71.8)
3 カビ毒や微生物汚染	614	(57.6)	227	(65.2)	177	(48.8)	161	(56.7)	49	(69.0)
4 放射性物質	357	(33.5)	102	(29.3)	108	(29.8)	121	(42.6)	26	(36.6)
5 その他	74	(6.9)	26	(7.5)	26	(7.2)	18	(6.3)	4	(5.6)
6 不安なことはない	30	(2.8)	8	(2.3)	11	(3.0)	10	(3.5)	1	(1.4)

（２）食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 貴社自身が国際的な認証資格を取得	269	(25.2)	210	(60.3)	46	(12.7)	7	(2.5)	6	(8.5)
2 貴社自身が国内で普及している認証資格を取得	131	(12.3)	98	(28.2)	21	(5.8)	8	(2.8)	4	(5.6)
3 貴社独自の管理基準を設けている	528	(49.5)	145	(41.7)	162	(44.6)	169	(59.5)	52	(73.2)
4 その他	110	(10.3)	23	(6.6)	49	(13.5)	31	(10.9)	7	(9.9)
5 特に何もしていない	205	(19.2)	8	(2.3)	99	(27.3)	83	(29.2)	15	(21.1)

（３）食品全般の安全面に関する仕入の取組・重視点（複数回答）

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 仕入れる際に、認証取得を取引要件としている	48	(4.5)	19	(5.5)	15	(4.1)	11	(3.9)	3	(4.2)
2 仕入れる際に、独自の調達基準を設けている	358	(33.6)	180	(51.7)	76	(20.9)	68	(23.9)	34	(47.9)
3 仕入れる際に、検査を行っている	345	(32.4)	189	(54.3)	94	(25.9)	35	(12.3)	27	(38.0)
4 信頼できる者から仕入れている	860	(80.7)	264	(75.9)	292	(80.4)	250	(88.0)	54	(76.1)
5 その他	41	(3.8)	9	(2.6)	17	(4.7)	11	(3.9)	4	(5.6)
6 特に何もしていない	43	(4.0)	2	(0.6)	24	(6.6)	14	(4.9)	3	(4.2)

（４）ＧＡＰの認知度

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 知っていた	426	(40.0)	173	(49.7)	139	(38.3)	90	(31.7)	24	(33.8)
2 聞いたことはあるが、内容は知らなかった	357	(33.5)	111	(31.9)	117	(32.2)	103	(36.3)	26	(36.6)
3 知らなかった	282	(26.5)	64	(18.4)	106	(29.2)	91	(32.0)	21	(29.6)
－ 無回答	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)

（５）ＧＡＰに関する情報の収集元（複数回答）

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066) 回答事業者数	全体 対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業 (対象事業者数: 348) 回答事業者数	食品製造業 対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業 (対象事業者数: 363) 回答事業者数	食品卸売業 対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業 (対象事業者数: 284) 回答事業者数	食品小売業 対象事業者数に占める割合(%)	外食業 (対象事業者数: 71) 回答事業者数	外食業 対象事業者数に占める割合(%)
1 テレビやラジオ	152	(14.3)	42	(12.1)	54	(14.9)	44	(15.5)	12	(16.9)
2 新聞（一般紙、専門紙）	368	(34.5)	117	(33.6)	123	(33.9)	101	(35.6)	27	(38.0)
3 雑誌	107	(10.0)	32	(9.2)	33	(9.1)	31	(10.9)	11	(15.5)
4 インターネット	217	(20.4)	84	(24.1)	64	(17.6)	51	(18.0)	18	(25.4)
5 専門家	71	(6.7)	29	(8.3)	20	(5.5)	14	(4.9)	8	(11.3)
6 各種セミナーや説明会	274	(25.7)	114	(32.8)	77	(21.2)	71	(25.0)	12	(16.9)
7 農水省や県等のパンフ	258	(24.2)	92	(26.4)	91	(25.1)	64	(22.5)	11	(15.5)
8 同業他社	123	(11.5)	48	(13.8)	49	(13.5)	19	(6.7)	7	(9.9)
9 取引先	172	(16.1)	66	(19.0)	51	(14.0)	36	(12.7)	19	(26.8)
10 その他	63	(5.9)	21	(6.0)	14	(3.9)	23	(8.1)	5	(7.0)

（６）ＧＡＰの取組に関して評価する点（複数回答）

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066) 回答事業者数	全体 対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業 (対象事業者数: 348) 回答事業者数	食品製造業 対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業 (対象事業者数: 363) 回答事業者数	食品卸売業 対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業 (対象事業者数: 284) 回答事業者数	食品小売業 対象事業者数に占める割合(%)	外食業 (対象事業者数: 71) 回答事業者数	外食業 対象事業者数に占める割合(%)
1 食品安全確保の取組を評価する	626	(58.7)	227	(65.2)	196	(54.0)	162	(57.0)	41	(57.7)
2 環境保全確保の取組を評価する	300	(28.1)	99	(28.4)	93	(25.6)	85	(29.9)	23	(32.4)
3 労働安全確保の取組を評価する	178	(16.7)	66	(19.0)	53	(14.6)	47	(16.5)	12	(16.9)
4 人権保護に関する取組を評価する	86	(8.1)	29	(8.3)	26	(7.2)	23	(8.1)	8	(11.3)
5 農場経営管理に関する取組を評価する	206	(19.3)	61	(17.5)	70	(19.3)	61	(21.5)	14	(19.7)
6 わからない	348	(32.6)	98	(28.2)	122	(33.6)	104	(36.6)	24	(33.8)
7 その他	16	(1.5)	6	(1.7)	5	(1.4)	5	(1.8)	0	(0.0)

（７）食品安全リスク対応に要する費用（ＧＡＰ認証取得費用等）の主な負担者

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 1,066) 回答事業者数	全体 対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業 (対象事業者数: 348) 回答事業者数	食品製造業 対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業 (対象事業者数: 363) 回答事業者数	食品卸売業 対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業 (対象事業者数: 284) 回答事業者数	食品小売業 対象事業者数に占める割合(%)	外食業 (対象事業者数: 71) 回答事業者数	外食業 対象事業者数に占める割合(%)
1 生産者段階	540	(50.7)	195	(56.0)	186	(51.2)	130	(45.8)	29	(40.8)
2 製造者・加工者段階	186	(17.4)	36	(10.3)	66	(18.2)	67	(23.6)	17	(23.9)
3 流通者段階	32	(3.0)	10	(2.9)	11	(3.0)	6	(2.1)	5	(7.0)
4 消費者段階	177	(16.6)	67	(19.3)	60	(16.5)	40	(14.1)	10	(14.1)
5 その他	89	(8.3)	33	(9.5)	15	(4.1)	32	(11.3)	9	(12.7)
－ 無回答	42	(3.9)	7	(2.0)	25	(6.9)	9	(3.2)	1	(1.4)

３．ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入について

（１）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入の有無

区分／選択肢	全　体 (対象事業者数: 1,066)		食品製造業 (対象事業者数: 348)		食品卸売業 (対象事業者数: 363)		食品小売業 (対象事業者数: 284)		外食業 (対象事業者数: 71)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 取引要件にして、仕入れている	24	(2.3)	10	(2.9)	8	(2.2)	5	(1.8)	1	(1.4)
2 取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている	28	(2.6)	10	(2.9)	11	(3.0)	6	(2.1)	1	(1.4)
3 取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている	123	(11.5)	42	(12.1)	34	(9.4)	39	(13.7)	8	(11.3)
（参考）上記 1. ～ 3. の計	**175**	**(16.4)**	**62**	**(17.8)**	**53**	**(14.6)**	**50**	**(17.6)**	**10**	**(14.1)**
4 仕入れていない	409	(38.4)	162	(46.6)	145	(39.9)	86	(30.3)	16	(22.5)
5 わからない	466	(43.7)	121	(34.8)	158	(43.5)	143	(50.4)	44	(62.0)
（参考）上記 4. ～ 5. の計	**875**	**(82.1)**	**283**	**(81.3)**	**303**	**(83.5)**	**229**	**(80.6)**	**60**	**(84.5)**
－ 無回答	16	(1.5)	3	(0.9)	7	(1.9)	5	(1.8)	1	(1.4)

４．ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている事業者について

（※３で「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」又は「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」と回答した事業者のみ回答。）

（１）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数・国産割合

区分／選択肢		全体 (対象事業者数: 175)		食品製造業 (対象事業者数: 62)		食品卸売業 (対象事業者数: 53)		食品小売業 (対象事業者数: 50)		外食業 (対象事業者数: 10)	
		回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 野菜		84	(48.0)	11	(17.7)	32	(60.4)	33	(66.0)	8	(80.0)
国産割合	10割	24	(28.6)	3	(27.3)	11	(34.4)	10	(30.3)	0	(0.0)
	５～10割	13	(15.5)	2	(18.2)	4	(12.5)	4	(12.1)	3	(37.5)
	１～５割	29	(34.5)	4	(36.4)	10	(31.3)	11	(33.3)	4	(50.0)
	１割未満	5	(6.0)	0	(0.0)	2	(6.3)	2	(6.1)	1	(12.5)
	割合無回答	13	(15.5)	2	(18.2)	5	(15.6)	6	(18.2)	0	(0.0)
(※)	計	84	(100.0)	11	(100.0)	32	(100.0)	33	(100.0)	8	(100.0)
2 果物		49	(28.0)	6	(9.7)	13	(24.5)	28	(56.0)	2	(20.0)
国産割合	10割	9	(18.4)	3	(50.0)	2	(15.4)	4	(14.3)	0	(0.0)
	５～10割	6	(12.2)	1	(16.7)	1	(7.7)	4	(14.3)	0	(0.0)
	１～５割	20	(40.8)	1	(16.7)	5	(38.5)	12	(42.9)	2	(100.0)
	１割未満	3	(6.1)	0	(0.0)	1	(7.7)	2	(7.1)	0	(0.0)
	割合無回答	11	(22.4)	1	(16.7)	4	(30.8)	6	(21.4)	0	(0.0)
(※)	計	49	(100.0)	6	(100.0)	13	(100.0)	28	(100.0)	2	(100.0)
3 米		28	(16.0)	15	(24.2)	4	(7.5)	5	(10.0)	4	(40.0)
国産割合	10割	14	(50.0)	9	(60.0)	1	(25.0)	4	(80.0)	0	(0.0)
	５～10割	2	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(50.0)
	１～５割	4	(14.3)	1	(6.7)	2	(50.0)	0	(0.0)	1	(25.0)
	１割未満	2	(7.1)	1	(6.7)	1	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	6	(21.4)	4	(26.7)	0	(0.0)	1	(20.0)	1	(25.0)
(※)	計	28	(100.0)	15	(100.0)	4	(100.0)	5	(100.0)	4	(100.0)
4 麦類		8	(4.6)	4	(6.5)	0	(0.0)	3	(6.0)	1	(10.0)
国産割合	10割	2	(25.0)	2	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	５～10割	2	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(66.7)	0	(0.0)
	１～５割	2	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(33.3)	1	(100.0)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	2	(25.0)	2	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
(※)	計	8	(100.0)	4	(100.0)	0	(0.0)	3	(100.0)	1	(100.0)
5 豆類		11	(6.3)	3	(4.8)	2	(3.8)	6	(12.0)	0	(0.0)
国産割合	10割	3	(27.3)	1	(33.3)	0	(0.0)	2	(33.3)	0	(0.0)
	５～10割	4	(36.4)	1	(33.3)	0	(0.0)	3	(50.0)	0	(0.0)
	１～５割	1	(9.1)	0	(0.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	3	(27.3)	1	(33.3)	1	(50.0)	1	(16.7)	0	(0.0)
(※)	計	11	(100.0)	3	(100.0)	2	(100.0)	6	(100.0)	0	(0.0)
6 茶		48	(27.4)	30	(48.4)	8	(15.1)	10	(20.0)	0	(0.0)
国産割合	10割	26	(54.2)	19	(63.3)	4	(50.0)	3	(30.0)	0	(0.0)
	５～10割	5	(10.4)	2	(6.7)	1	(12.5)	2	(20.0)	0	(0.0)
	１～５割	11	(22.9)	7	(23.3)	2	(25.0)	2	(20.0)	0	(0.0)
	１割未満	2	(4.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(20.0)	0	(0.0)
	割合無回答	4	(8.3)	2	(6.7)	1	(12.5)	1	(10.0)	0	(0.0)
(※)	計	48	(100.0)	30	(100.0)	8	(100.0)	10	(100.0)	0	(0.0)
7 きのこ等食用林産物		11	(6.3)	1	(1.6)	2	(3.8)	7	(14.0)	1	(10.0)
国産割合	10割	2	(18.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(28.6)	0	(0.0)
	５～10割	3	(27.3)	1	(100.0)	0	(0.0)	2	(28.6)	0	(0.0)
	１～５割	3	(27.3)	0	(0.0)	1	(50.0)	1	(14.3)	1	(100.0)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	3	(27.3)	0	(0.0)	1	(50.0)	2	(28.6)	0	(0.0)
(※)	計	11	(100.0)	1	(100.0)	2	(100.0)	7	(100.0)	1	(100.0)
8 牛肉		9	(5.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(16.0)	1	(10.0)
国産割合	10割	1	(11.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(12.5)	0	(0.0)
	５～10割	5	(55.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(62.5)	0	(0.0)
	１～５割	3	(33.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(25.0)	1	(100.0)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
(※)	計	9	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
9 豚肉		11	(6.3)	1	(1.6)	1	(1.9)	9	(18.0)	0	(0.0)
国産割合	10割	3	(27.3)	1	(100.0)	0	(0.0)	2	(22.2)	0	(0.0)
	５～10割	5	(45.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(55.6)	0	(0.0)
	１～５割	1	(9.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(11.1)	0	(0.0)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	2	(18.2)	0	(0.0)	1	(100.0)	1	(11.1)	0	(0.0)
(※)	計	11	(100.0)	1	(100.0)	1	(100.0)	9	(100.0)	0	(0.0)
10 鶏肉		12	(6.9)	0	(0.0)	2	(3.8)	10	(20.0)	0	(0.0)
国産割合	10割	4	(33.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(40.0)	0	(0.0)
	５～10割	2	(16.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(20.0)	0	(0.0)
	１～５割	3	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(30.0)	0	(0.0)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	3	(25.0)	0	(0.0)	2	(100.0)	1	(10.0)	0	(0.0)
(※)	計	12	(100.0)	0	(0.0)	2	(100.0)	10	(100.0)	0	(0.0)
11 鶏卵		14	(8.0)	3	(4.8)	1	(1.9)	7	(14.0)	3	(30.0)
国産割合	10割	9	(64.3)	3	(100.0)	0	(0.0)	4	(57.1)	2	(66.7)
	５～10割	1	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(14.3)	0	(0.0)
	１～５割	1	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(33.3)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	3	(21.4)	0	(0.0)	1	(100.0)	2	(28.6)	0	(0.0)
(※)	計	14	(100.0)	3	(100.0)	1	(100.0)	7	(100.0)	3	(100.0)
12 その他		5	(2.9)	1	(1.6)	1	(1.9)	3	(6.0)	0	(0.0)
国産割合	10割	1	(20.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	５～10割	1	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)
	１～５割	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	１割未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	割合無回答	3	(60.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	2	(66.7)	0	(0.0)
(※)	計	5	(100.0)	1	(100.0)	1	(100.0)	3	(100.0)	0	(0.0)

※：「国産割合」のカッコ内の割合は、各品目別の全体、食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業ごとの回答事業者数の計に占める割合である。

（２）ＧＡＰ認証取得等の種類（複数回答）

区分／選択肢	全　体 (対象事業者数: 175) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業 (対象事業者数: 62) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業 (対象事業者数: 53) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業 (対象事業者数: 50) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	外食業 (対象事業者数: 10) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 ＧＬＯＢＡＬ Ｇ．Ａ．Ｐ．	59	(33.7)	19	(30.6)	16	(30.2)	21	(42.0)	3	(30.0)
2 ＡＳＩＡＧＡＰ（旧ＪＧＡＰ Ａｄｖａｎｃｅ）	29	(16.6)	13	(21.0)	8	(15.1)	7	(14.0)	1	(10.0)
3 ＪＧＡＰ（旧ＪＧＡＰ Ｂａｓｉｃ）	88	(50.3)	35	(56.5)	25	(47.2)	24	(48.0)	4	(40.0)
4 都道府県が運営するＧＡＰ	45	(25.7)	14	(22.6)	13	(24.5)	17	(34.0)	1	(10.0)
5 ＪＡグループが運営するＧＡＰ	58	(33.1)	19	(30.6)	17	(32.1)	19	(38.0)	3	(30.0)
6 その他	11	(6.3)	2	(3.2)	6	(11.3)	2	(4.0)	1	(10.0)

（３）ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答）

区分／選択肢	全　体 (対象事業者数: 175) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業 (対象事業者数: 62) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業 (対象事業者数: 53) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業 (対象事業者数: 50) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	外食業 (対象事業者数: 10) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 食品の安全性がより一層高まるため	109	(62.3)	37	(59.7)	29	(54.7)	35	(70.0)	8	(80.0)
2 環境負荷が少ないため	22	(12.6)	6	(9.7)	3	(5.7)	10	(20.0)	3	(30.0)
3 より優れた品質の農畜産物を仕入れるため	52	(29.7)	12	(19.4)	14	(26.4)	23	(46.0)	3	(30.0)
4 問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため	40	(22.9)	13	(21.0)	11	(20.8)	11	(22.0)	5	(50.0)
5 企業の社会的責任を果たすため	41	(23.4)	10	(16.1)	12	(22.6)	15	(30.0)	4	(40.0)
6 取引先や消費者に説明できるため	48	(27.4)	15	(24.2)	19	(35.8)	10	(20.0)	4	(40.0)
7 食品の輸出に際して必要であるため	5	(2.9)	2	(3.2)	3	(5.7)	0	(0.0)	0	(0.0)
8 販売先から求められているため	31	(17.7)	17	(27.4)	14	(26.4)	0	(0.0)	0	(0.0)
9 その他	26	(14.9)	11	(17.7)	9	(17.0)	6	(12.0)	0	(0.0)

（４）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期

区分／選択肢	全　体 (対象事業者数: 175) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業 (対象事業者数: 62) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業 (対象事業者数: 53) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業 (対象事業者数: 50) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	外食業 (対象事業者数: 10) 回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 2007年以前	17	(9.7)	7	(11.3)	4	(7.5)	6	(12.0)	0	(0.0)
2 2008年以降	21	(12.0)	6	(9.7)	7	(13.2)	8	(16.0)	0	(0.0)
3 2012年以降	51	(29.1)	18	(29.0)	19	(35.8)	10	(20.0)	4	(40.0)
4 2016年以降	30	(17.1)	11	(17.7)	8	(15.1)	11	(22.0)	0	(0.0)
5 わからない	50	(28.6)	18	(29.0)	13	(24.5)	15	(30.0)	4	(40.0)
- 無回答	6	(3.4)	2	(3.2)	2	(3.8)	0	(0.0)	2	(20.0)

（5）ＧＡＰ認証取得等農畜産物による安全性及び品質の確認コストの削減効果

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 175)		食品卸売業 (対象事業者数: 62)		食品卸売業 (対象事業者数: 53)		食品小売業 (対象事業者数: 50)		外食業 (対象事業者数: 10)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 つながると思う	25	(14.3)	8	(12.9)	7	(13.2)	7	(14.0)	3	(30.0)
2 ややつながると思う	49	(28.0)	18	(29.0)	12	(22.6)	16	(32.0)	3	(30.0)
3 つながらないと思う	65	(37.1)	20	(32.3)	25	(47.2)	19	(38.0)	1	(10.0)
4 わからない	33	(18.9)	14	(22.6)	8	(15.1)	8	(16.0)	3	(30.0)
- 無回答	3	(1.7)	2	(3.2)	1	(1.9)	0	(0.0)	0	(0.0)

（6）ＧＡＰ認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 175)		食品製造業 (対象事業者数: 62)		食品卸売業 (対象事業者数: 53)		食品小売業 (対象事業者数: 50)		外食業 (対象事業者数: 10)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 総じてＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地からの仕入れ単価は高い	44	(25.1)	13	(21.0)	16	(30.2)	14	(28.0)	1	(10.0)
2 総じて仕入れ単価は変わらない	108	(61.7)	41	(66.1)	31	(58.5)	32	(64.0)	4	(40.0)
3 総じてＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地からの仕入れ単価は安い	1	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(2.0)	0	(0.0)
4 その他	16	(9.1)	5	(8.1)	5	(9.4)	3	(6.0)	3	(30.0)
- 無回答	6	(3.4)	3	(4.8)	1	(1.9)	0	(0.0)	2	(20.0)

（7）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 175)		食品製造業 (対象事業者数: 62)		食品卸売業 (対象事業者数: 53)		食品小売業 (対象事業者数: 50)		外食業 (対象事業者数: 10)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある	64	(36.6)	28	(45.2)	21	(39.6)	15	(30.0)	0	(0.0)
2 国産か外国産を問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある	36	(20.6)	11	(17.7)	8	(15.1)	13	(26.0)	4	(40.0)
3 現状維持の意向がある	69	(39.4)	20	(32.3)	23	(43.4)	21	(42.0)	5	(50.0)
4 減らす意向がある	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
5 取扱をやめる意向がある	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
- 無回答	6	(3.4)	3	(4.8)	1	(1.9)	1	(2.0)	1	(10.0)

（8）国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）
（※（7）で「国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者のみ回答。）

区分／選択肢	全体 (対象事業者数: 64)		食品製造業 (対象事業者数: 28)		食品卸売業 (対象事業者数: 21)		食品小売業 (対象事業者数: 15)		外食業 (対象事業者数: 0)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため	25	(39.1)	13	(46.4)	4	(19.0)	8	(53.3)	0	(0.0)
2 販売先から国産の仕入れの増量を求められているため	24	(37.5)	8	(28.6)	14	(66.7)	2	(13.3)	0	(0.0)
3 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに国産の農畜産物をアピールするため	25	(39.1)	10	(35.7)	8	(38.1)	7	(46.7)	0	(0.0)
4 その他	13	(20.3)	7	(25.0)	3	(14.3)	3	(20.0)	0	(0.0)

（９）国産・外国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）
（※（７）で「国産か外国産を問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者のみ回答。）

区分 / 選択肢	全体 (対象事業者数: 36)		食品製造業 (対象事業者数: 11)		食品卸売業 (対象事業者数: 8)		食品小売業 (対象事業者数: 13)		外食業 (対象事業者数: 4)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため	14	(38.9)	4	(36.4)	3	(37.5)	6	(46.2)	1	(25.0)
2 販売先から、国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの増量を求められているため	7	(19.4)	2	(18.2)	4	(50.0)	1	(7.7)	0	(0.0)
3 外国産に比べて、国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の数量の確保が困難であるため	5	(13.9)	3	(27.3)	0	(0.0)	1	(7.7)	1	(25.0)
4 外国産に比べて、国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ単価が高いため	2	(5.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(50.0)
5 その他	12	(33.3)	3	(27.3)	1	(12.5)	7	(53.8)	1	(25.0)

（10）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答）
（※（７）で「現状維持の意向がある」と回答した事業者のみ回答。なお、「減らす意向がある」及び「取扱をやめる意向がある」と回答した事業者はいなかった。）

区分 / 選択肢	全体 (対象事業者数: 69)		食品製造業 (対象事業者数: 20)		食品卸売業 (対象事業者数: 23)		食品小売業 (対象事業者数: 21)		外食業 (対象事業者数: 5)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 数量の確保が困難であるため	29	(42.0)	7	(35.0)	9	(39.1)	11	(52.4)	2	(40.0)
2 仕入れ単価が高いため	18	(26.1)	4	(20.0)	7	(30.4)	7	(33.3)	0	(0.0)
3 需要があまりないため	30	(43.5)	8	(40.0)	13	(56.5)	8	(38.1)	1	(20.0)
4 その他	16	(23.2)	4	(20.0)	3	(13.0)	6	(28.6)	3	(60.0)

５．ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れていない事業者について

（※３で「仕入れていない」又は「わからない」と回答した事業者のみ回答。）

（１）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向

区分／選択肢	全体（対象事業者数: 875） 回答事業者数	全体 対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業（対象事業者数: 283） 回答事業者数	食品製造業 対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業（対象事業者数: 303） 回答事業者数	食品卸売業 対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業（対象事業者数: 229） 回答事業者数	食品小売業 対象事業者数に占める割合(%)	外食業（対象事業者数: 60） 回答事業者数	外食業 対象事業者数に占める割合(%)
1 取引要件にして、仕入れる意向がある	36	(4.1)	11	(3.9)	11	(3.6)	11	(4.8)	3	(5.0)
2 取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある	153	(17.5)	50	(17.7)	50	(16.5)	44	(19.2)	9	(15.0)
（参考）上記 1. ～ 2. の計	**189**	**(21.6)**	**61**	**(21.6)**	**61**	**(20.1)**	**55**	**(24.0)**	**12**	**(20.0)**
3 仕入れる予定はない	179	(20.5)	66	(23.3)	71	(23.4)	34	(14.8)	8	(13.3)
4 その他・わからない	469	(53.6)	149	(52.7)	154	(50.8)	129	(56.3)	37	(61.7)
（参考）上記 3. ～ 4. の計	**648**	**(74.1)**	**215**	**(76.0)**	**225**	**(74.3)**	**163**	**(71.2)**	**45**	**(75.0)**
－ 無回答	38	(4.3)	7	(2.5)	17	(5.6)	11	(4.8)	3	(5.0)

（２）ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答）

（※（１）で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

区分／選択肢	全体（対象事業者数: 189） 回答事業者数	全体 対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業（対象事業者数: 61） 回答事業者数	食品製造業 対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業（対象事業者数: 61） 回答事業者数	食品卸売業 対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業（対象事業者数: 55） 回答事業者数	食品小売業 対象事業者数に占める割合(%)	外食業（対象事業者数: 12） 回答事業者数	外食業 対象事業者数に占める割合(%)
1 食品の安全性がより一層高まるため	169	(89.4)	57	(93.4)	49	(80.3)	51	(92.7)	12	(100.0)
2 環境負荷が少ないため	36	(19.0)	10	(16.4)	14	(23.0)	9	(16.4)	3	(25.0)
3 より優れた品質の農畜産物を仕入れるため	102	(54.0)	32	(52.5)	29	(47.5)	35	(63.6)	6	(50.0)
4 問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため	67	(35.4)	22	(36.1)	23	(37.7)	18	(32.7)	4	(33.3)
5 企業の社会的責任を果たすため	88	(46.6)	27	(44.3)	29	(47.5)	25	(45.5)	7	(58.3)
6 取引先や消費者に説明できるため	80	(42.3)	28	(45.9)	24	(39.3)	20	(36.4)	8	(66.7)
7 食品の輸出に際して必要であるため	18	(9.5)	8	(13.1)	7	(11.5)	2	(3.6)	1	(8.3)
8 販売先から求められているため	13	(6.9)	6	(9.8)	6	(9.8)	1	(1.8)	0	(0.0)
9 その他	12	(6.3)	3	(4.9)	7	(11.5)	1	(1.8)	1	(8.3)

（３）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期

（※（１）で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

区分／選択肢	全体（対象事業者数: 189） 回答事業者数	全体 対象事業者数に占める割合(%)	食品製造業（対象事業者数: 61） 回答事業者数	食品製造業 対象事業者数に占める割合(%)	食品卸売業（対象事業者数: 61） 回答事業者数	食品卸売業 対象事業者数に占める割合(%)	食品小売業（対象事業者数: 55） 回答事業者数	食品小売業 対象事業者数に占める割合(%)	外食業（対象事業者数: 12） 回答事業者数	外食業 対象事業者数に占める割合(%)
1 １年以内	16	(8.5)	5	(8.2)	4	(6.6)	6	(10.9)	1	(8.3)
2 ３年以内	42	(22.2)	12	(19.7)	18	(29.5)	10	(18.2)	2	(16.7)
3 ５年以内	17	(9.0)	2	(3.3)	8	(13.1)	7	(12.7)	0	(0.0)
4 わからない	96	(50.8)	36	(59.0)	23	(37.7)	28	(50.9)	9	(75.0)
5 その他	8	(4.2)	2	(3.3)	4	(6.6)	2	(3.6)	0	(0.0)
－ 無回答	10	(5.3)	4	(6.6)	4	(6.6)	2	(3.6)	0	(0.0)

（4）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点（複数回答）
（※（1）で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

区分 / 選択肢	全体 (対象事業者数: 189)		食品製造業 (対象事業者数: 61)		食品卸売業 (対象事業者数: 61)		食品小売業 (対象事業者数: 55)		外食業 (対象事業者数: 12)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 必要な数量を確保できるか	73	(38.6)	30	(49.2)	24	(39.3)	13	(23.6)	6	(50.0)
2 仕入れ単価が高くなるのではないか	104	(55.0)	39	(63.9)	28	(45.9)	30	(54.5)	7	(58.3)
3 ＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足している	75	(39.7)	22	(36.1)	22	(36.1)	26	(47.3)	5	(41.7)
4 取引先や消費者のＧＡＰに関する認知度が低い	80	(42.3)	23	(37.7)	26	(42.6)	27	(49.1)	4	(33.3)
5 継続的な安定した需要があるか	49	(25.9)	15	(24.6)	18	(29.5)	13	(23.6)	3	(25.0)
6 その他	3	(1.6)	1	(1.6)	1	(1.6)	1	(1.8)	0	(0.0)

（5）ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答）
（※（1）で「仕入れる予定はない」又は「その他・わからない」と回答した事業者のみ回答。）

区分 / 選択肢	全体 (対象事業者数: 648)		食品製造業 (対象事業者数: 215)		食品卸売業 (対象事業者数: 225)		食品小売業 (対象事業者数: 163)		外食業 (対象事業者数: 45)	
	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)	回答事業者数	対象事業者数に占める割合(%)
1 数量の確保が困難であるため	60	(9.3)	35	(16.3)	16	(7.1)	5	(3.1)	4	(8.9)
2 仕入れ単価が高いため	49	(7.6)	10	(4.7)	16	(7.1)	17	(10.4)	6	(13.3)
3 ＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足しているため	251	(38.7)	74	(34.4)	78	(34.7)	77	(47.2)	22	(48.9)
4 需要がないため	215	(33.2)	79	(36.7)	91	(40.4)	39	(23.9)	6	(13.3)
5 その他	152	(23.5)	58	(27.0)	46	(20.4)	37	(22.7)	11	(24.4)

Ⅳ．調査事項（アンケート調査票）

平成２９年度食品産業動態調査

（国産原材料使用実態等調査・分析業務）

回答者様について

貴　　社　　名	
ご所属・お名前	

以下、それぞれの質問に対し、当てはまる選択肢（番号）に ○ をつけてください。

Ⅰ．基本情報【全員】

問１　貴社の業種についてお伺いします。（○はひとつ）

1	食料品製造業（畜産食料品、野菜・果物缶詰等食料品等製造業、精穀・製粉業）
2	飲料製造業（清涼飲料、酒類、茶・コーヒー製造業）
3	各種商品卸売業（総合商社等）
4	飲食料品卸売業（米麦、食肉、野菜、果実、菓子、茶類、飲料等飲食料品卸売業）
5	各種商品小売業（百貨店、総合スーパー）
6	飲食料品小売業（野菜・果実、食肉、菓子・パン等飲食料品小売業、コンビニ）
7	飲食店（食堂、レストラン、専門料理店、酒場、喫茶店、ナイトクラブ等飲食店）
8	持ち帰り・配達飲食サービス業（デリバリー専門店、給食センター等）

問２　貴社の販売金額規模（最近数年の平均）についてお伺いします。（○はひとつ）

1	１億円未満
2	１億円以上５億円未満
3	５億円以上 10 億円未満
4	10 億円以上 50 億円未満
5	50 億円以上 100 億円未満
6	100 億円以上 500 億円未満
7	500 億円以上 1,000 億円未満
8	1,000 億円以上

問３　貴社の従業員数についてお伺いします。（〇はひとつ）

1	50 人未満
2	50 人以上 100 人未満
3	100 人以上 300 人未満
4	300 人以上 1,000 人未満
5	1,000 人以上

問４　以下の農畜産物について、貴社で仕入がある場合は「１」に〇をつけ、年間のおおよその仕入額を百万円単位でお答えください。（〇はひとつずつ）
※金額はおおよそで構いません。

野菜	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
果物	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
米	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
麦類	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
豆類	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
茶	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
きのこ等食用林産物	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
牛肉	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
豚肉	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
鶏肉	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
鶏卵	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし
その他 （　　）	1　仕入あり（　　百万円程度）	2　仕入なし

問５　以下の農畜産物について、品目別の仕入に占めるおおよその国産の割合（金額ベース）をお答えください。（○はひとつずつ）

野菜	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
果物	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
米	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
麦類	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
豆類	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
茶	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
きのこ等食用林産物	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
牛肉	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
豚肉	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
鶏肉	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
鶏卵	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満
その他 （　　）	1　７割以上	2　５～７割	3　３～５割	4　３割未満

問６　以下の農畜産物について、国産/外国産の割合をどのように考えていますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつずつ）

選択肢 品目	1　国産の割合を増やしたい	2　現状のままでよい	3　外国産の割合を増やしたい
野菜	1	2	3
果物	1	2	3
米	1	2	3
麦類	1	2	3
豆類	1	2	3
茶	1	2	3
きのこ等食用林産物	1	2	3
牛肉	1	2	3
豚肉	1	2	3
鶏肉	1	2	3
鶏卵	1	2	3
その他 （　　）	1	2	3

Ⅱ．食品安全・ＧＡＰについての認識【全員】

問７　食品を仕入れる際に食品安全の観点から感じる不安はどのようなことですか。（○はいくつでも）

1	異物混入
2	残留農薬
3	カビ毒や微生物汚染
4	放射性物質
5	その他（　　）
6	不安なことはない

問８　食品全般における「安全面」に関して、貴社の体制として、貴社で取り組んでいる/重視していることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1	貴社自身が国際的な認証資格を取得（例：JFS-C, ISO22000, FSSC22000） （認証名：　　）
2	貴社自身が国内で普及している認証資格を取得（例：JFS-A/B, 自治体 HACCP） （認証名：　　）
3	貴社独自の管理基準を設けている
4	その他（　　）
5	特に何もしていない

問９　食品全般における「安全面」に関して、仕入れの際に、貴社で取り組んでいる/重視していることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1	仕入れる際に、認証取得を取引要件としている
2	仕入れる際に、独自の調達基準を設けている
3	仕入れる際に、検査を行っている
4	信頼できる者から仕入れている
5	その他（　　）
6	特に何もしていない

※ ＧＡＰ（農業生産工程管理）とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

問 10　本調査以前からＧＡＰについてご存じでしたか。（○はひとつ）

1	知っていた
2	聞いたことはあるが、内容は知らなかった
3	知らなかった

問 11　ＧＡＰに関する情報をどのようなところで見聞きしますか。（○はいくつでも）

1	テレビやラジオ
2	新聞（一般紙、専門紙）
3	雑誌
4	インターネット
5	専門家
6	各種セミナーや説明会
7	農林水産省や都道府県等公的機関のパンフレット
8	同業他社
9	取引先
10	その他（　　）

問 12　ＧＡＰの取組を評価していますか。また、どのような点を評価していますか。（○はいくつでも）

1	食品安全確保の取組を評価する
2	環境保全確保の取組を評価する
3	労働安全確保の取組を評価する
4	人権保護に関する取組を評価する
5	農場経営管理に関する取組を評価する
6	わからない
7	その他（　　）

問 13　食品安全リスク対応の費用（ＧＡＰ認証取得費用等）は、主にどの段階の者が負担すべきと考えますか。
（〇はひとつ）

1	生産者段階
2	製造者・加工者段階
3	流通者段階
4	消費者段階
5	その他（　　）

Ⅲ．ＧＡＰ認証取得等農畜産物について【全員】

※ ＧＡＰ認証取得等農畜産物とは、ＧＡＰ認証（ＧＬＯＢＡＬ G.A.P.、ＡＳＩAGAP/ＪGAP）を取得した農場又は都道府県ＧＡＰ等に取り組む農場で生産された農畜産物のことです。

問 14　貴社では、ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れていますか。一品目でもＧＡＰ認証取得等農畜産物を扱っていれば該当箇所に 〇 をつけてください。（〇はひとつ）

1	取引要件にして、仕入れている	問 15 へ
2	取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている	
3	取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている	
4	仕入れていない	問 22 へ
5	わからない	

問１４で「１」「２」「３」のいずれかを選択した方は問 15（次ページ）へ、
「４」「５」を選択した方は問 22（11 ページ）へ、それぞれお進みください。

Ⅳ. 仕入れているＧＡＰ認証取得等農畜産物について【問 14 で 1～3 を選択した方】

問 15　貴社で仕入れているＧＡＰ認証取得等農畜産物の品目をお答えください。
また、ＧＡＰ認証取得等農畜産物のうちに占める国産の割合（金額ベース）についてお答えください。（○はひとつずつ）

	ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入有無（有の場合は国産の割合）	
野菜	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
果物	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
米	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
麦類	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
豆類	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
茶	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
きのこ等食用林産物	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
牛肉	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
豚肉	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
鶏肉	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
鶏卵	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無
その他 （　　）	1　有（国産の割合：約　　割）	2　無

問 16　仕入れている農畜産物に関するＧＡＰ認証等の種類についてお伺いします。
（○はいくつでも）

1	ＧＬＯＢＡＬ Ｇ．Ａ．Ｐ．
2	ＡＳＩＡＧＡＰ（旧ＪＧＡＰ Ａｄｖａｎｃｅ）
3	ＪＧＡＰ（旧ＪＧＡＰ Ｂａｓｉｃ）
4	都道府県が運営するＧＡＰ
5	ＪＡグループが運営するＧＡＰ
6	その他（　　）

問 17　ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由についてお伺いします。（〇はいくつでも）

1	食品の安全性がより一層高まるため
2	環境負荷が少ないため
3	より優れた品質の農畜産物を仕入れるため
4	問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため
5	企業の社会的責任を果たすため
6	取引先や消費者に説明できるため
7	食品の輸出に際して必要であるため
8	販売先から求められているため
9	その他（具体的に記入してください。） （　　）

問 18　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入を始めた時期はいつ頃ですか。（〇はひとつ）

1	2007 年以前
2	2008 年以降
3	2012 年以降
4	2016 年以降
5	わからない

問 19　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の取扱は、仕入れ先の安全性保証や品質保証に要するコストの削減につながると考えますか。（〇はひとつ）

1	つながると思う
2	ややつながると思う
3	つながらないと思う
4	わからない

問 20　ＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地と、そうではない生産者または産地との取引において、農畜産物の仕入れ単価に差がありますか。（○はひとつ）

1	総じてＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地からの仕入れ単価は高い
2	総じて仕入れ単価は変わらない
3	総じてＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地からの仕入れ単価は安い
4	その他（　　）

問 21　ＧＡＰ認証取得等農畜産物に関する今後の仕入れ量の増減の意向についてお伺いします。（○はひとつ）

1	国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある（問 21-1 へ）
2	国産か外国産を問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある（問 21-2 へ）
3	現状維持の意向がある（問 21-3 へ）
4	減らす意向がある（問 21-3 へ）
5	取扱をやめる意向がある（問 21-3 へ）

問 21 で「１」を選択した方は問 21-1 へ、
「２」を選択した方は問 21-2 へ、
「３」「４」「５」を選択した方は問 21-3 へ、それぞれお進みください。

問 21-1　問 21 で「１」を選択した方にお伺いします。国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由をお答えください。（○はいくつでも）

1	国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため
2	販売先から国産の仕入れの増量を求められているため
3	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに国産の農畜産物をアピールするため
4	その他（　　）

問 21-2　問 21 で「２」を選択した方にお伺いします。国産か外国産を問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由をお答えください。（○はいくつでも）

1	国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため
2	販売先から、国産か外国産かを問わず、ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れの増量を求められているため
3	外国産に比べて、国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の数量の確保が困難であるため
4	外国産に比べて、国産のＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ単価が高いため
5	その他（　　）

問 21-3　問 21 で「３」「４」「５」を選択した方にお伺いします。ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やさない意向を選択した理由をお答えください。（○はいくつでも）

1	数量の確保が困難であるため
2	仕入れ単価が高いため
3	需要があまりないため
4	その他（　　）

Ⅴ．今後のＧＡＰ認証取得等農畜産物に関する意向について【問 14 で 4･5 を選択した方】

問 22　今後、ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れる意向はありますか。（○はひとつ）

1	取引要件にして、仕入れる意向がある（問 22-1 へ）
2	取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある（問 22-1 へ）
3	仕入れる予定はない（問 23 へ）
4	その他・わからない（問 23 へ）

問 22-1　問 22 で「１」「２」を選択した方にお伺いします。仕入れる目的・理由として考えていることをお答えください。（○はいくつでも）

1	食品の安全性がより一層高まるため
2	環境負荷が少ないため
3	より優れた品質の農畜産物を仕入れるため
4	問題が発生した際に、回収の範囲を特定しやすいため
5	企業の社会的責任を果たすため
6	取引先や消費者に説明できるため
7	食品の輸出に際して必要であるため
8	販売先から求められているため
9	その他（具体的に記入してください。） （　　）

※ 続けて、問 22-2 にもお答えください。

問 22-2　問 22 で「１」「２」を選択した方にお伺いします。ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れを検討している時期はいつ頃ですか。（○はひとつ）

1	１年以内
2	３年以内
3	５年以内
4	わからない
5	その他（　　）

問 22-3　問 22 で「１」「２」を選択した方にお伺いします。ＧＡＰ認証取得等農畜産物の仕入れを準備・検討するに当たって障害となることや不安に感じていることはありますか。（○はいくつでも）

1	必要な数量を確保できるか
2	仕入れ単価が高くなるのではないか
3	ＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足している
4	取引先や消費者のＧＡＰに関する認知度が低い
5	継続的な安定した需要があるか
6	その他（　　）

問 23　問 22 で「３」「４」を選択した方にお伺いします。ＧＡＰ認証取得等農畜産物を仕入れない理由をお答えください。

1	数量の確保が困難であるため
2	仕入れ単価が高いため
3	ＧＡＰ認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足しているため
4	需要がないため
5	その他（　　）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒でご返送下さい。